

**平成 25 年度
指標達成度調査**

報告書

札幌市

目 次

1. 調査の概要

(1) 調査の目的	1
(2) 内容	1
(3) 設計	1
(4) 回収結果	1
(5) 回答者の特性	2
(6) 本調査結果利用上の注意	2

2. 調査結果の詳細

(1) 子どもを生み育てやすい環境づくり	3
・ 子どもを生み育てやすい環境	3
・ 子どもや子育て家庭への配慮	5
・ 「仕事」と「私生活」の調和	7
・ 安心して妊娠・出産できる環境	9
・ 子育てに関する不安や負担	11
・ 子育てに関する相談体制の整備	15
・ 保育サービスの利用	19
・ 安全に放課後を過ごす場所の確保	21
(2) 子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実	23
・ 自然・社会・文化などの体験しやすい環境	23
・ 特別な配慮が必要な子どもの支援体制	25
・ 子どもの権利の保護	27
(3) 市民とともに災害に備えるまちづくり	29
・ 家庭での防災対策について	29
(4) 地域で支え合う、健やかでぬくもりあふれる生活への支援	31
・ 外出頻度	31
・ 障がい者の暮らしやすさ	33
(5) 安心のある暮らしの確保に向けた環境の充実	37
・ 犯罪について	37
・ 食品の安全性について	41
・ 防犯活動について	43
・ 雪の処理に関する取り組みについて	45
・ 自転車のルールやマナーについて	47
(6) 水道事業について	51
・ 水道事業に関する満足度	51
・ 水道事業で重視すべきこと	57
(7) 将来を見据えた魅力ある都市の整備	63
・ 都心部の「にぎわい」について	63
・ 住環境の満足度	65
・ 公共交通の満足度	67

(8)	低炭素社会の推進と循環型社会の構築	69
	・ 生ごみ減量・リサイクルの取り組みについて	69
	・ 環境配慮活動について	71
(9)	多様で豊かな自然を守り、育てるまちづくり	75
	・ 花やみどりの現状について	75
(10)	市民の主体的な地域づくりと多文化共生を推進するまちづくり	77
	・ 市政参加の機会	77
	・ 市政参加の意志	79
	・ 参加しやすくなるために必要なこと	81
	・ まちづくり活動について	83
	・ 海外諸都市や外国人との交流について	87
(11)	多彩な文化芸術の創造とスポーツを楽しむ健康づくりを推進するまちづくり	89
	・ 文化芸術活動について	89
	・ 文化財施設の認知状況	91
	・ 1年間に行ったスポーツの種類	93
	・ スポーツの頻度	96
	・ スポーツ観戦について	98

資料: 調査票

平成 25 年度指標達成度調査

調査結果

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

この調査は、「事業の効果に関する市民意識」をテーマに設問を構成している。各事業に対する市民意見を採取し、当該事業の効果及び成果を効率的に把握し、市民にも分かりやすい評価の資料とするものである。

(2) 内容

- ① 子どもを生み育てやすい環境づくり
- ② 子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実
- ③ 市民とともに災害に備えるまちづくり
- ④ 地域で支え合う、健やかでぬくもりあふれる生活への支援
- ⑤ 安心のある暮らしの確保に向けた環境の充実
- ⑥ 水道事業について
- ⑦ 将来を見据えた魅力ある都市の整備
- ⑧ 低炭素社会の推進と循環型社会の構築
- ⑨ 多様で豊かな自然を守り、育てるまちづくり
- ⑩ 市民の主体的な地域づくりと多文化共生を推進するまちづくり
- ⑪ 多彩な文化芸術の創造とスポーツを楽しむ健康づくりを推進するまちづくり

(3) 設計

本調査は、次のとおり設計した。

- ① 調査地域 札幌市内
- ② 調査対象 満 20 歳以上の男女個人
- ③ 標 本 数 5,000 人
- ④ 調査方法 調査票を郵送し、返信用封筒で回収
- ⑤ 調査期間 平成 26 年 2 月 3 日(月)～平成 26 年 2 月 26 日(水)
- ⑥ 抽出方法 住民基本台帳から「等間隔無作為抽出」
(対象者の抽出は、本市の電算システムにて行う)
- ⑦ 調査実施機関 有限会社インタラクション研究所

(4) 回収結果

- ① 発送数 5,000 件
- ② 有効回収数(率) 1,904 件 (38.1%)

(5) 回答者の特性

区 分	実数 (件)	比率 (%)
合 計	1,904	100.0
【性別】		
男 性	731	38.4
女 性	1160	60.9
無 回 答	13	0.7
【年齢】		
20 ~ 29 歳	150	7.9
30 ~ 39 歳	290	15.2
40 ~ 49 歳	340	17.9
50 ~ 59 歳	295	15.5
60 ~ 64 歳	214	11.2
65 ~ 69 歳	218	11.4
70 歳 以 上	384	20.2
無 回 答	13	0.7
【居住区】		
中 央 区	223	11.7
北 区	254	13.3
東 区	229	12.0
白 石 区	172	9.0
厚 別 区	148	7.8
豊 平 区	235	12.3
清 田 区	117	6.1
南 区	165	8.7
西 区	211	11.1
手 稲 区	130	6.8
無 回 答	20	1.1

(6) 本調査結果利用上の注意

- ① N、nとは、比率算出の基礎となるサンプル数のことである。
- ② 各回答の比率は、回答者数を分母とした百分率であり、少数第2位を四捨五入して表している。
- ③ 1人の対象者につき2以上の複数回答を認めた質問の場合は、回答者数を分母としているため、個々の比率の合計は、100.0%を超えることがある。

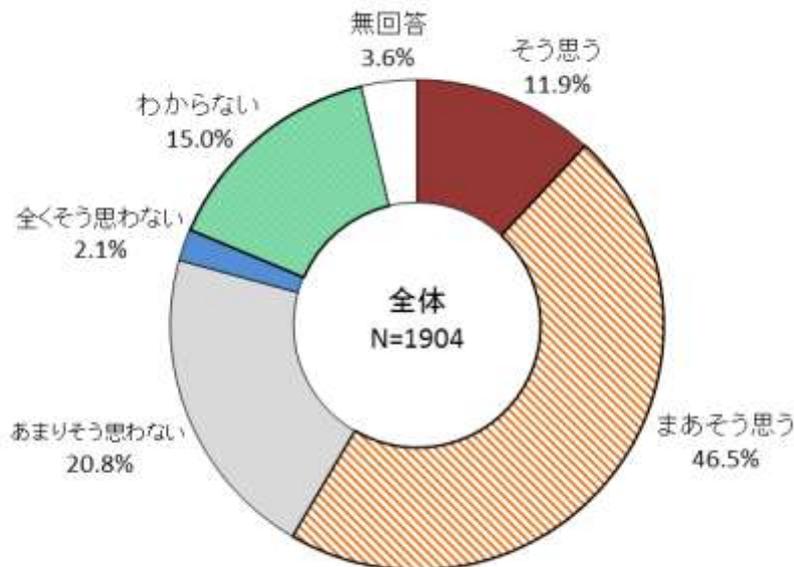
2. 調査結果の詳細

(1) 子どもを生き育てやすい環境づくり

- 子どもを生き育てやすい環境

【問1】札幌市は、子どもを生き育てやすい環境にあると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

子どもを生き育てやすい環境については、「そう思う」(11.9%)と「まあそう思う」(46.5%)を合わせた“そう思う”(58.4%)が全体の約6割を占めている。



【対象者全体】

子どもを生き育てやすい環境については、「まあそう思う」(46.5%)が最も高く、次いで、「あまりそう思わない」(20.8%)、「わからない」(15.0%)、「そう思う」(11.9%)、「全くそう思わない」(2.1%)となっている。

【性別】

男女共に「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高く、男女による違いはほとんど見られない。

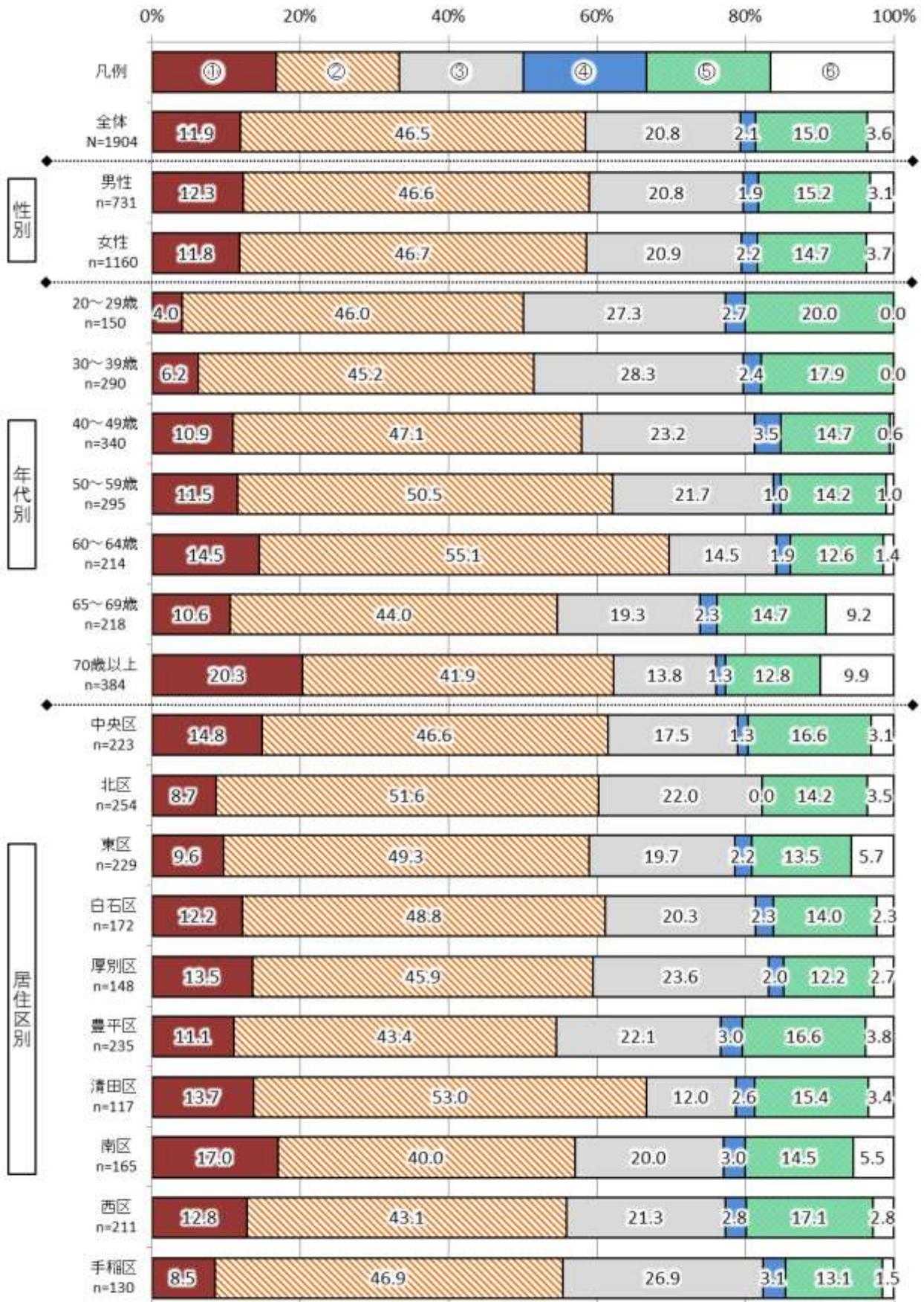
【年代別】

各年代共に「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高いが、高い60～64歳(69.6%)と20歳代(50.0%)、30歳代(51.4%)を比べると、その差は20ポイント近くあり年代による違いが見られる。

【居住区別】

全ての居住区で「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高いが、高い清田区(66.7%)と、豊平区(54.5%)、西区(55.9%)、手稲区(55.4%)を比べると、その差は約10ポイントある。

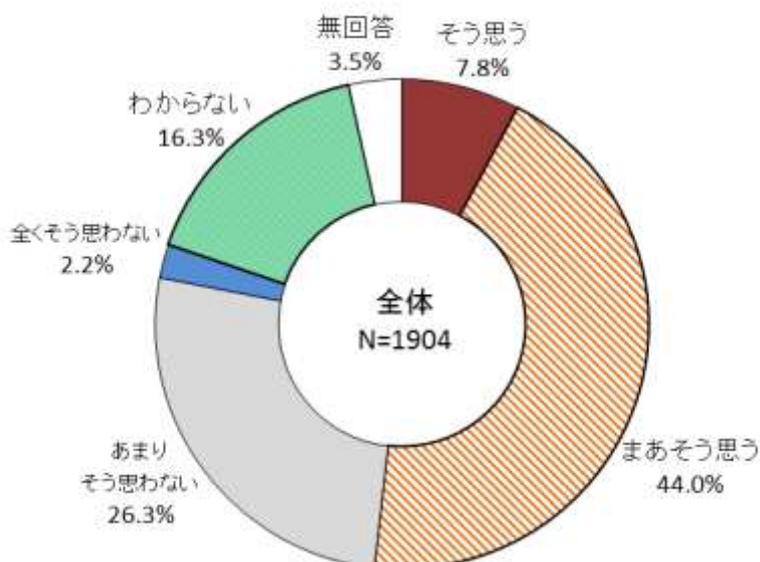
- ① そう思う ② まあそう思う ③ あまりそう思わない
 ④ 全くそう思わない ⑤ わからない ⑥ 無回答



・ 子どもや子育て家庭への配慮

【問2】 札幌市は、子どもと子育て家庭が暮らしやすいまちとして、住んでいる地域の住環境や公共施設が子どもや子育て家庭に配慮されていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

子どもや子育て家庭への配慮については、「そう思う」(7.8%)と「まあそう思う」(44.0%)を合わせた“そう思う”(51.8%)が全体の約5割を占めている。



【対象者全体】

子どもや子育て環境への配慮については、「まあそう思う」(44.0%)が最も高く、次いで「あまりそう思わない」(26.3%)、「わからない」(16.3%)、「そう思う」(7.8%)、「全くそう思わない」(2.2%)となっている。

【性別】

男女共に「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高く、男性が女性よりやや高くなっている。

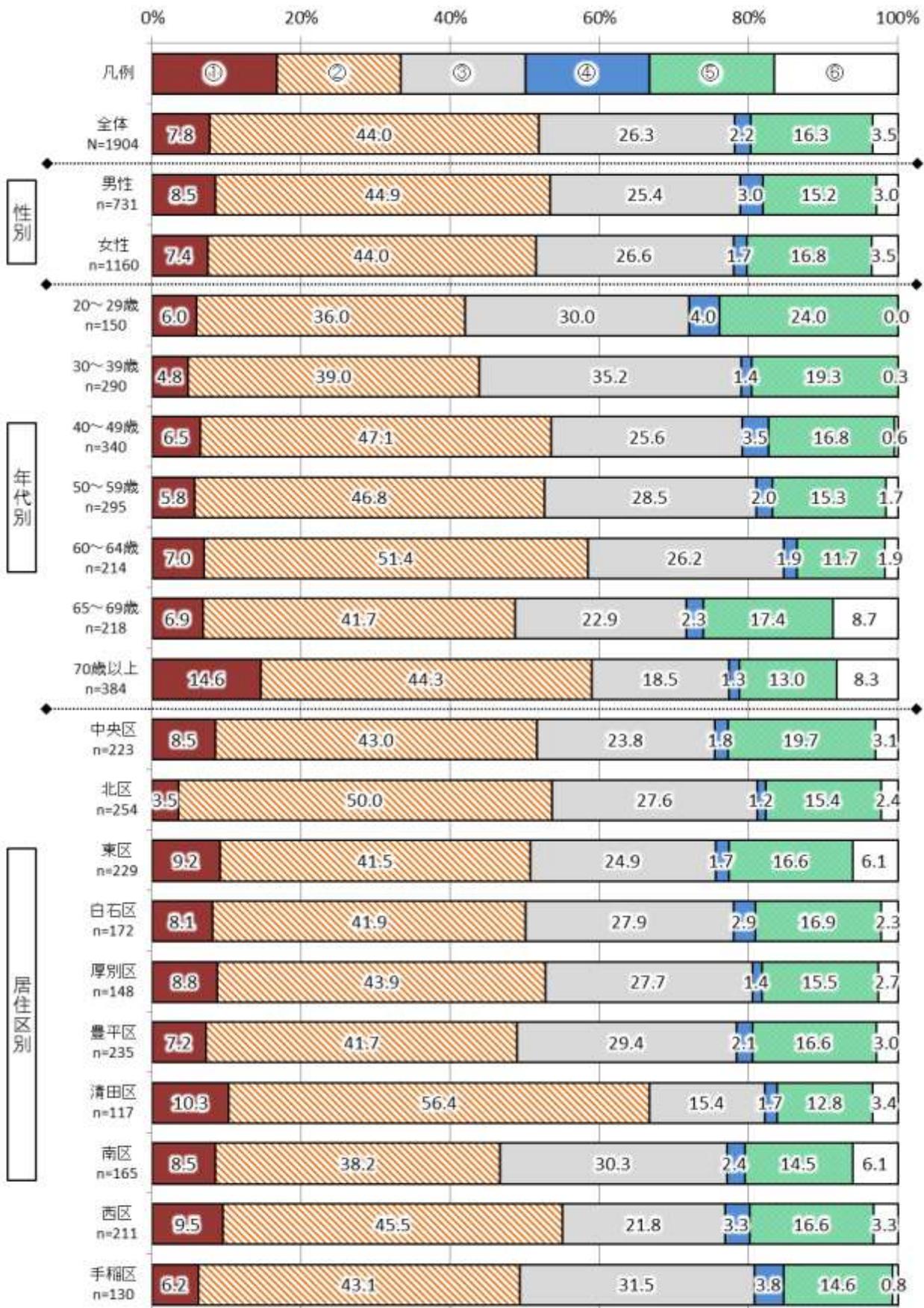
【年代別】

各年代共に「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高いが、高い60～64歳(58.4%)、70歳以上(58.9%)と20歳代(42.0%)、30歳代(43.8%)を比べると、その差は約15ポイントあり年代による違いが見られる。

【居住区別】

全ての居住区で「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高いが、高い清田区(66.7%)と、南区(46.7%)、豊平区(48.9%)、手稲区(49.3%)を比べると、その差は約10ポイント近くある。

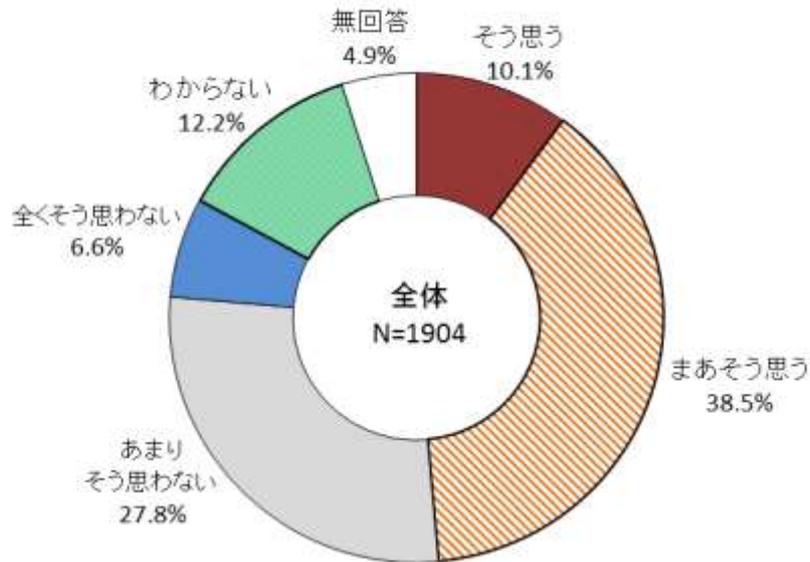
- ① そう思う ② まあそう思う ③ あまりそう思わない
 ④ 全くそう思わない ⑤ わからない ⑥ 無回答



・「仕事」と「私生活」の調和

【問3】あなたは、「仕事」と「家事(育児)、プライベートなどの生活」の調和がとれていると思いますか。
あてはまるもの一つに○をつけてください。

「仕事」と「私生活」の調和がとれていると思うかについては、「そう思う」(10.1%)と「まあそう思う」(38.5%)を合わせた“そう思う”(48.6%)が全体の約5割を占めている。



【対象者全体】

「仕事」と「私生活」の調和がとれていると思うかについては、「まあそう思う」(38.5%)が最も高く、次いで「あまりそう思わない」(27.8%)、「わからない」(12.2%)、「そう思う」(10.1%)、「全くそう思わない」(6.6%)となっている。

【性別】

男女共に「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高く、女性が男性よりやや高くなっている。

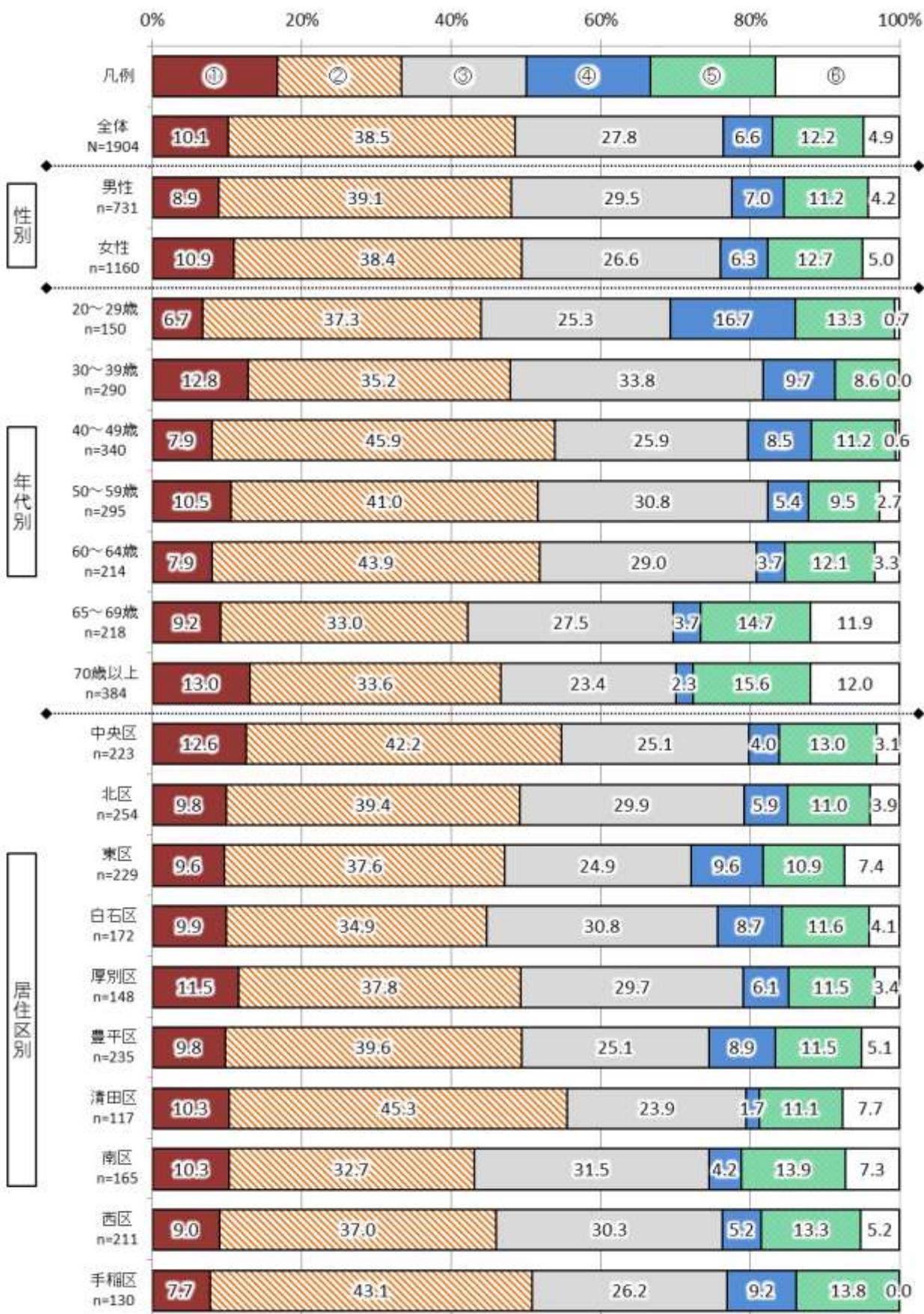
【年代別】

各年代共に「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高いが、高い40歳代(53.8%)と20歳代(44.0%)、65～69歳(42.2%)を比べると、その差は約10ポイント以上あり年代による違いが見られる。

【居住区別】

全ての居住区で「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高いが、高い清田区(55.6%)、中央区(54.8%)と白石区(44.8%)、南区(43.0%)を比べると、その差は約10ポイント近くある。

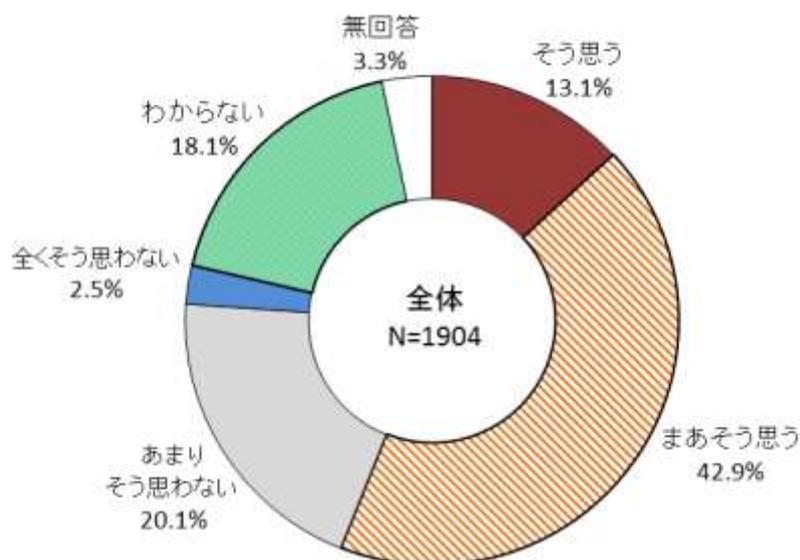
- ① そう思う ② まあそう思う ③ あまりそう思わない
 ④ 全くそう思わない ⑤ わからない ⑥ 無回答



- ・ 安心して妊娠・出産できる環境

【問4】 札幌市は、安心して妊娠・出産できる環境が整っていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

安心して妊娠・出産できる環境が整っているかについては、「そう思う」(13.1%)と「まあそう思う」(42.9%)を合わせた“そう思う”(56.0%)が全体の約6割を占めている。



【対象者全体】

安心して妊娠・出産できる環境が整っているかについては、「まあそう思う」(42.9%)が最も高く、次いで「あまりそう思わない」(20.1%)、「わからない」(18.1%)、「そう思う」(13.1%)、「全くそう思わない」(2.5%)となっている。

【性別】

男女共に「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高く、男性が女性よりやや高くなっている。

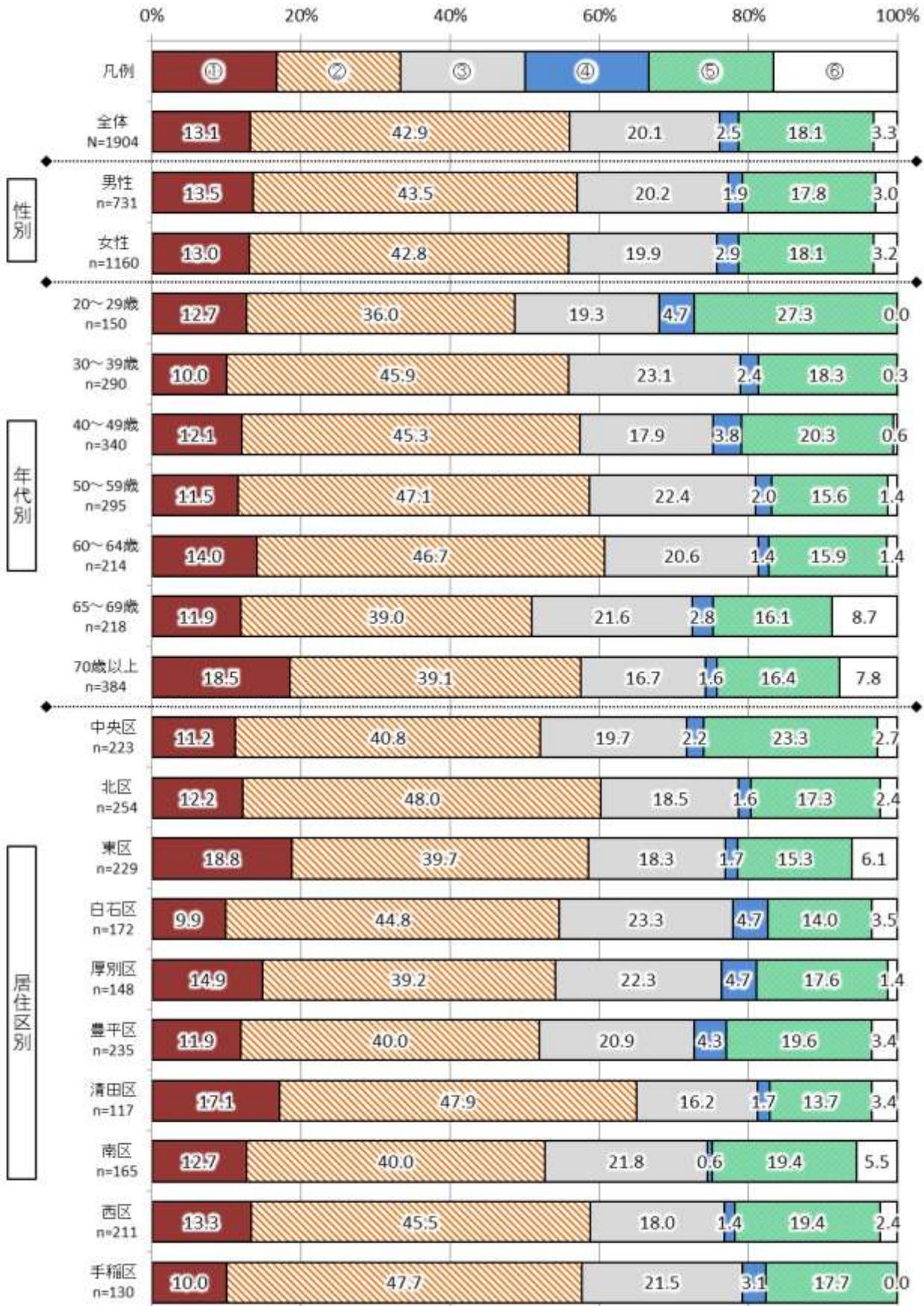
【年代別】

各年代共に「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高いが、高い 50 歳代(58.6%)、60～64 歳代(60.7%)と 20 歳代(48.7%)を比べると、その差は約 10 ポイントあり年代による違いが見られる。

【居住区別】

全ての居住区で「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高いが、高い清田区(65.0%)と豊平区(51.9%)、南区(52.7%)を比べると、その差は 10 ポイント以上ある。

- ① そう思う ② まあそう思う ③ あまりそう思わない
 ④ 全くそう思わない ⑤ わからない ⑥ 無回答

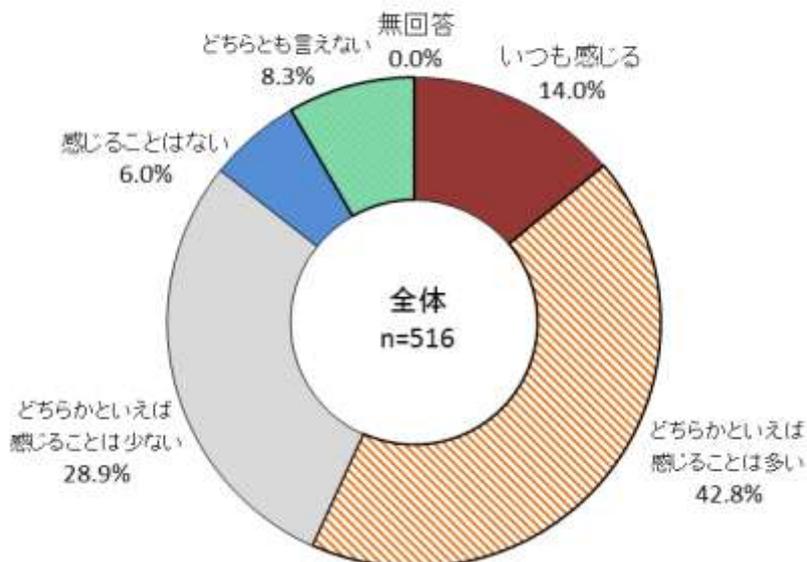


・ 子育てに関する不安や負担

《18歳以下のお子さんがある方のみ》

【問5】(1) あなたは、子育てに関して不安や負担を感じますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

子育てに関しての不安や負担については、「いつも感じる」(14.0%)と「どちらかといえば感じることは多い」(42.8%)を合わせた“感じる”(56.8%)が全体の約6割を占めている。



【対象者全体】

子育てに関しての不安や負担については、「どちらかといえば感じることは多い」(42.8%)が最も高く、次いで「どちらかといえば感じることは少ない」(28.9%)、「いつも感じる」(14.0%)、「どちらとも言えない」(8.3%)、「感じることはない」(6.0%)となっている。

【性別】

男女共に「いつも感じる」と「どちらかといえば感じることは多い」を合わせた“感じる”が高いが、男性が女性より高くなっている。

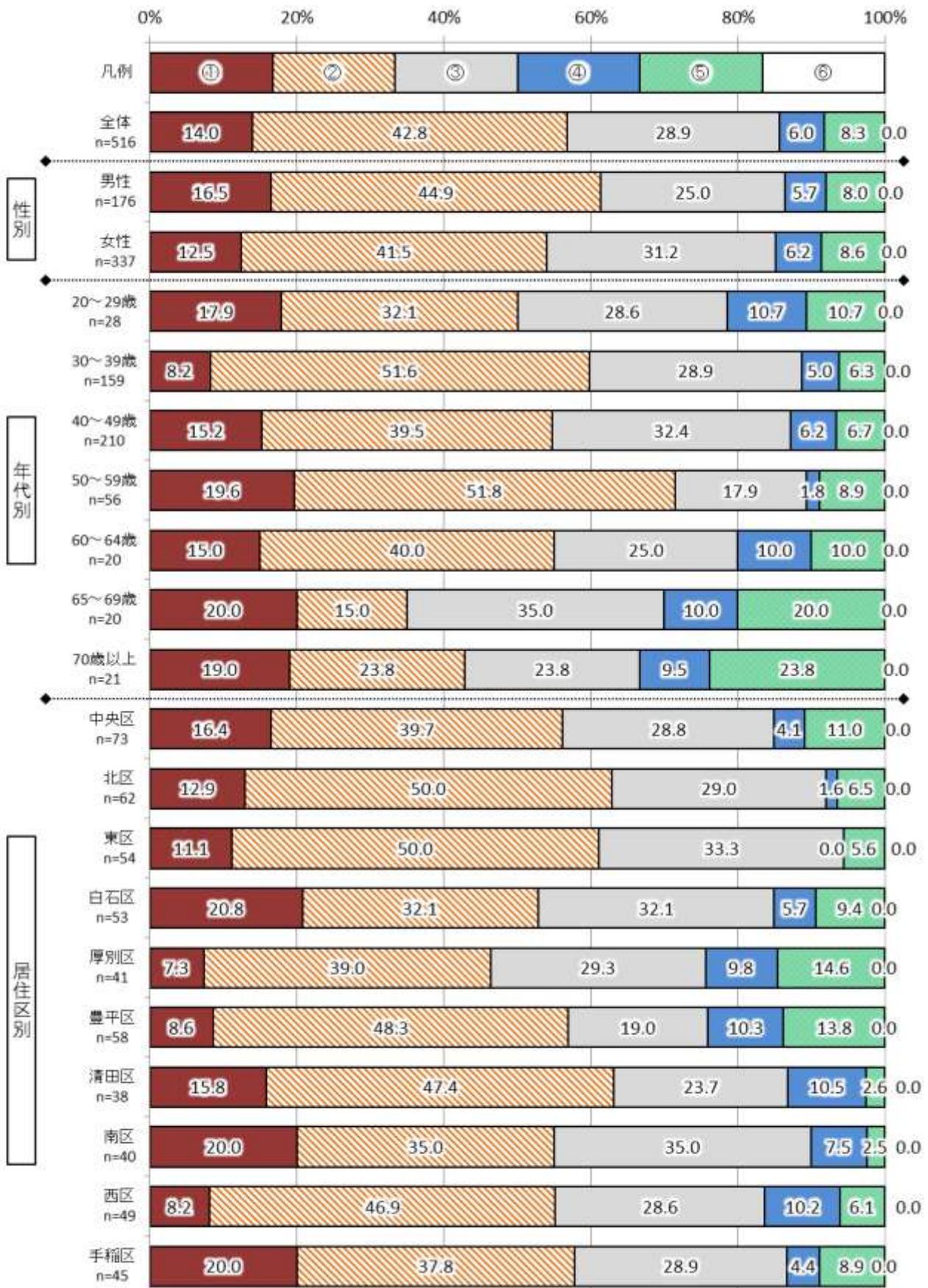
【年代別】

65～69歳を除く各年代で、「いつも感じる」と「どちらかといえば感じることは多い」を合わせた“感じる”が高いが、特に高い50歳代(71.4%)と70歳以上(42.8%)を比べると、約30ポイント近い差がある。

【居住区別】

全ての居住区で、「いつも感じる」と「どちらかといえば感じることは多い」を合わせた“感じる”が高いが、特に高い北区(62.9%)、東区(61.1%)、清田区(63.2%)と厚別区(46.3%)を比べると約15ポイントの差がある。

- ①いつも感じる
- ②どちらかといえば感じることは多い
- ③どちらかといえば感じることは少ない
- ④感じることはない
- ⑤どちらとも言えない
- ⑥無回答

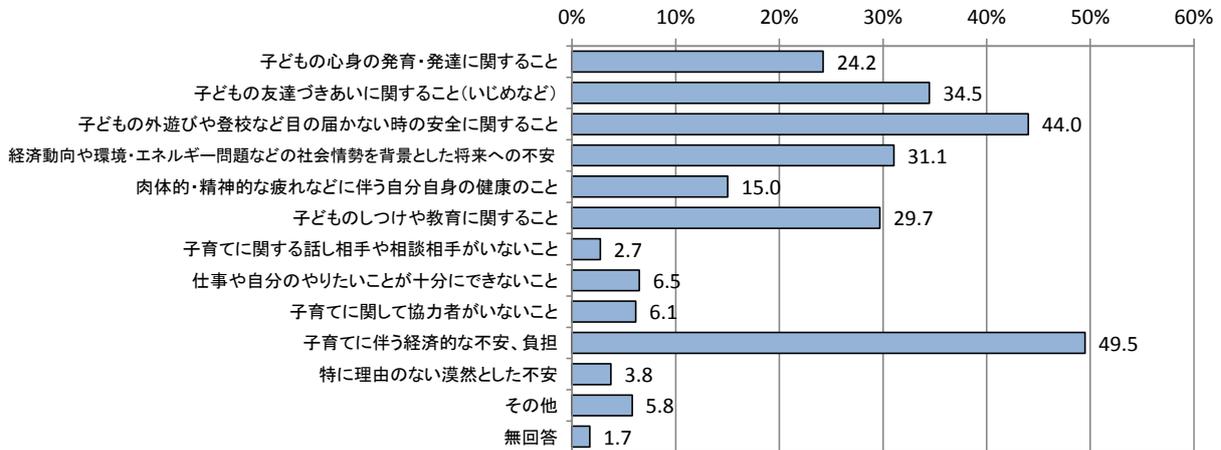


《18歳以下のお子さんがいる方のみ》

《(1)で「1. いつも感じる」、「2. どちらかといえば感じることは多い」と答えた方のみ》

【問5】(2) どのようなことに不安や負担を感じますか(三つまで○)。

不安や負担の内容については、「子育てに伴う経済的な不安、負担」(49.5%)が最も高く、約5割を占める。



【対象者全体】

不安や負担の内容については、「子育てに伴う経済的な不安、負担」(49.5%)が最も高く、次いで「子どもの外遊びや登校など目の届かない時の安全に関すること」(44.0%)、「子どもの友達つきあいに関すること」(34.5%)、「経済動向や環境・エネルギー問題など社会情勢を背景とした将来への不安」(31.1%)となっている。

【性別】

男女とも上位3項目は高いが、男性では「子育てに伴う経済的な不安、負担」が女性より高く、女性では「子どもの外遊びや登校など目の届かない時の安全に関すること」が高くなっている。

【年代別】

「子育てに伴う経済的な不安、負担」は年代が下がるにつれて高くなり、40歳代以下ではこの他「子どもの外遊びや登校など目の届かない時の安全に関すること」も高くなっている。50歳代、60歳代では概ね、「子どもの友達つきあいに関すること」、「経済動向や環境・エネルギー問題など社会情勢を背景とした将来への不安」が高く、年代による違いが見られる。

【居住区別】

「子育てに伴う経済的な不安、負担」は、手稲区(69.2%)、厚別区(68.4%)、北区(59.0%)、清田区(58.3%)では高く、「子どもの友達つきあいに関すること」では、東区(54.5%)、南区(45.5%)で高くなっている。

表1

(%)

	対象者数	子どもの心身の発育・発達に関すること	子どもの友達づきあいに 関すること(いじめなど)	子どもの外遊びや登校など 目の届かない時の安全に関する こと	子どもの外遊びや登校など 目の届かない時の安全に関する こと	経済動向や環境・エネルギー 問題などの社会情勢を背景とし た将来への不安	肉体的・精神的な疲れなど に伴う自分自身の健康のこと	子どものしつけや教育に関 すること	子育てに関する話し相手や 相談相手がいないこと	仕事や自分のやりたいこと が十分にできないこと	子育てに関して協力者がい ないこと	子育てに伴う経済的な不安 、負担	特に理由のない漠然とした 不安	その他
対象者全体	293	24.2	34.5	44.0	31.1	15.0	29.7	2.7	6.5	6.1	49.5	3.8	5.8	
【性別】														
男性	108	20.4	39.8	39.8	31.5	9.3	30.6	2.8	2.8	4.6	54.6	4.6	6.5	
女性	182	25.8	31.3	46.7	30.8	18.7	29.1	2.2	8.8	7.1	47.3	3.3	5.5	
【年代別】														
20～29歳	14	21.4	14.3	64.3	28.6	21.4	28.6	0.0	14.3	7.1	64.3	7.1	0.0	
30～39歳	95	27.4	24.2	50.5	29.5	8.4	30.5	2.1	10.5	6.3	52.6	5.3	6.3	
40～49歳	115	23.5	42.6	41.7	26.1	21.7	27.8	3.5	4.3	7.8	53.9	1.7	6.1	
50～59歳	40	22.5	52.5	32.5	42.5	10.0	32.5	0.0	2.5	0.0	42.5	5.0	5.0	
60～64歳	11	9.1	9.1	27.3	45.5	9.1	36.4	0.0	9.1	18.2	36.4	0.0	18.2	
65～69歳	7	28.6	57.1	57.1	57.1	28.6	28.6	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	
70歳以上	9	22.2	11.1	33.3	22.2	11.1	22.2	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	
【居住区別】														
中央区	41	24.4	36.6	46.3	34.1	7.3	36.6	0.0	12.2	9.8	34.1	2.4	7.3	
北区	39	20.5	38.5	33.3	23.1	23.1	33.3	7.7	5.1	10.3	59.0	5.1	5.1	
東区	33	36.4	54.5	39.4	24.2	6.1	21.2	3.0	3.0	3.0	48.5	0.0	0.0	
白石区	28	28.6	28.6	39.3	39.3	14.3	28.6	0.0	7.1	3.6	53.6	7.1	7.1	
厚別区	19	5.3	15.8	31.6	47.4	10.5	26.3	5.3	10.5	5.3	68.4	5.3	5.3	
豊平区	33	30.3	30.3	48.5	24.2	18.2	33.3	0.0	6.1	3.0	45.5	3.0	3.0	
清田区	24	12.5	29.2	50.0	25.0	8.3	29.2	4.2	0.0	4.2	58.3	8.3	8.3	
南区	22	31.8	45.5	40.9	36.4	22.7	27.3	4.5	9.1	4.5	27.3	0.0	4.5	
西区	27	25.9	22.2	59.3	37.0	29.6	18.5	0.0	3.7	14.8	40.7	0.0	11.1	
手稲区	26	19.2	34.6	50.0	26.9	11.5	34.6	3.8	7.7	0.0	69.2	7.7	7.7	

対象者全体スコアと比較して10%以上高い

対象者全体スコアと比較して10%以上低い

表2

(%)

	対象者数	無回答
対象者全体	293	1.7
【性別】		
男性	108	1.9
女性	182	1.6
【年代別】		
20～29歳	14	0.0
30～39歳	95	1.1
40～49歳	115	0.0
50～59歳	40	2.5
60～64歳	11	9.1
65～69歳	7	0.0
70歳以上	9	22.2
【居住区別】		
中央区	41	0.0
北区	39	0.0
東区	33	6.1
白石区	28	0.0
厚別区	19	0.0
豊平区	33	3.0
清田区	24	0.0
南区	22	4.5
西区	27	3.7
手稲区	26	0.0

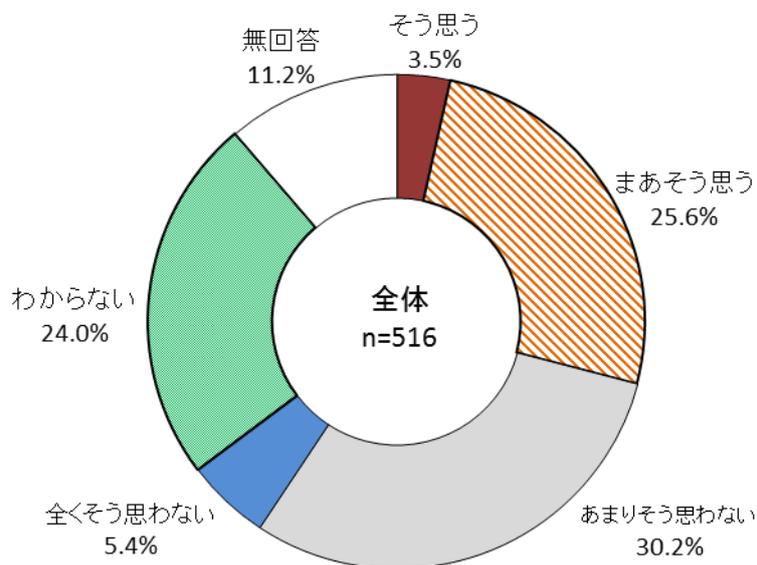
対象者全体スコアと比較して10%以上高い

・ 子育てに関する相談体制の整備

《18歳以下のお子さんがある方のみ》

【問6】(1) あなたは、子育てについての相談が必要な時、札幌市の相談体制は整っていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

子育てに関する相談体制は整っているかについて、「あまりそう思わない」(30.2%)と「全くそう思わない」(5.4%)を合わせた“そう思わない”(35.6%)が全体の約4割を占めている。



【対象者全体】

相談体制は整っているかについて、「あまりそう思わない」(30.2%)が最も高く、次いで「まあそう思う」(25.6%)、「わからない」(24.0%)、「全くそう思わない」(5.4%)、「そう思う」(3.5%)となっている。

【性別】

男女共に、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が高く、男性が女性よりやや高くなっている。

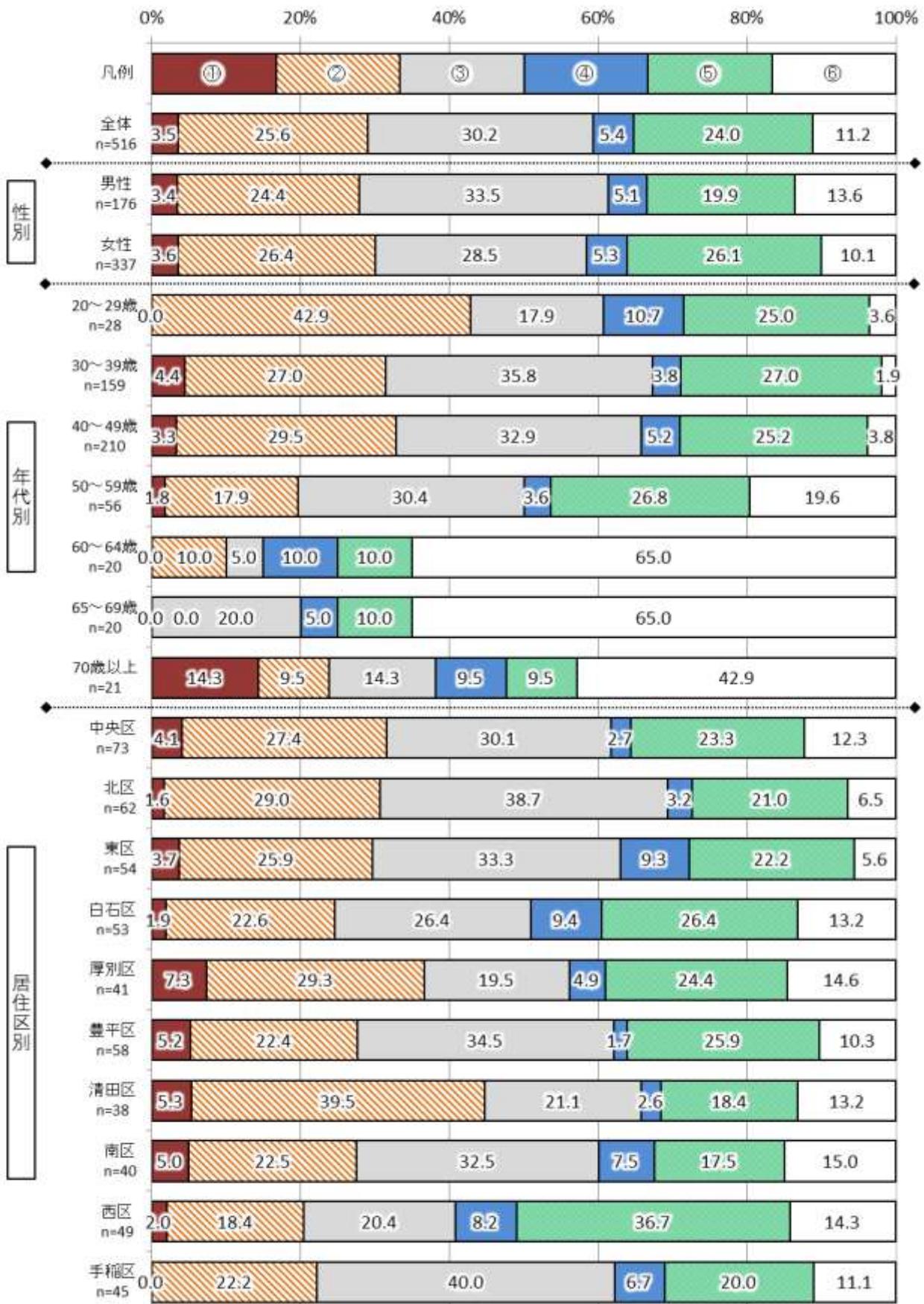
【年代別】

50歳代以下では、年代が下がるにつれて、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が高くなるが、逆に20歳代では「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が42.9%と、年代による違いが見られる。

【居住区別】

厚別区、清田区を除く全ての区で、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が高く、北区(41.9%)、東区(42.6%)、南区(40.0%)、手稲区(46.7%)では4割を超える。一方、厚別区(36.6%)、清田区(44.8%)では、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が高くなっている。

- ① そう思う ② まあそう思う ③ あまりそう思わない
 ④ 全くそう思わない ⑤ わからない ⑥ 無回答

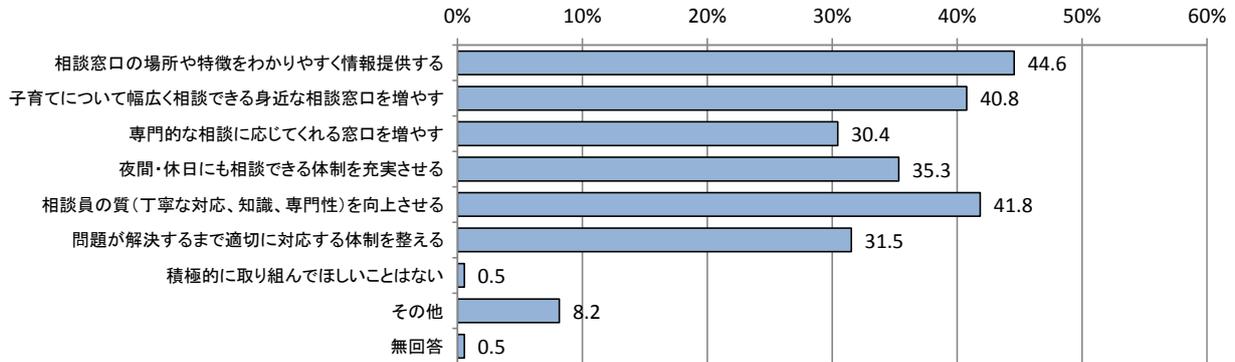


《18歳以下のお子さんがある方のみ》

《(1)で「3. あまりそう思わない」、「4. 全くそう思わない」と答えた方》

【問6】(2) 札幌市の子育てについての相談体制として、積極的に取り組んでほしいことは何ですか(三つまで〇)。

積極的に取り組んでほしいことでは、「相談窓口の場所や特徴をわかりやすく情報提供する」(44.6%)が全体の約4割を占めている。



【対象者全体】

積極的に取り組んでほしいことでは、「相談窓口の場所や特徴をわかりやすく情報提供する」(44.6%)が最も高く、次いで「相談員の質を向上させる」(41.8%)、「子育てについて幅広く相談できる身近な相談窓口を増やす」(40.8%)、「夜間・休日にも相談できる体制を充実させる」(35.3%)となっている。

【性別】

女性では、「子育てについて幅広く相談できる身近な相談窓口を増やす」(45.6%)、「相談員の質を向上させる」(43.9%)が4割を超えている。

【年代別】

20歳代、30歳代では、「相談員の質を向上させる」、「夜間・休日にも相談できる体制を充実させる」、「子育てについて幅広く相談できる身近な相談窓口を増やす」が高く、40歳代、50歳代では「相談窓口の場所や特徴をわかりやすく情報提供する」が高く、年代による違いが見られる。

【居住区別】

全ての区において、上位3項目は概ね高くなっているが、「相談窓口の場所や特徴をわかりやすく情報提供する」は清田区(66.7%)で特に高く、この他「専門的な相談に応じてくれる窓口を増やす」は、東区では(43.5%)、南区(56.3%)で高くなっている。

(%)

	対象者数	り相 や談 す窓 く口の 情場の 報所 提や 供特 す徴 をわ か	き子 る育 身て 近につ な相 相談 窓いて 口幅 を増広 や相 す談 で	窓専 口門 を増的な やす相 談に 応 じて くれ る	制夜 を間 充・休 実日 させにも る相 談 で き る 体	識相 、談 専員 門の 性質 ）(を 向丁 上寧 させな る対 、知	応問 す題 るが 体制解決 を整する るまで 適切に 対	と積 は極 ないに 取り 組んで ほしい こ	その他	無 回 答
対象者全体	184	44.6	40.8	30.4	35.3	41.8	31.5	0.5	8.2	0.5
【性別】										
男 性	68	47.1	32.4	27.9	33.8	38.2	32.4	0.0	5.9	1.5
女 性	114	42.1	45.6	31.6	36.8	43.9	31.6	0.9	9.6	0.0
【年代別】										
20～29歳	8	37.5	50.0	37.5	50.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
30～39歳	63	38.1	42.9	28.6	41.3	47.6	33.3	0.0	7.9	0.0
40～49歳	80	48.8	41.3	28.8	36.3	33.8	35.0	0.0	8.8	0.0
50～59歳	19	52.6	26.3	26.3	15.8	42.1	26.3	0.0	10.5	0.0
60～64歳	3	33.3	33.3	0.0	33.3	66.7	33.3	33.3	33.3	0.0
65～69歳	5	60.0	60.0	60.0	40.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70歳以上	5	20.0	20.0	60.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0
【居住区別】										
中央区	24	37.5	33.3	25.0	41.7	37.5	33.3	0.0	4.2	0.0
北 区	26	38.5	42.3	26.9	34.6	46.2	30.8	0.0	19.2	0.0
東 区	23	52.2	30.4	43.5	21.7	52.2	30.4	0.0	4.3	4.3
白石区	19	47.4	36.8	15.8	42.1	36.8	52.6	0.0	5.3	0.0
厚別区	10	40.0	50.0	20.0	40.0	50.0	20.0	0.0	0.0	0.0
豊平区	21	47.6	42.9	42.9	28.6	38.1	28.6	0.0	0.0	0.0
清田区	9	66.7	22.2	11.1	44.4	44.4	11.1	0.0	33.3	0.0
南 区	16	43.8	50.0	56.3	31.3	31.3	25.0	0.0	6.3	0.0
西 区	14	50.0	50.0	28.6	35.7	50.0	35.7	0.0	0.0	0.0
手稲区	21	33.3	47.6	23.8	42.9	38.1	28.6	4.8	14.3	0.0

対象者全体スコアと比較して10%以上高い

対象者全体スコアと比較して10%以上低い

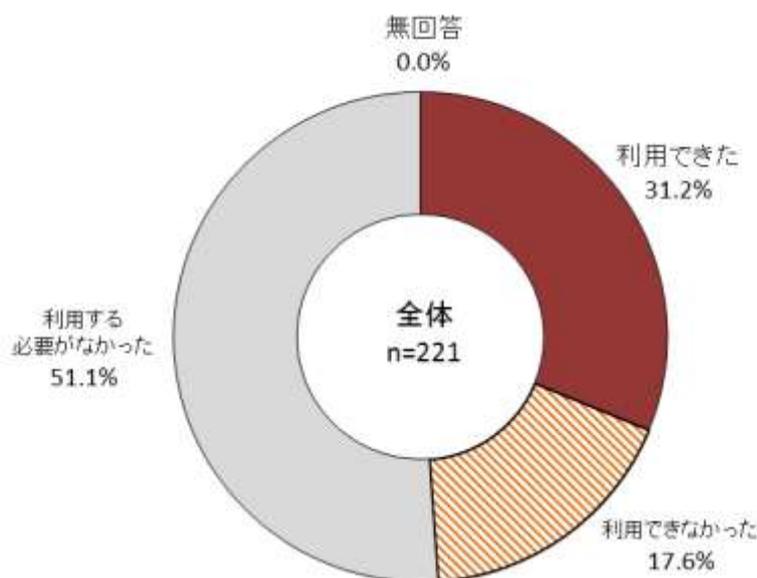
・ 保育サービスの利用

《就学前のお子さんがある方のみ》

【問7】 あなたは、この1年間に、希望した時期に、希望した保育サービス*を利用することができましたか。
あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ここでいう「保育サービス」とは、認可保育所への入所のほか、延長保育、病児・病後児保育などあらゆる保育サービスを含みます。

保育サービスの利用については、「利用する必要がなかった」(51.1%)が全体の約5割を占めている。



【対象者全体】

保育サービスの利用については、「利用する必要がなかった」(51.1%)が最も高く、次いで「利用できた」(31.2%)、「利用できなかった」(17.6%)となっている。

【性別】

男女による違いはあまり見られないが、「利用できなかった」では、女性が男性よりやや高くなっている。

【年代別】

40歳代以下では、「利用する必要がなかった」が高いが、20歳代では「利用できなかった」が、30歳代では「利用できた」もやや高くなっている。

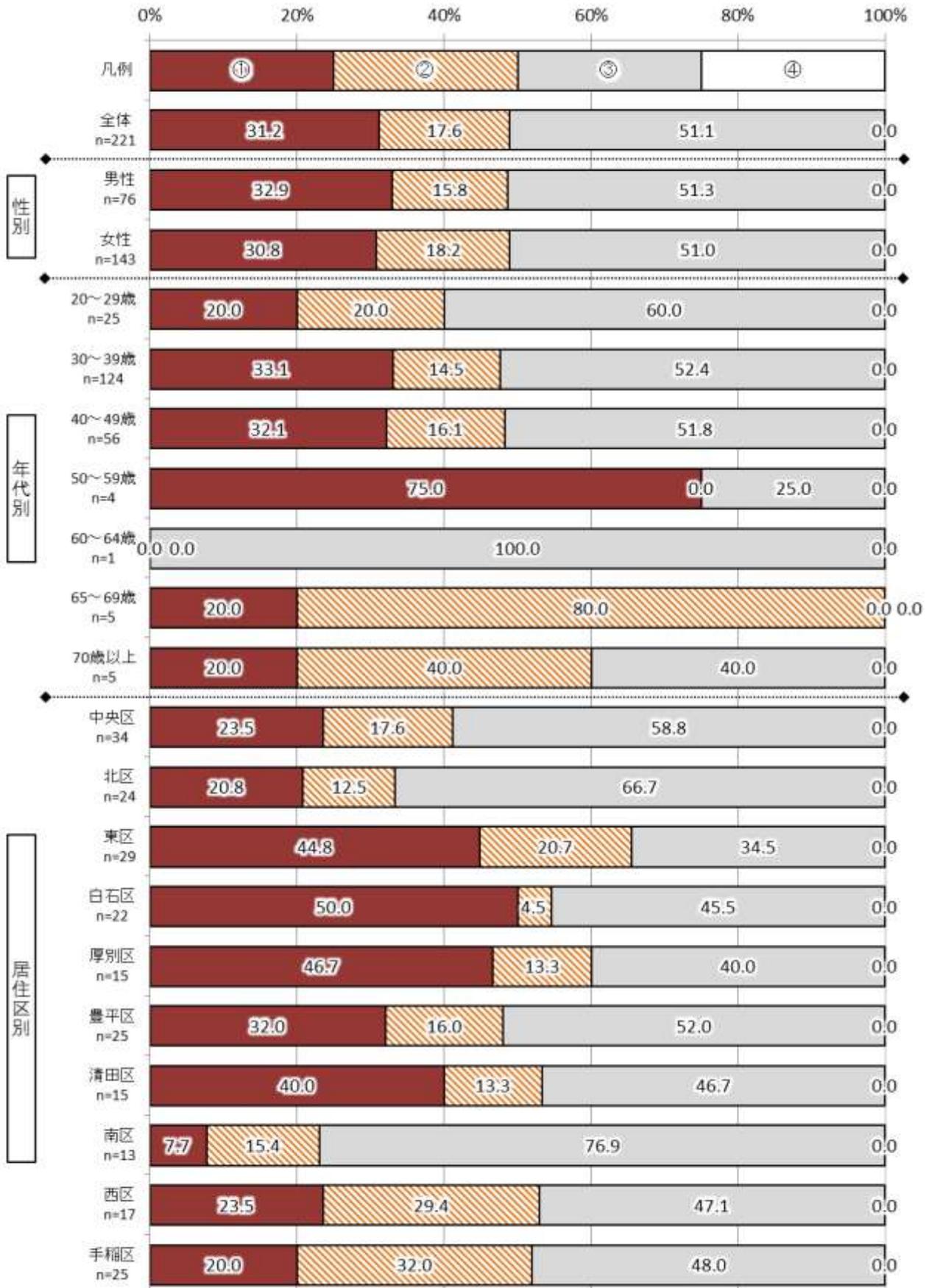
【居住区別】

全ての区で「利用する必要がなかった」が高いが、「利用できた」は、東区(44.8%)、白石区(50.0%)、厚別区(46.7%)、清田区(40.0%)が4割を超えている。「利用できなかった」は、西区(29.4%)、手稲区(32.0%)で約3割と区による違いが見られる。

①利用できた

②利用できなかった

③利用する必要がなかった

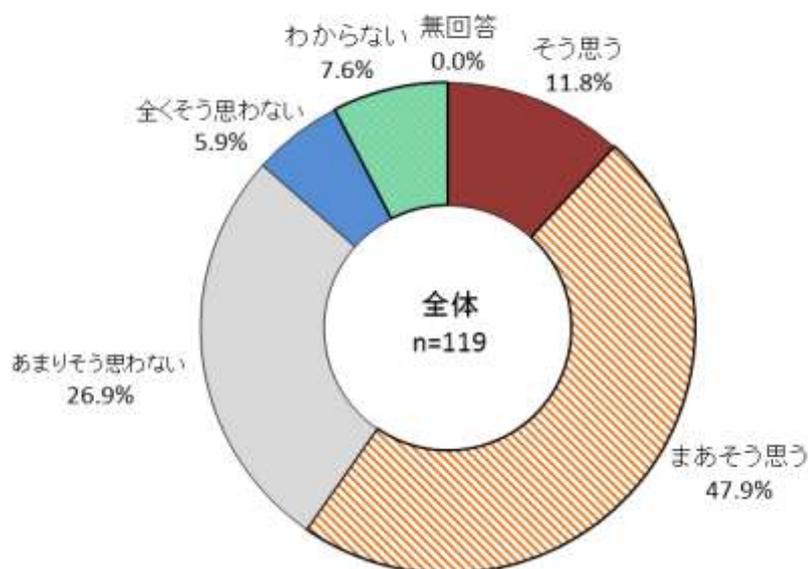


・ 安全に放課後を過ごす場所の確保

《保護者が共働きなどで小学生のお子さんが放課後に家に1人でいられないご家庭の方のみ》

【問8】 札幌市は、子どもが、安全に放課後を過ごす場所が確保されていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

子どもが安全に放課後を過ごす場所の確保については、「そう思う」(11.8%)と「まあそう思う」(47.9%)を合わせた“そう思う”(59.7%)が全体の約6割を占めている。



【対象者全体】

子どもが安全に放課後を過ごす場所の確保については、「まあそう思う」(47.9%)が最も高く、次いで「あまりそう思わない」(26.9%)、「そう思う」(11.8%)、「わからない」(7.6%)、「全くそう思わない」(5.9%)となっている。

【性別】

男女共に「そう思う」(11.8%)と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が高いが、女性(63.8%)が男性(51.3%)より10ポイント以上高くなっている。

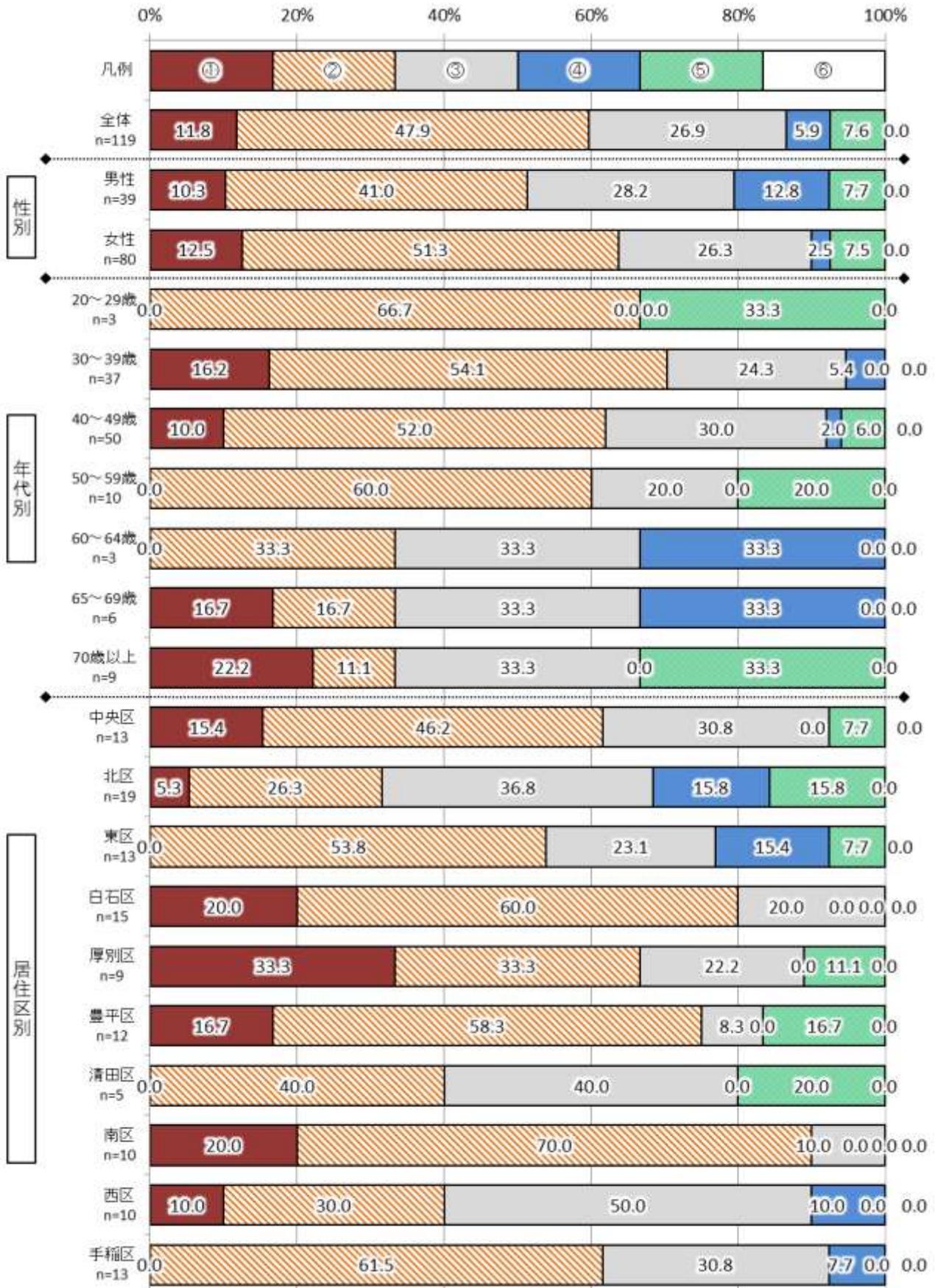
【年代別】

各年代共に、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が高く、30歳代(70.3%)では約7割を占めている。

【居住区別】

北区、西区を除く全ての区で、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が高く、白石区(80.0%)、南区(90.0%)では8割を超える一方、清田区(40.0%)、西区(40.0%)では4割と区による違いが見られる。

- ① そう思う ② まあそう思う ③ あまりそう思わない
 ④ 全くそう思わない ⑤ わからない ⑥ 無回答

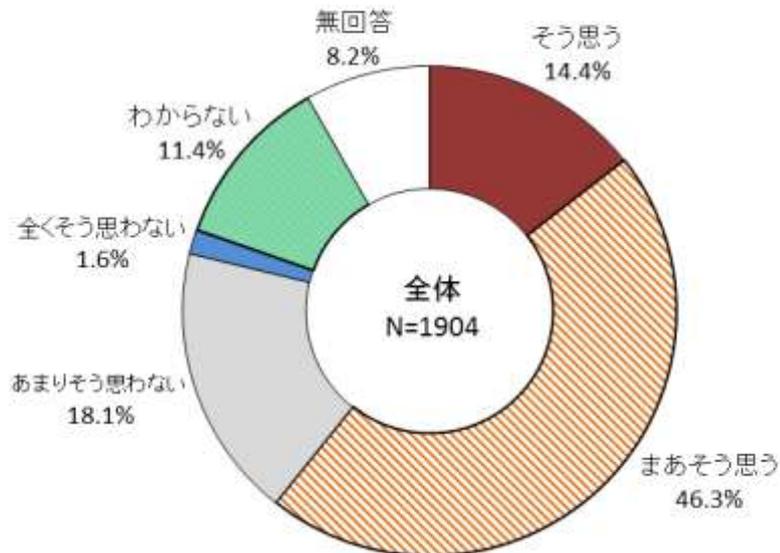


(2) 子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実

- ・ 自然・社会・文化などの体験をしやすい環境

【問 9】 あなたは、現在の札幌市が、子どもにとって、自然・社会・文化などの体験をしやすい環境であると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

現在の札幌市が、子どもにとって、自然・社会・文化などの体験をしやすい環境であると思うかについては、「そう思う」(14.4%)と「まあそう思う」(46.3%)を合わせた“そう思う”(60.7%)が全体の約6割を占めている。



【対象者全体】

現在の札幌市が、子どもにとって、自然・社会・文化などの体験をしやすい環境であると思うかについては、「まあそう思う」が 46.3%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」(18.1%)、「そう思う」(14.4%)、「全くそう思わない」(1.6%)となっている。

【性別】

男女共に「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高いが、男性(63.0%)は女性(59.7%)に比べて高くなっている。

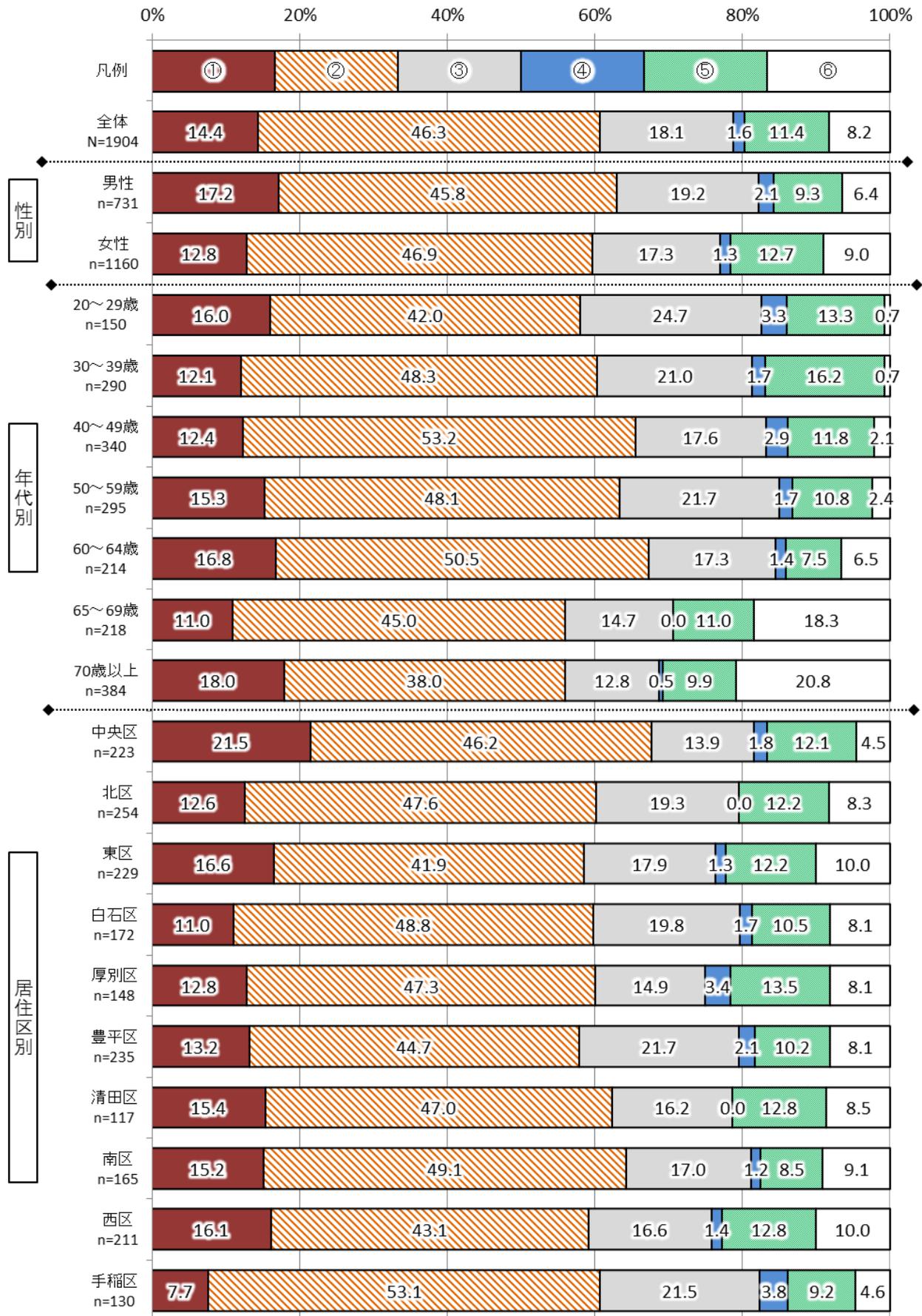
【年代別】

各年代共に「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高く、特に 40 歳代(65.6%)、60 歳代(67.3%)では高くなっている。

【居住区別】

全ての居住区で「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高く、「中央区」(67.7%)、「南区」(64.3%)で高くなっている。

- ① そう思う ② まあそう思う ③ あまりそう思わない
 ④ 全くそう思わない ⑤ わからない ⑥ 無回答

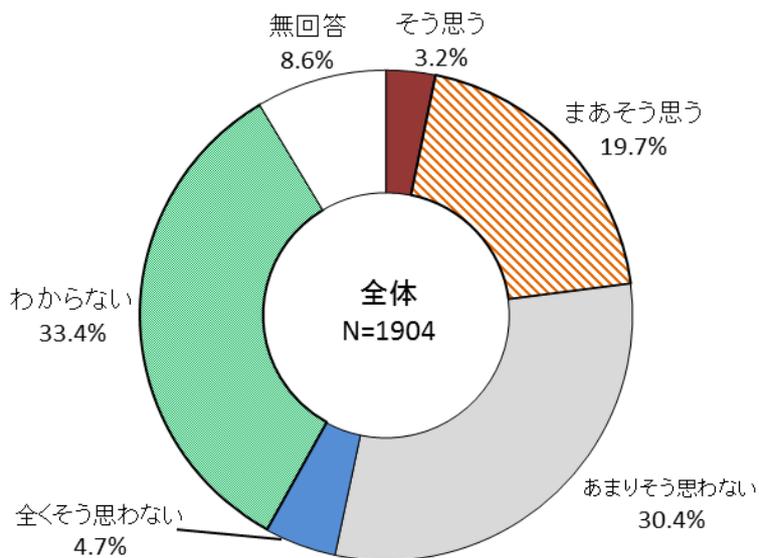


・ 特別な配慮が必要な子どもの支援体制

【問 10】 札幌市は、特別な配慮が必要な子ども^{*}の支援体制が整っていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ 「特別な配慮が必要な子ども」とは、この場合、「虐待など不適切な養育環境で育った子どもや障がいのある子ども、ひとり親家庭の子ども」などのことを指しています。

特別な配慮が必要な子どもの支援体制が整っているかについては、「あまりそう思わない」(30.4%)と「全くそう思わない」(4.7%)を合わせた“そう思わない”(35.1%)が全体の約3割強を占めている。



【対象者全体】

特別な配慮が必要な子どもの支援体制が整っているかについては、「わからない」(33.4%)が最も高く、次いで「あまりそう思わない」(30.4%)、「まあそう思う」(19.7%)、「全くそう思わない」(4.7%)、「そう思う」(3.2%)となっている。

【性別】

男女共に「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が最も高いが、男性(37.2%)は女性(34.0%)に比べてやや高くなっている。

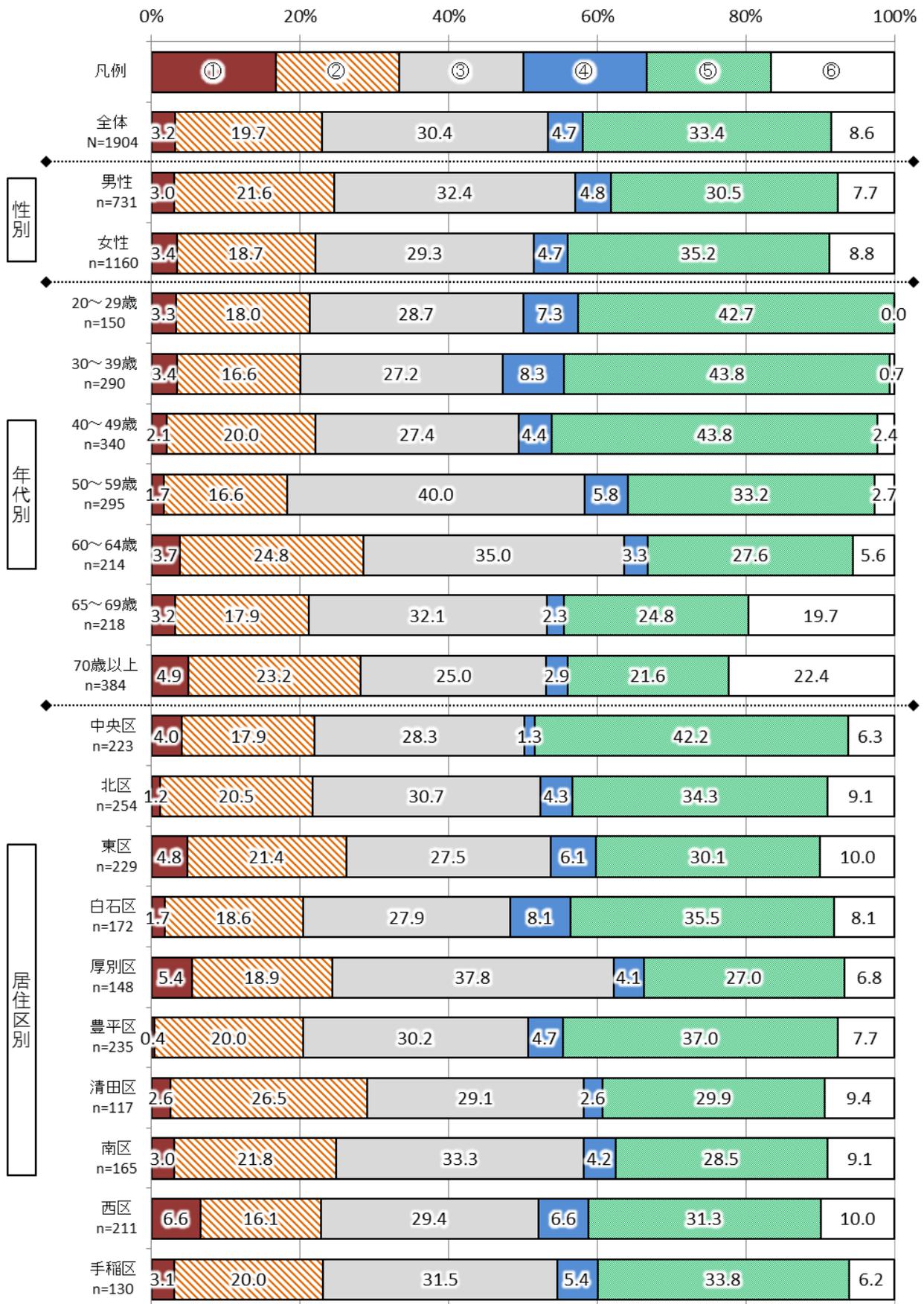
【年代別】

50歳代以上では、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が最も高いが、40歳代以下では、「わからない」が最も高く、各年代共に4割を超えている。

【居住区別】

中央区を除く全ての居住区で、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が最も高く、特に厚別区(41.9%)では約4割を占めている。一方、「中央区」では「わからない」(42.2%)が約4割となっている。

- ① そう思う ② まあそう思う ③ あまりそう思わない
 ④ 全くそう思わない ⑤ わからない ⑥ 無回答

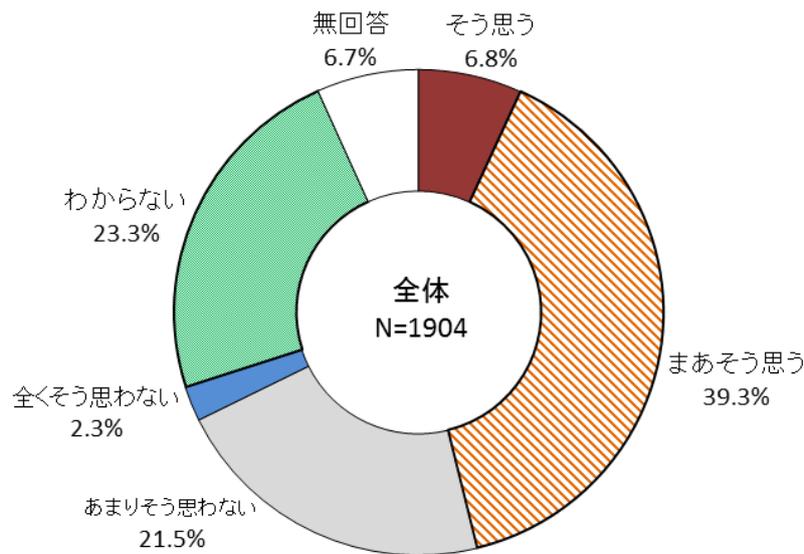


・ 子どもの権利の保護

【問 11】 あなたは、今の札幌市では、子どもの権利*が守られていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ 「子どもの権利」とは、子どもがのびのびと過ごし、健やかに成長・発達していくために守らなければならない子どもにとっての基本的な権利であり、札幌市では「安心して生きる権利」「自分らしく生きる権利」「豊かに育つ権利」「参加する権利」の4つとしています。

子どもの権利が守られているかについて、「そう思う」(6.8%)と「まあそう思う」(39.3%)を合わせた“そう思う”(46.1%)が全体の約5割を占めている。



【対象者全体】

子どもの権利が守られているかについて、「まあそう思う」(39.3%)が最も高く、次いで「わからない」(23.3%)、「あまりそう思わない」(21.5%)、「そう思う」(6.8%)、「全くそう思わない」(2.3%)となっている。

【性別】

男女共に「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高いが、男性が女性に比べてやや高くなっている。

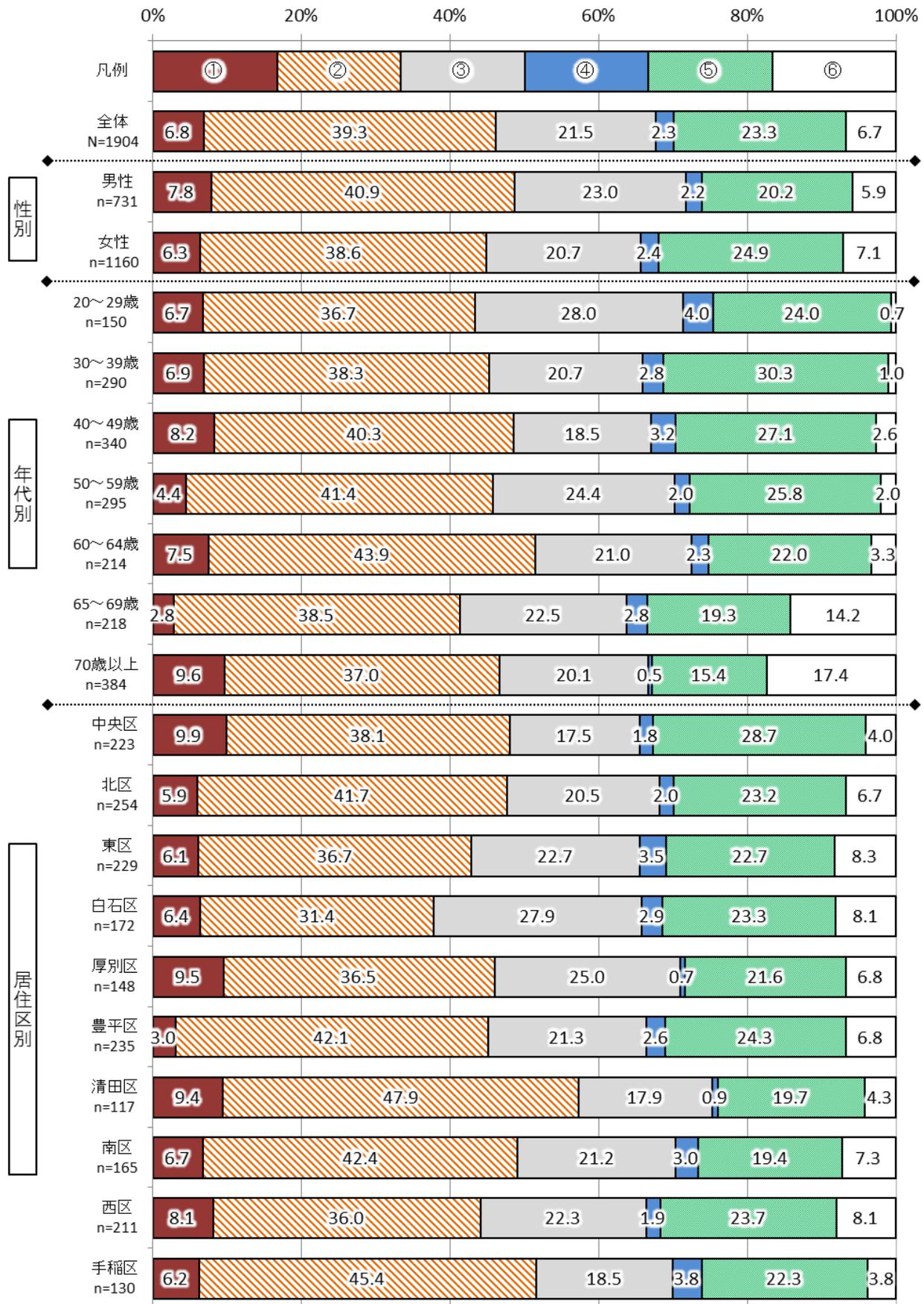
【年代別】

各年代共に「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高いが、60歳代(51.4%)では約5割となっている。

【居住区別】

全居住区で「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高いが、スコアの低い白石区(37.8%)に比べ、清田区(57.3%)、手稲区(51.6%)、南区(49.1%)、中央区(48.0%)は10ポイント以上高くなっている。

- ① そう思う ② まあそう思う ③ あまりそう思わない
 ④ 全くそう思わない ⑤ わからない ⑥ 無回答

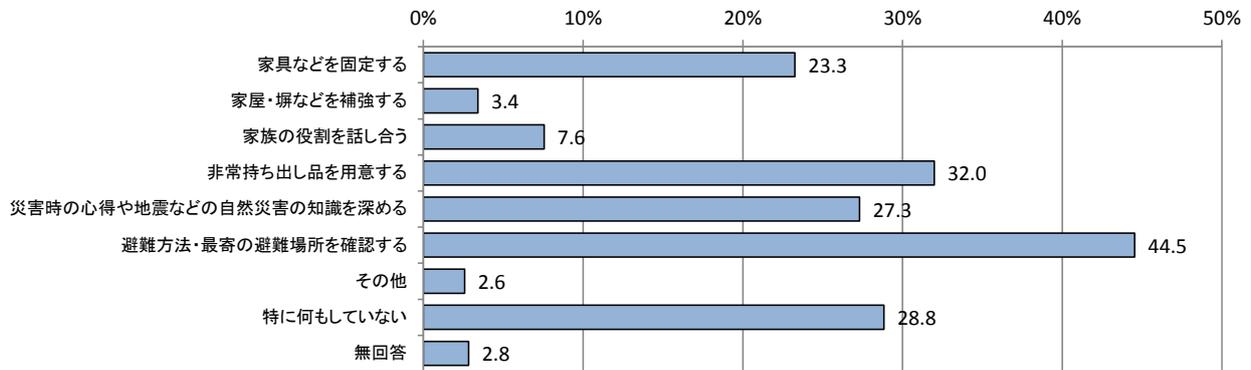


(3) 市民とともに災害に備えるまちづくり

- ・ 家庭での防災対策について

【問 12】 あなたのご家庭では、地震などの災害に備えてどのような対策をとっていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

地震などの災害に備えてどのような対策をとっているかについては、「避難方法・最寄の避難場所を確認する」(44.5%)が全体の約4割を占めている。



【対象者全体】

地震などの災害に備えてどのような対策をとっているかについては、「避難方法・最寄の避難場所を確認する」(44.5%)が最も高く、次いで「非常持ち出し品を用意する」(32.0%)、「特に何もしていない」(28.8%)、「災害時の心得や地震などの自然災害の知識を深める」(27.3%)、「家具などを固定する」(23.3%)となっている。

【性別】

「避難方法・最寄の避難場所を確認する」、「非常持ち出し品を用意する」では男女による違いはあまり見られないが、「災害時の心得や地震などの自然災害の知識を深める」では、男性(31.2%)が女性(24.8%)に比べて高くなっている。

【年代別】

60歳代以上では、「非常持ち出し品を用意する」、「災害時の心得や地震などの自然災害の知識を深める」、「家具などを固定する」が高く、70歳以上では「避難方法・最寄の避難場所を確認する」が高くなっている。30歳代以下では、「特に何もしていない」が3割～5割近くを占め、年代による違いが見られる。

【居住区別】

全ての区で、「避難方法・最寄の避難場所を確認する」が高くなっている。一方、白石区では「特に何もしていない」(37.2%)が約4割を占めている。

(%)

	対象者数	家具などを固定する	家屋・塀などを補強する	家族の役割を話し合う	非常持ち出し品を用意する	災害時の心得や地震などの自然災害の知識を深める	避難方法・最寄の避難場所を確認する	その他	特に何もしていない	無回答
対象者全体	1904	23.3	3.4	7.6	32.0	27.3	44.5	2.6	28.8	2.8
【性別】										
男性	731	24.5	4.2	7.8	32.6	31.2	43.5	2.7	27.6	2.9
女性	1160	22.4	2.9	7.4	31.6	24.8	45.3	2.5	29.7	2.8
【年代別】										
20～29歳	150	14.7	0.7	4.7	18.7	21.3	32.7	3.3	48.7	1.3
30～39歳	290	19.7	2.1	5.9	25.9	20.7	38.6	0.7	35.5	1.4
40～49歳	340	23.2	2.6	9.4	31.5	26.8	45.6	1.8	28.2	2.1
50～59歳	295	23.4	3.7	5.1	27.1	27.1	45.1	3.7	27.8	1.0
60～64歳	214	25.2	2.8	5.1	39.7	30.4	43.9	3.3	27.1	1.9
65～69歳	218	25.2	5.0	11.9	37.2	29.8	45.4	6.0	24.3	6.4
70歳以上	384	26.6	5.5	9.1	38.8	32.0	51.3	1.3	21.1	5.2
【居住区別】										
中央区	223	21.1	2.2	9.9	30.9	28.7	44.4	3.6	29.6	2.2
北区	254	22.4	2.0	9.1	29.9	24.4	42.1	2.8	31.9	3.9
東区	229	20.1	3.5	5.7	33.6	29.7	42.4	1.7	28.4	3.5
白石区	172	22.7	3.5	5.8	30.2	20.3	37.2	1.7	37.2	1.2
厚別区	148	34.5	4.1	8.1	39.9	34.5	52.7	2.0	23.0	1.4
豊平区	235	23.0	2.1	6.4	29.8	31.1	44.7	2.1	28.5	1.3
清田区	117	30.8	10.3	8.5	40.2	25.6	49.6	4.3	22.2	2.6
南区	165	27.9	2.4	6.7	35.2	30.3	46.7	2.4	23.0	3.0
西区	211	19.0	3.8	8.1	29.4	27.0	45.0	3.3	29.9	4.3
手稲区	130	17.7	4.6	6.2	25.4	19.2	43.8	2.3	31.5	3.8

対象者全体スコアと比較して10%以上高い

対象者全体スコアと比較して10%以上低い

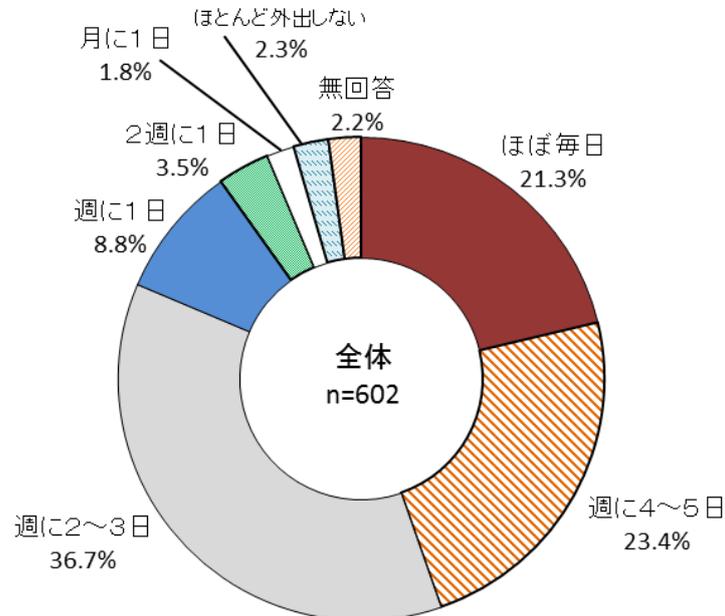
(4) 地域で支え合う、健やかでぬくもりあふれる生活への支援

・ 外出頻度

《65歳以上の方のみ》

【問 13】 (1) あなたは、年間を通してどのくらいの頻度で外出をしていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

年間を通しての外出頻度については、「週に2～3日」(36.7%)が全体の約4割を占めている。



【対象者全体】

年間を通しての外出頻度については、「週に2～3日」(36.7%)が最も高く、次いで「週に4～5日」(23.4%)、「ほぼ毎日」(21.3%)、「週に1日」(8.8%)、「2週に1日」(3.5%)、「ほとんど外出しない」(2.3%)、「月に1回」(1.8%)となっている。

【性別】

男女共に、「週に2～3日」が最も高いが、女性(40.0%)は男性(32.7%)に比べて高くなっている。また、「ほぼ毎日」では、男性(24.8%)が女性(18.1%)に比べて高く、「週に4～5日」では男女による違いは見られない。

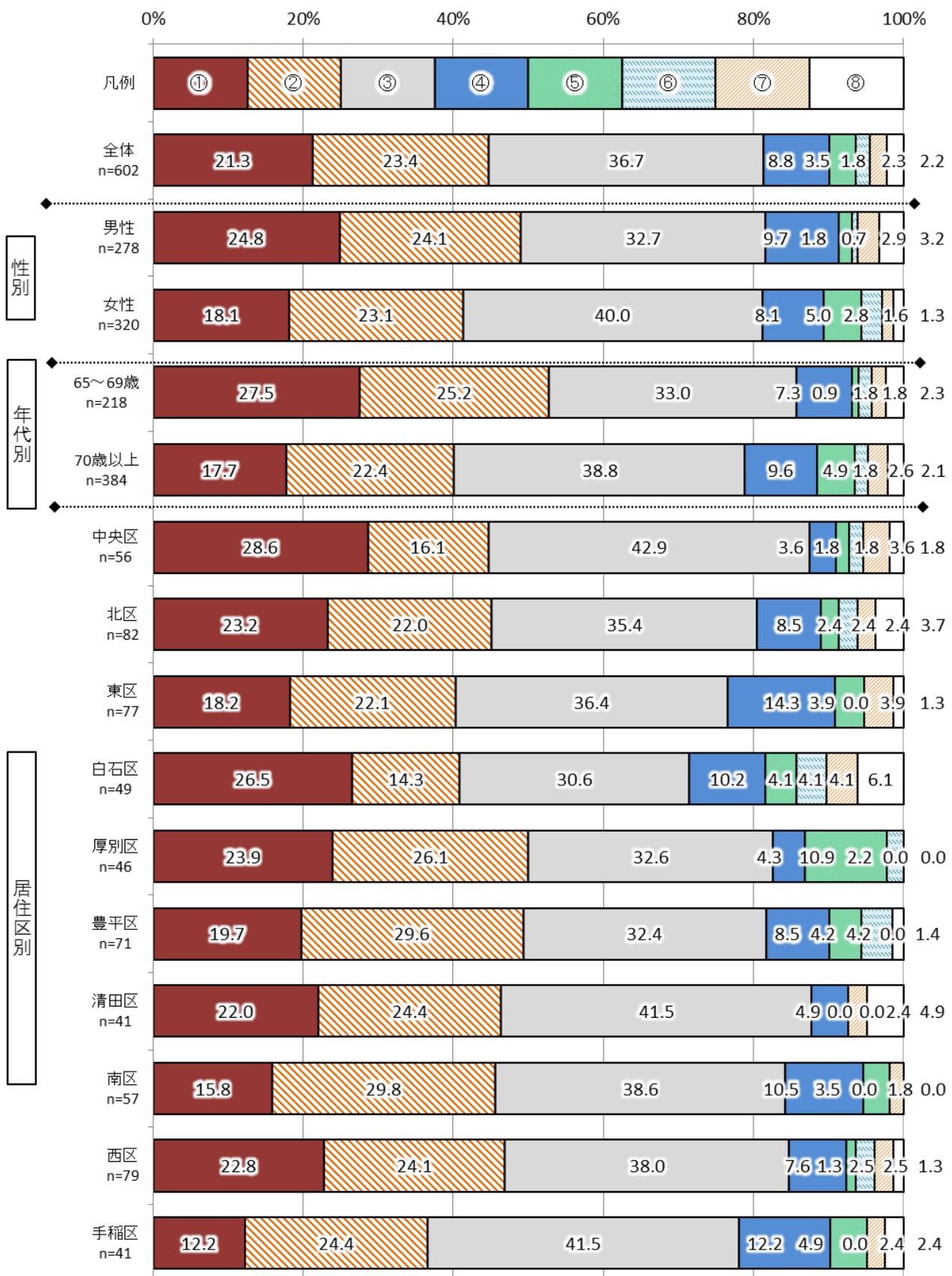
【年代別】

各年代共に「週に2～3日」が最も高いが、70歳以上(38.8%)は60歳代(33.0%)に比べて高くなっている。「週に4～5日」では60歳代(25.2%)が70歳以上(22.4%)よりやや高く、「ほぼ毎日」では60歳代(27.5%)が70歳以上(17.7%)よりほぼ10ポイント高く、年代による差がみられる。

【居住区別】

全居住区で「週に2～3日」が最も高く、中央区(42.9%)、清田区(41.5%)、手稲区(41.5%)では4割を超えている。「週に4～5日」では豊平区(29.6%)、南区(29.8%)が約3割と他に比べてやや高く、「ほぼ毎日」では、中央区(28.6%)、白石区(26.5%)が約3割と他に比べてやや高くなっている。

- ①ほぼ毎日 ②週に4～5日 ③週に2～3日 ④週に1日
 ⑤2週に1日 ⑥月に1回 ⑦ほとんど外出しない ⑧無回答

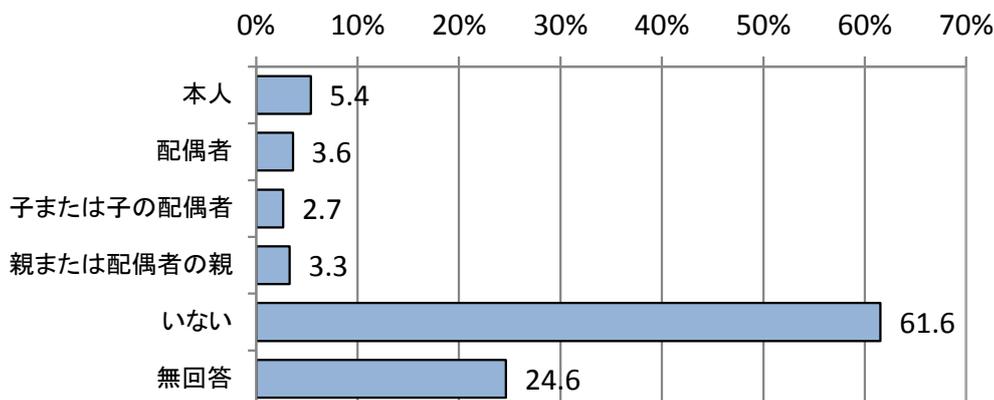


・ 障がい者の暮らしやすさ

【問 14】 障がいのある方にとっての地域での暮らしやすさについてお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) あなた、または同居のご家族で障がいのある方はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

同居の家族で障がいのある者の有無については、「いない」(61.6%)が全体の約6割を占める。



【対象者全体】

同居の家族で障がいのある者の有無については、「いない」(61.6%)が最も高く、次いで「本人」(5.4%)、「配偶者」(3.6%)、「親または配偶者の親」(3.3%)、「子または子の配偶者」(2.7%)となっている。

【性別】

男女共に「いない」が最も高く、男女による違いはあまり見られない。

【年代別】

各年代共に「いない」が最も高いが、60歳代以上では「本人」が高く、特に70歳以上では「本人」(11.7%)や「配偶者」(8.3%)が他の年代に比べて高くなっている。

【居住区別】

全居住区で「いない」が最も高いが、西区では「本人」(7.1%)、南区では「配偶者」(6.1%)も他区と比べてやや高くなっている。

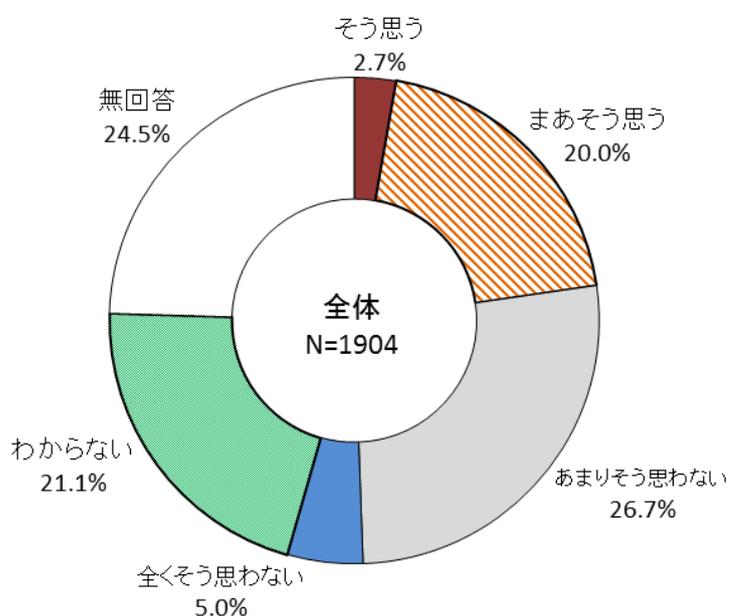
(%)

	対象者数	本人	配偶者	子または子の配偶者	親または配偶者の親	いない	無回答
対象者全体	1904	5.4	3.6	2.7	3.3	61.6	24.6
【性別】							
男性	731	6.7	5.5	2.5	3.6	60.6	22.7
女性	1160	4.5	2.5	2.8	3.1	62.4	25.7
【年代別】							
20～29歳	150	2.0	1.3	1.3	4.0	70.7	22.0
30～39歳	290	3.8	0.7	2.4	2.1	58.3	33.1
40～49歳	340	2.4	0.9	3.2	2.9	58.5	32.4
50～59歳	295	2.4	3.1	1.7	6.1	61.4	26.4
60～64歳	214	7.0	2.8	3.7	4.7	57.0	26.6
65～69歳	218	6.4	6.9	4.1	2.8	70.2	12.4
70歳以上	384	11.7	8.3	2.3	1.6	60.9	16.7
【居住区別】							
中央区	223	4.5	1.8	1.3	5.8	63.2	23.8
北区	254	4.7	5.9	2.4	3.9	62.2	22.0
東区	229	5.7	4.4	4.4	3.5	55.9	28.8
白石区	172	4.7	1.7	1.7	2.9	66.3	22.7
厚別区	148	6.8	3.4	3.4	3.4	60.8	24.3
豊平区	235	6.4	3.4	2.6	2.6	65.5	21.3
清田区	117	3.4	2.6	2.6	1.7	59.8	30.8
南区	165	5.5	6.1	3.0	1.8	58.2	25.5
西区	211	7.1	2.8	3.3	1.9	61.6	24.6
手稲区	130	5.4	3.1	2.3	4.6	59.2	26.9

対象者全体スコアと比較して10%以上低い

【問 14】(2) 札幌市は、障がいのある方にとって地域で暮らしやすいまちであると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

札幌市は、障がいのある方にとって地域で暮らしやすいまちであると思うかについては、「あまりそう思わない」(26.7%)と「全くそう思わない」(5.0%)を合わせた“そう思わない”(31.7%)が全体の約3割を占めている。



【対象者全体】

札幌市は、障がいのある方にとって地域で暮らしやすいまちであると思うかについては、「あまりそう思わない」(26.7%)が最も高く、次いで「わからない」(21.1%)、「まあそう思う」(20.0%)、「全くそう思わない」(5.0%)、「そう思う」(2.7%)となっている。

【性別】

男女共に、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が最も高く、男女による違いはほとんど見られない。

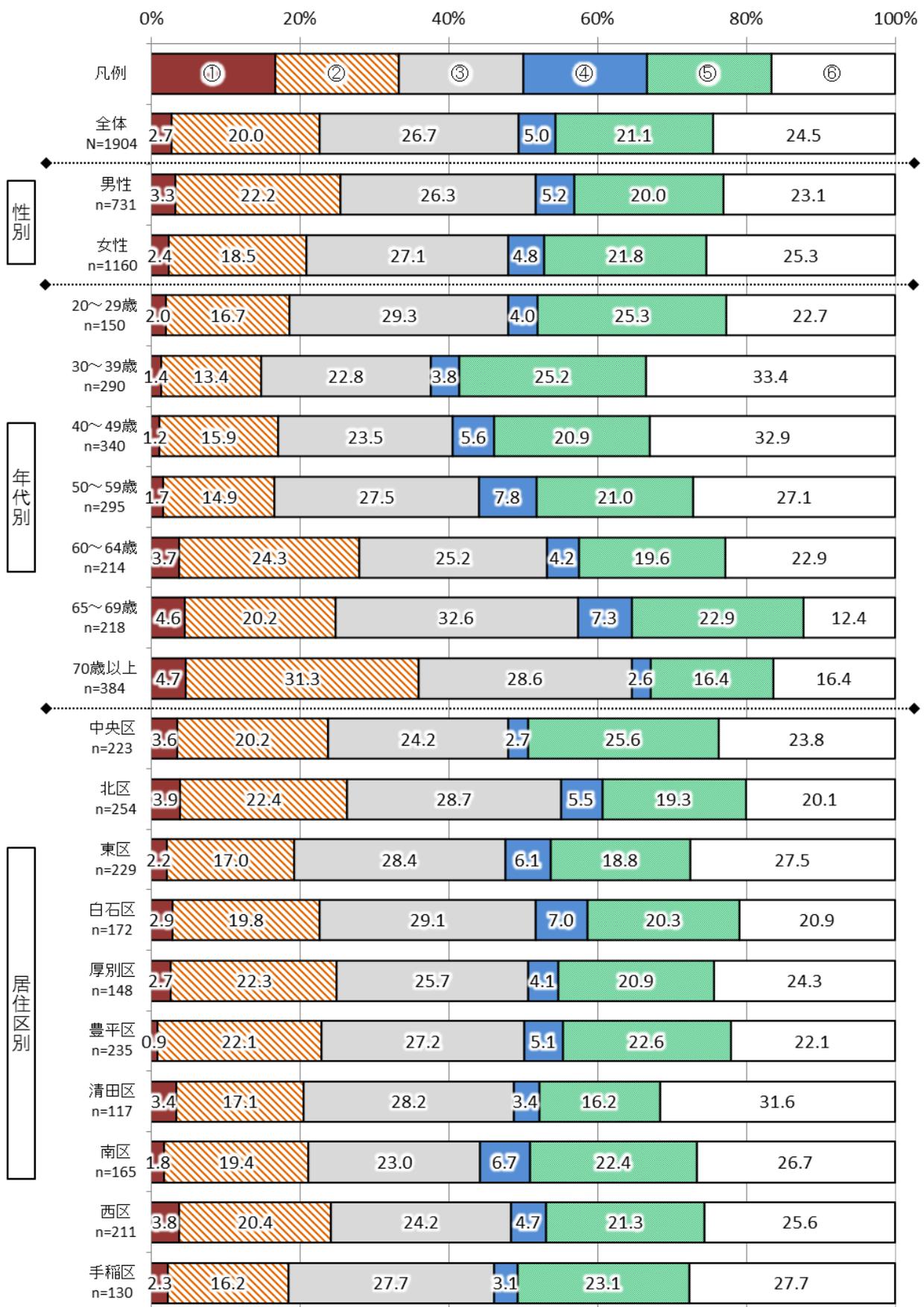
【年代別】

「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”は、最も高い 60 歳代(39.9%)に対して最も低い 30 歳代(26.6%)とでは 10 ポイント以上の差がある。また、70 歳以上では、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”(36.0%)の方が高く、年代による違いが見られる。

【居住区別】

全居住区で“そう思わない”が最も高いが、「白石区」(36.1%)、「東区」(34.5%)、「北区」(34.2%)では3割を超え、「中央区」(26.9%)と比べると約 8~10 ポイント高くなっている。

- ①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない
 ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答

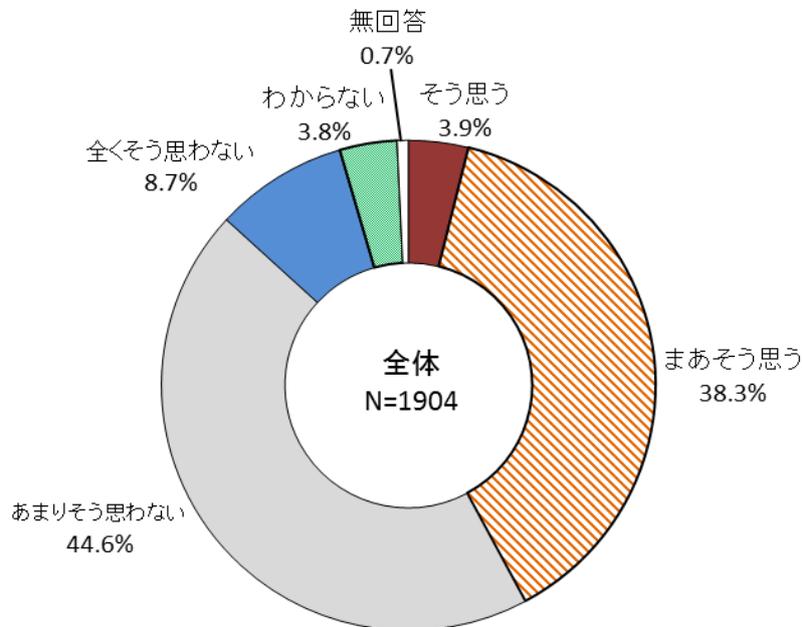


(5) 安心のある暮らしの確保に向けた環境の充実

・ 犯罪について

【問 15】 札幌市は、「犯罪のない安全に安心して暮らせるまち」だと思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

「犯罪のない安全に安心して暮らせるまち」だと思うかについては、「あまりそう思わない」(44.6%)と「全くそう思わない」(8.7%)を合わせた“そう思わない”(53.3%)が全体の約5割を占めている。



【対象者全体】

「犯罪のない安全に安心して暮らせるまち」だと思うかについては、「あまりそう思わない」が 44.6%と最も高く、次いで「まあそう思う」(38.3%)、「全くそう思わない」(8.7%)、「そう思う」(3.9%)、「わからない」(3.8%)となっている。

【性別】

男女共に「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が高いが、女性(56.4%)は男性(48.2%)に比べて高くなっている。

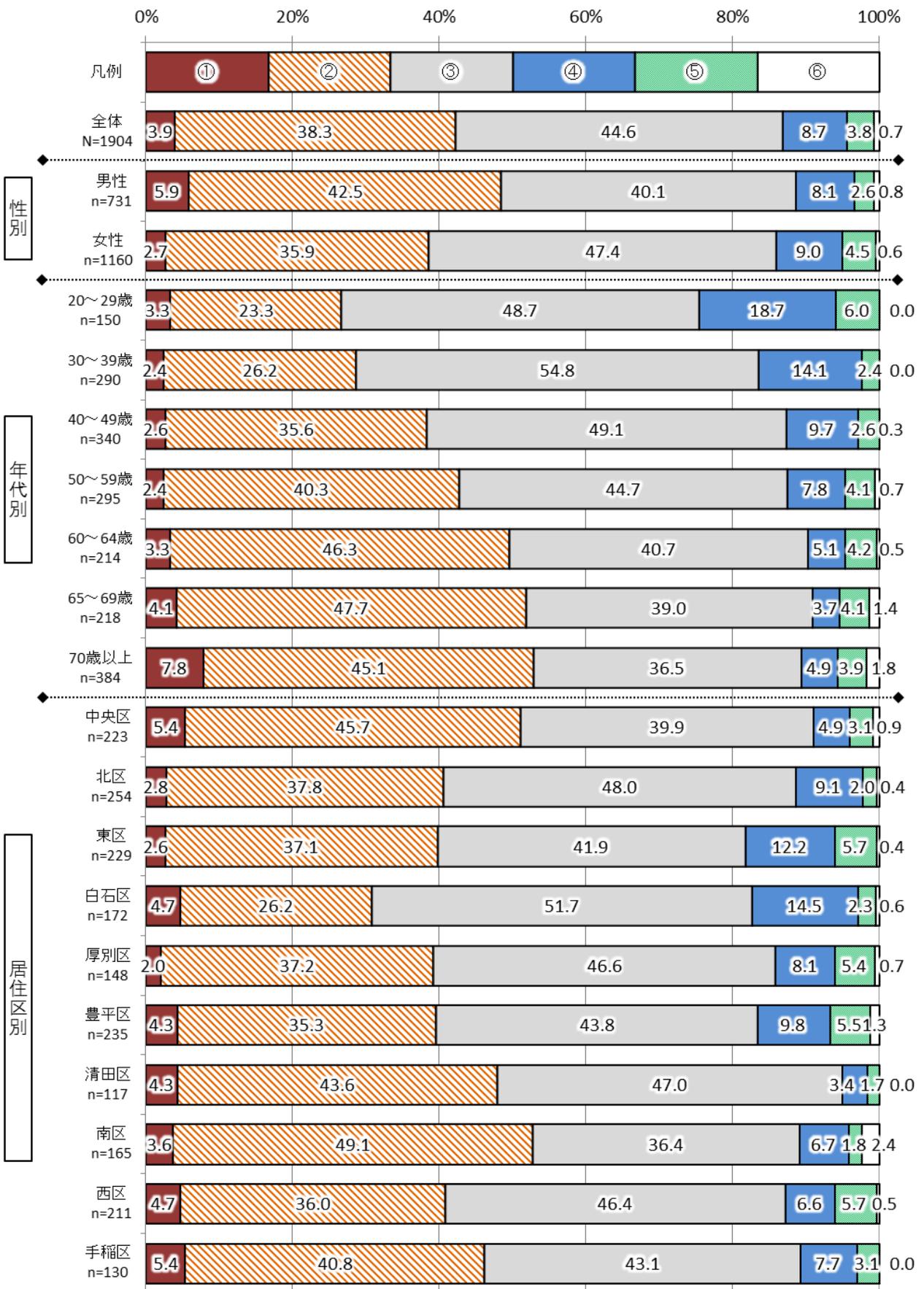
【年代別】

50 歳代以下では、ほぼ年代が下がるにつれて、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が高く、20 歳代、30 歳代では7割近くを占める。60 歳代以上では、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が高く各年代で約5割を占め、年代による違いが見られる。

【居住区別】

中央区、南区を除く全ての区で、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が高く、白石区(66.2%)では7割近くとなっている。一方、中央区(51.1%)、南区(52.7%)では「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が約5割を占めている。

- ① そう思う ② まあそう思う ③ あまりそう思わない
 ④ 全くそう思わない ⑤ わからない ⑥ 無回答

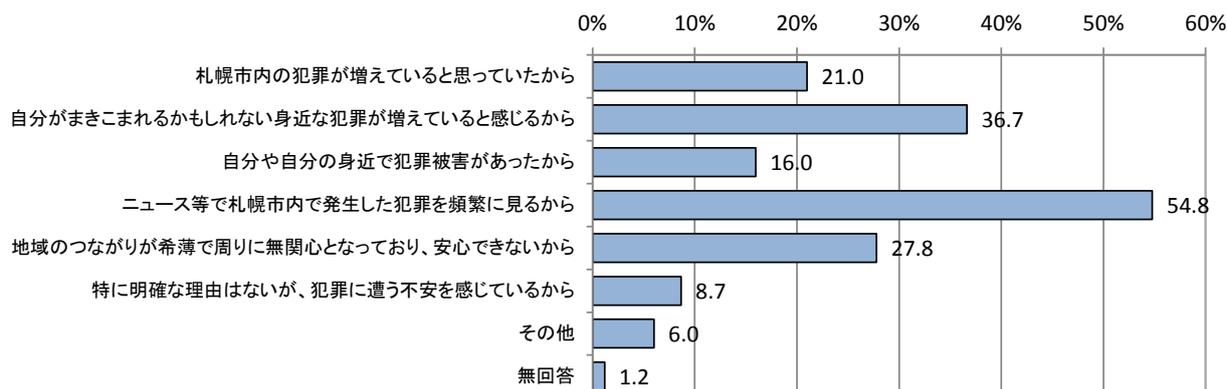


《問 15 で「3. あまりそう思わない」、「4. 全くそう思わない」と答えた方のみ》

【問 16】 札幌市内の刑法犯認知件数*は平成 13 年の 41,290 件から毎年減少し、平成 24 年は 21,283 件と平成 13 年の約半数になっていますが、札幌市が「犯罪のない安全に安心して暮らせるまち」ではないと思った理由は何ですか。あてはまるものに○を付けてください。(二つまで選択可)

※ 刑法犯認知件数： 警察において、被害の届出・告訴・告発を受理するなど、刑法犯の発生を確認した件数

「安全に安心して暮らせるまちではない」と思った理由については、「ニュース等で札幌市内で発生した犯罪を頻繁に見るから」(54.8%)が約5割を占めている。



【対象者全体】

「安全に安心して暮らせるまちではない」と思った理由については、「ニュース等で札幌市内で発生した犯罪を頻繁に見るから」(54.8%)が最も高く、次いで「自分がまきこまれるかもしれない身近な犯罪が増えていると感じるから」(36.7%)、「地域のつながりが希薄で周りに無関心となっており、安心できないから」(27.8%)となっている。

【性別】

上位3項目は変わらないが、女性では「自分がまきこまれるかもしれない身近な犯罪が増えていると感じるから」(40.2%)が高く、男性では「地域のつながりが希薄で周りに無関心となっており、安心できないから」(33.0%)が高く、男女による違いが見られる。

【年代別】

全ての年代で「ニュース等で札幌市内で発生した犯罪を頻繁に見るから」が最も高いが、20 歳代(42.6%) 30 歳代(50.0%)では「自分がまきこまれるかもしれない身近な犯罪が増えていると感じるから」が、50 歳代(25.2%)では、「自分や自分の身近で犯罪被害があったから」が高く、年代による違いが見られる。

【居住区別】

全ての区で「ニュース等で札幌市内で発生した犯罪を頻繁に見るから」が最も高く、中央区(61.0%)、清田区(62.7%)は、スコアの低い南区(46.5%)、西区(50.0%)、北区(51.0%)と比べて10ポイント以上高くなっている。

(%)

	対象者数	札幌市内の犯罪が増えている と思つていたから	自分がまきこまれるかもしれない 近な犯罪が増えていると感じるから	自分や自分の身近で犯罪被害 があつたから	ニュース等で札幌市内で発生 した犯罪を頻繁に見るから	地域のつながりが希薄で周りに無関 心となつており、安心できないから	特に明確な理由はないが、犯罪 に遭う不安を感じているから	その他	無回答
対象者全体	1015	21.0	36.7	16.0	54.8	27.8	8.7	6.0	1.2
【性別】									
男性	352	17.3	29.5	15.6	52.6	33.0	9.7	9.7	0.6
女性	654	22.3	40.2	16.4	56.1	25.2	8.3	4.1	1.5
【年代別】									
20～29歳	101	16.8	42.6	17.8	61.4	16.8	4.0	11.9	0.0
30～39歳	200	15.0	50.0	20.0	63.5	20.0	4.5	5.5	0.0
40～49歳	200	22.5	41.0	14.5	53.0	28.0	5.0	8.5	0.5
50～59歳	155	22.6	32.3	25.2	52.3	33.5	7.1	5.8	0.0
60～64歳	98	27.6	24.5	18.4	58.2	25.5	12.2	6.1	1.0
65～69歳	93	24.7	32.3	9.7	48.4	35.5	10.8	2.2	4.3
70歳以上	159	19.5	24.5	5.7	46.5	36.5	19.5	2.5	3.8
【居住区別】									
中央区	100	22.0	41.0	12.0	61.0	27.0	8.0	8.0	0.0
北区	145	17.9	37.9	15.2	51.0	22.8	12.4	6.9	0.7
東区	124	26.6	33.9	11.3	57.3	25.0	8.1	4.0	1.6
白石区	114	14.0	35.1	24.6	54.4	28.1	5.3	8.8	1.8
厚別区	81	17.3	40.7	16.0	53.1	23.5	4.9	4.9	2.5
豊平区	126	15.9	38.1	20.6	56.3	31.7	7.1	3.2	1.6
清田区	59	18.6	33.9	15.3	62.7	33.9	10.2	3.4	1.7
南区	71	29.6	38.0	21.1	46.5	32.4	9.9	4.2	1.4
西区	112	23.2	37.5	11.6	50.0	35.7	10.7	6.3	0.0
手稲区	66	21.2	27.3	13.6	57.6	22.7	9.1	12.1	1.5

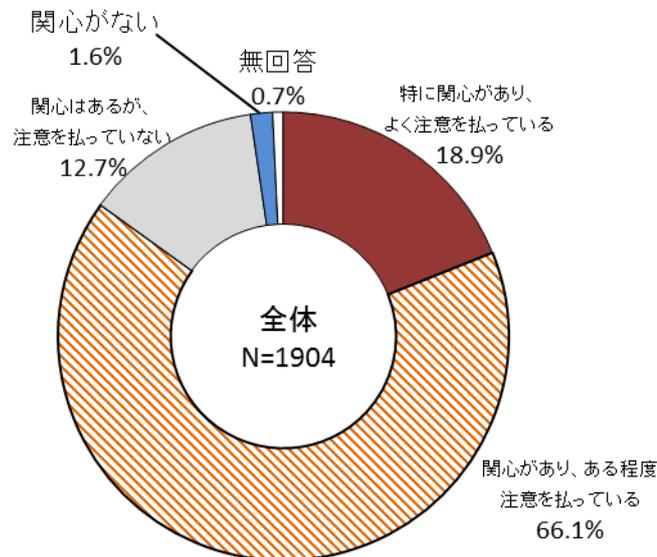
対象者全体スコアと比較して10%以上高い

対象者全体スコアと比較して10%以上低い

・ 食品の安全性について

【問 17】 あなたは、毎日食べている食品の安全性に関心を持ち、注意を払っていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

食品の安全性に関心を持ち、注意を払っているかについては、「特に関心があり、よく注意を払っている」(18.9%)と「関心があり、ある程度注意を払っている」(66.1%)を合わせた“関心があり、注意を払っている” (85.0%)が全体の8割強を占めている。



【対象者全体】

食品の安全性に関心を持ち、注意を払っているかについては、「関心があり、ある程度注意を払っている」(66.1%)が最も高く、次いで「特に関心があり、よく注意を払っている」(18.9%)、「関心はあるが、注意を払っていない」(12.7%)、「関心がない」(1.6%)となっている。

【性別】

“関心があり、注意を払っている”は、女性(87.1%)が男性(81.7%)より高くなっている。

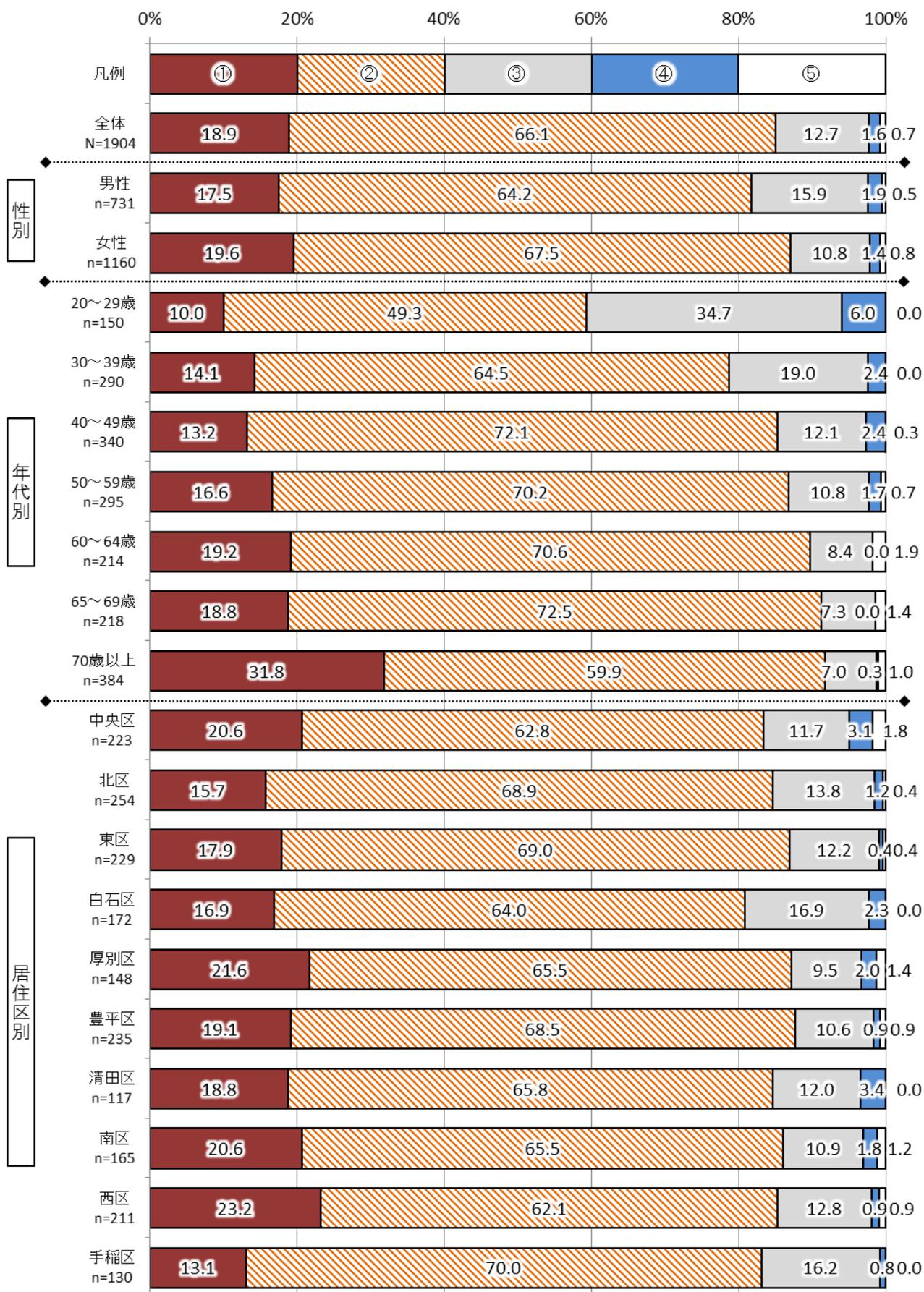
【年代別】

“関心があり、注意を払っている”は、20歳代を除く全ての年代で約8割以上と高く、60歳代以上ではほぼ9割となっている。20歳代(59.3%)では約6割に留まり年代による違いが見られる。

【居住区別】

居住区による違いはあまり見られない。

- ①特に関心があり、よく注意を払っている ②関心があり、ある程度注意を払っている
 ③関心はあるが、注意を払っていない ④関心がない ⑤無回答

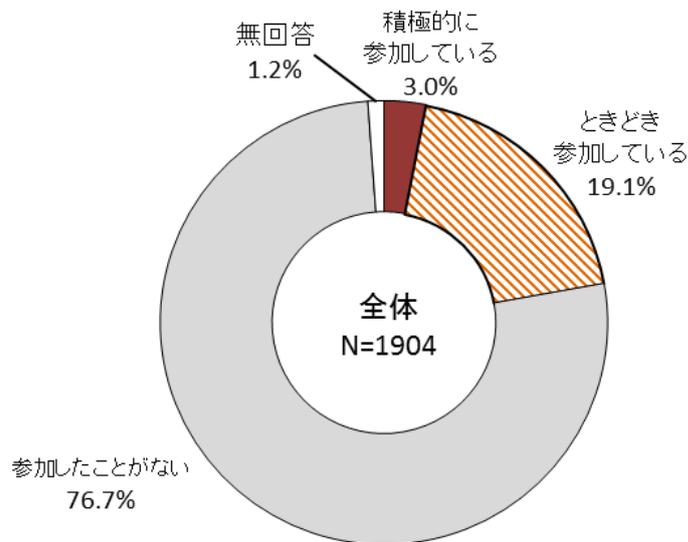


・ 防犯活動について

【問 18】 あなたは、地域などの自主的な防犯活動*に参加していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ 「自主的な防犯活動」とは、この場合、パトロール、登下校時の子どもの見守り、子ども 110 番の家への加入、環境美化活動などのことを指しています。

地域などの自主的な防犯活動について、「積極的に参加している」(3.0%)と「ときどき参加している」(19.1%)を合わせた“参加している”(22.1%)は、全体の約2割となっている。



【対象者全体】

地域などの自主的な防犯活動について、「参加したことがない」(76.7%)が最も高く、次いで「ときどき参加している」(19.1%)、「積極的に参加している」(3.0%)となっている。

【性別】

「積極的に参加している」と「ときどき参加している」を合わせた“参加している”は、男女による違いはあまり見られない。

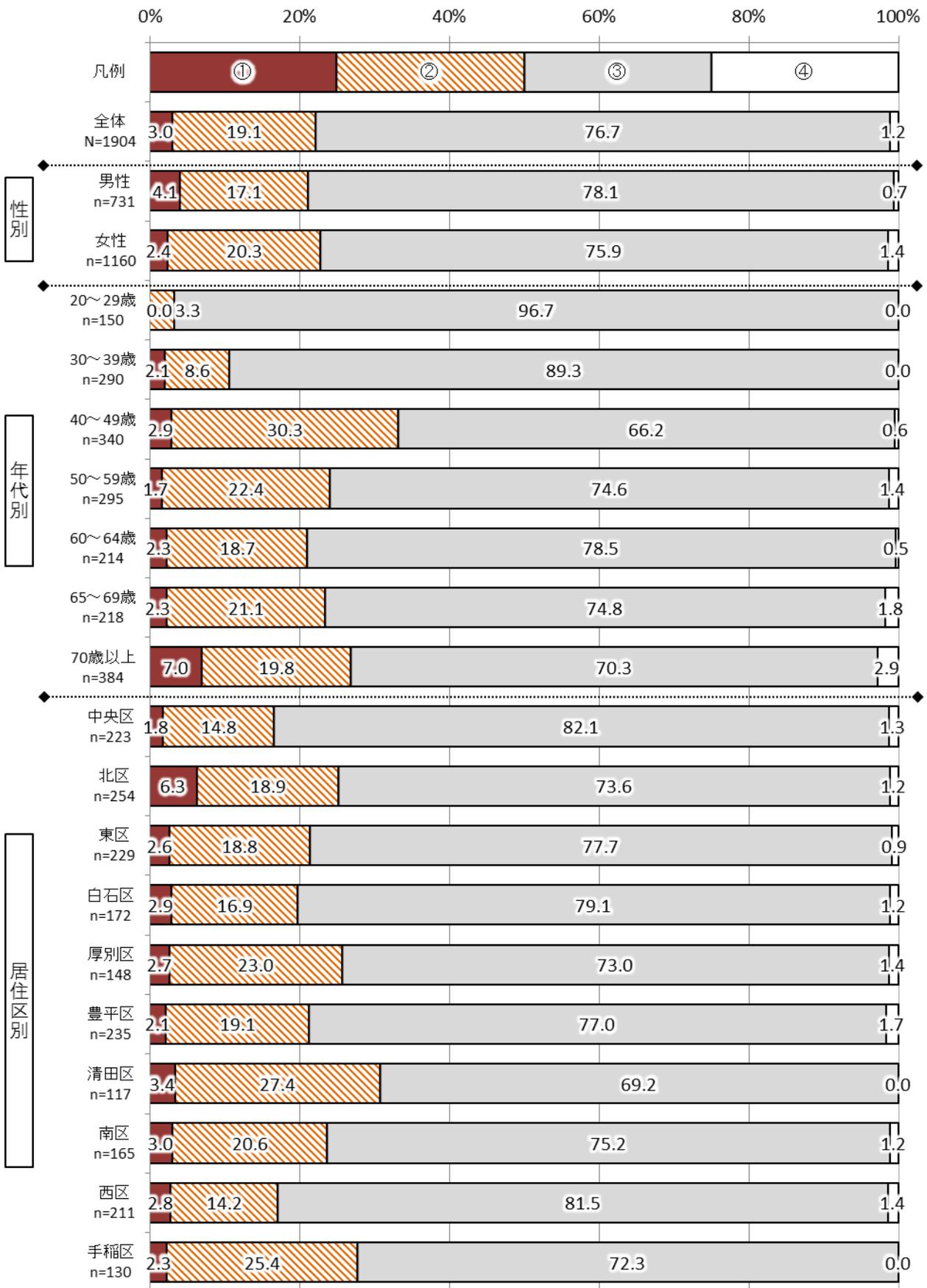
【年代別】

“参加している”は、40 歳代(33.2%)、70 歳以上(26.8%)で高く、20 歳代(3.3%)、30 歳代(10.7%)との差は 20 ポイント以上あり、年代による違いが見られる。

【居住区別】

“参加している”は、清田区(30.8%)、手稲区(27.7%)で高く、スコアの低い中央区(16.6%)、西区(17.0%)と比べて 10 ポイント以上高くなっている。

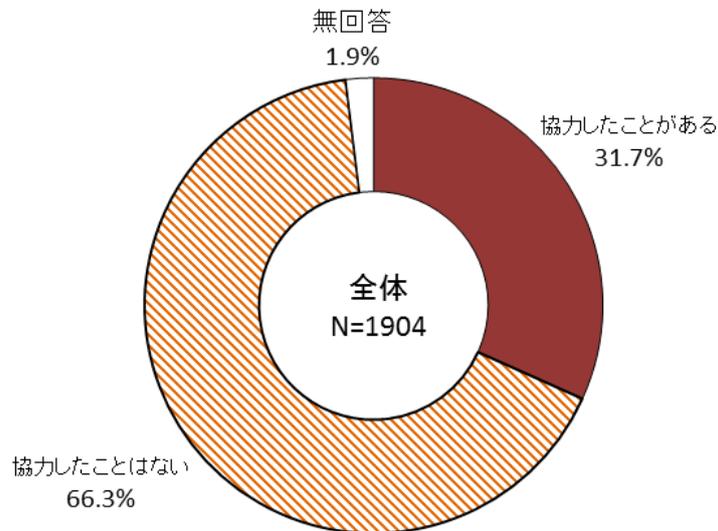
①積極的に参加している ②ときどき参加している ③参加したことがない ④無回答



・ 雪の処理に関する取り組みについて

【問 19】 あなたは、地域の雪は地域で処理する取り組みに関して、地域の雪置き場として公園などの利用や、その後の雪割りや清掃などで町内会等に協力したことがありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

地域の雪は地域で処理する取り組みについて、「協力したことがある」(31.7%)は全体の約3割となっている。



【対象者全体】

地域の雪は地域で処理する取り組みについて、「協力したことがある」は 31.7%、「協力したことはない」が 66.3%となっている。

【性別】

「協力したことがある」は、男性(34.7%)が女性(29.8%)より高くなっている。

【年代別】

「協力したことがある」は、50 歳代以上で高く 65 歳以上では 4 割を超えている。20 歳代(6.0%)、30 歳代(16.2%)では低く、年代による違いが見られる。

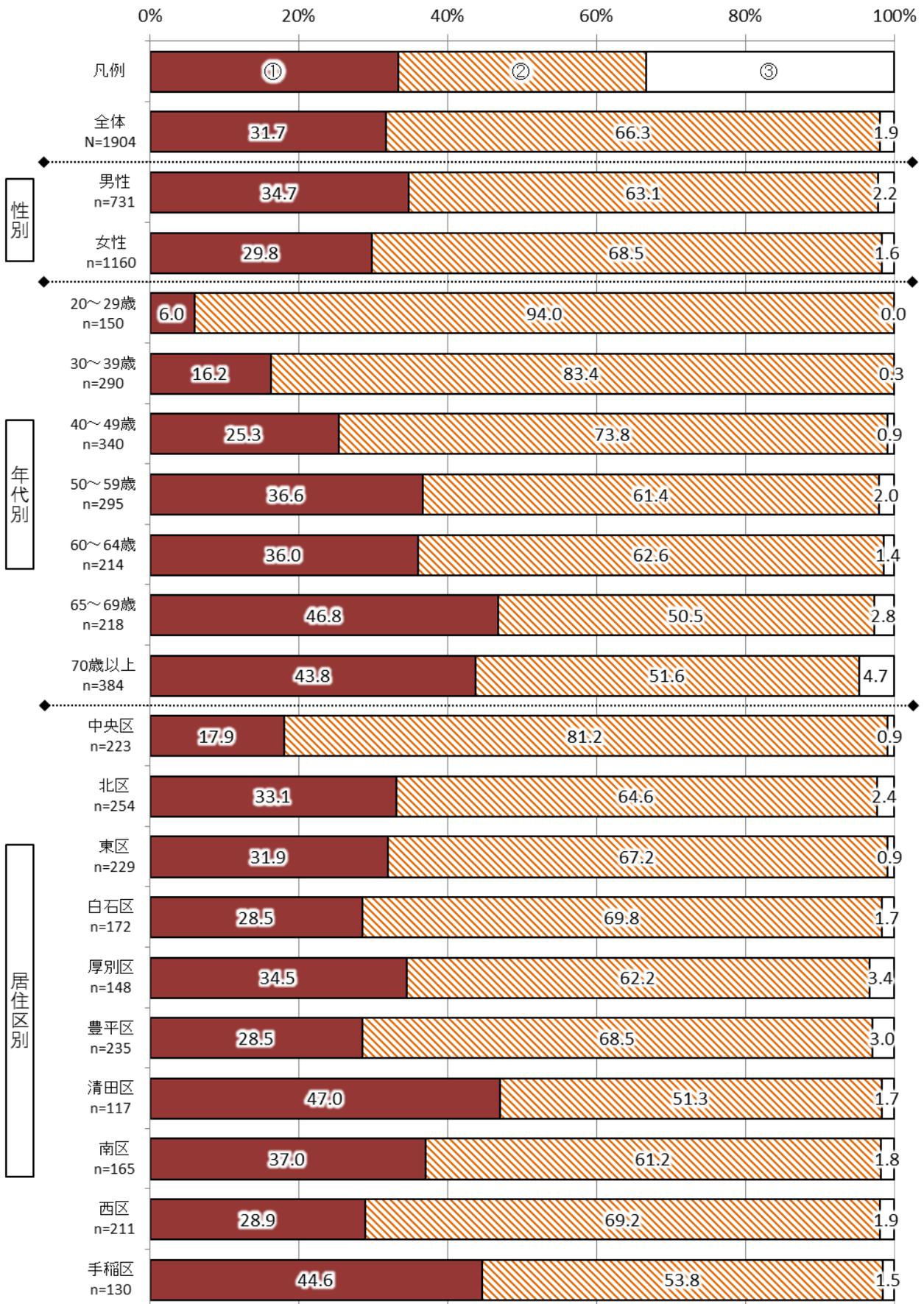
【居住区別】

「協力したことがある」は、清田区(47.0%)、手稲区(44.6%)は、スコアの低い中央区(17.9%)と比べて 30 ポイント近く高くなっている。

①協力したことがある

②協力したことはない

③無回答

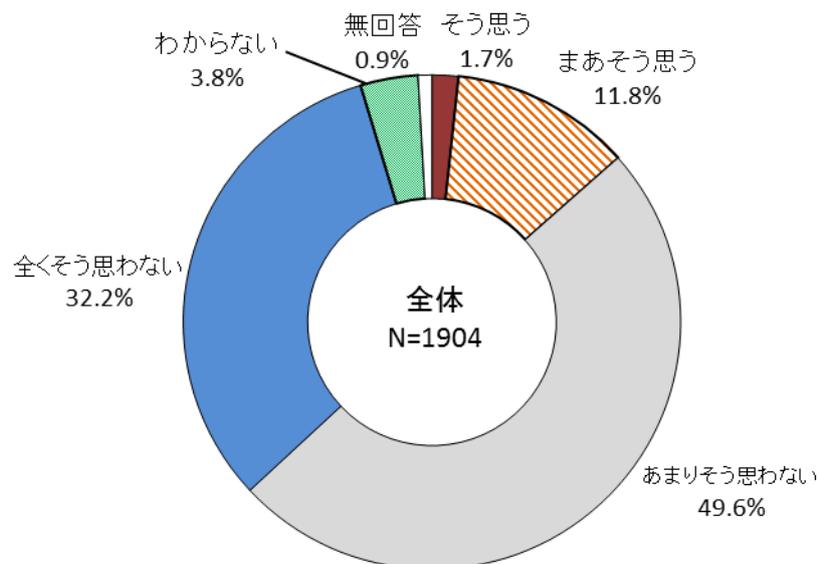


・ 自転車のルールやマナーについて

【問 20】 札幌市は、「自転車のルールやマナー※が守られている安全なまち」だと思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ 「ルールやマナー」とは、「自転車は車道が原則」「歩道を走行する場合は、歩行者を優先し車道寄りに徐行」「二人乗り禁止」「夜間はライト点灯」「混んでいる歩道では自転車を押して歩く」などのことを指しています。

「自転車のルールやマナーが守られている安全なまち」と思うかについては、「あまりそう思わない」(49.6%)と「全くそう思わない」(32.2%)を合わせた“そう思わない”(81.8%)が全体の約8割を占めている。



【対象者全体】

「自転車のルールやマナーが守られている安全なまち」と思うかについては、「あまりそう思わない」(49.6%)が最も高く、次いで「全くそう思わない」(32.2%)、「まあそう思う」(11.8%)、「わからない」(3.8%)、「そう思う」(1.7%)となっている。

【性別】

“そう思わない”は、男女による違いがあまり見られない。

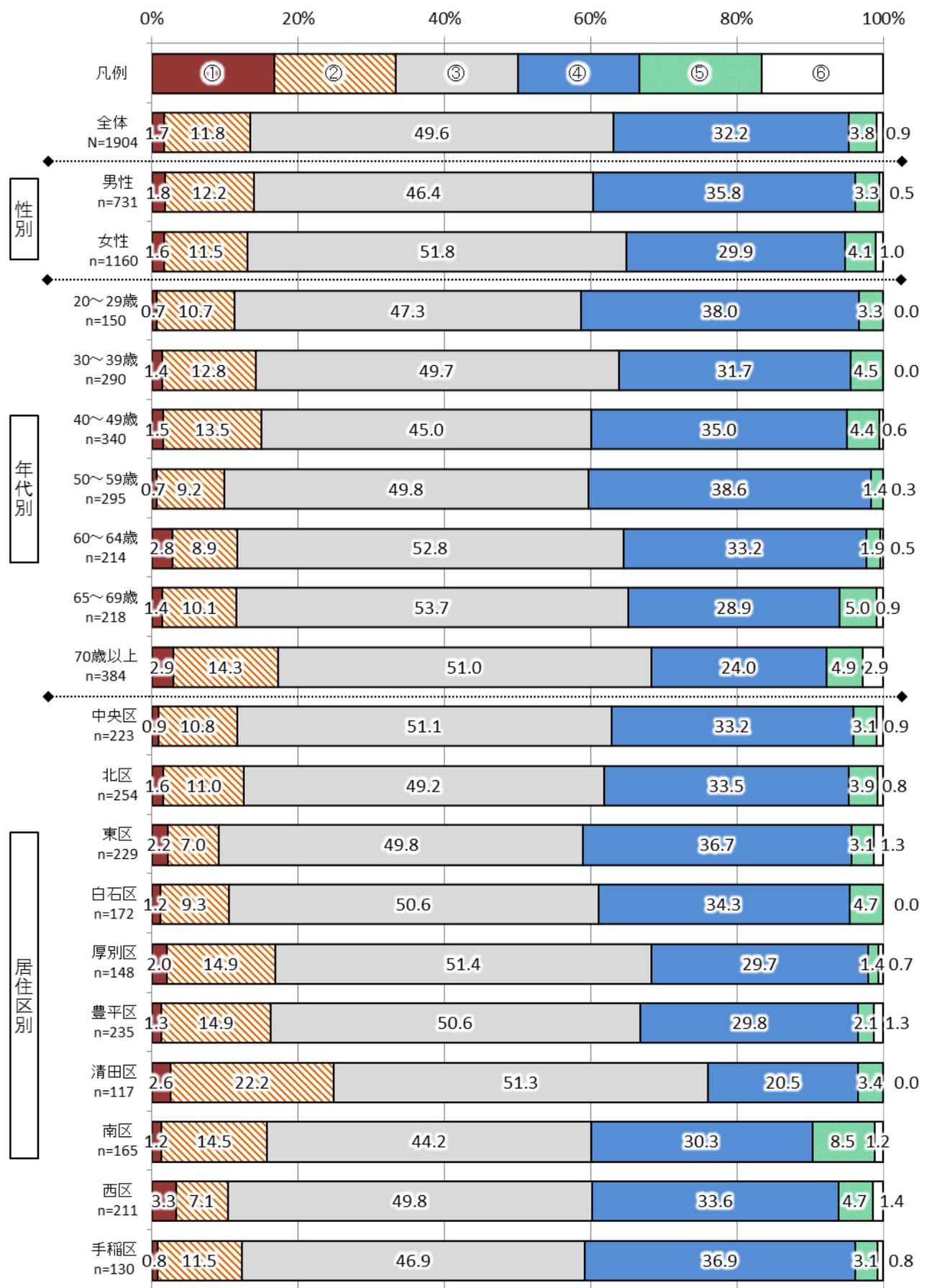
【年代別】

“そう思わない”は、50歳代(88.4%)、60～64歳(86.0%)、20歳代(85.3%)で高くなっている。

【居住区別】

“そう思わない”は、東区(86.5%)で9割近くを占め、スコアの低い清田区(71.8%)、南区(74.5%)と比べて10ポイント以上高くなっている。

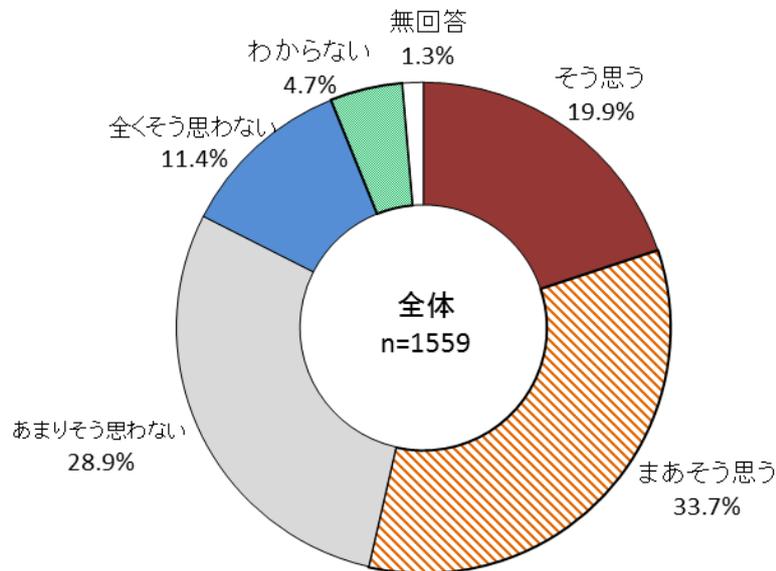
- ①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない
 ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



《問 20 で「3. あまりそう思わない」「4. 全くそう思わない」と答えた方のみ》

【問 21】 あなたは、自転車のルールやマナーについての意識がこの 1 年で高まりましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

自転車のルールやマナーについての意識の高まりについては、「そう思う」(19.9%)と「まあそう思う」(33.7%)を合わせた“そう思う”(53.6%)が全体の約5割を占めている。



【対象者全体】

自転車のルールやマナーについての意識の高まりについては、「まあそう思う」(33.7%)が最も高く、次いで「あまりそう思わない」(28.9%)、「そう思う」(19.9%)、「全くそう思わない」(11.4%)となっている。

【性別】

“そう思う”は、女性(55.6%)が男性(50.1%)より高くなっている。

【年代別】

“そう思う”は、20歳代(58.6%)で高く、スコアの低い40歳代(48.6%)と比べて約10ポイント高くなっている。

【居住区別】

“そう思う”は、中央区(60.1%)、西区(58.5%)で高く、スコアの低い清田区(47.6%)、南区(48.0%)、豊平区(49.2%)と比べて約10ポイント高くなっている。

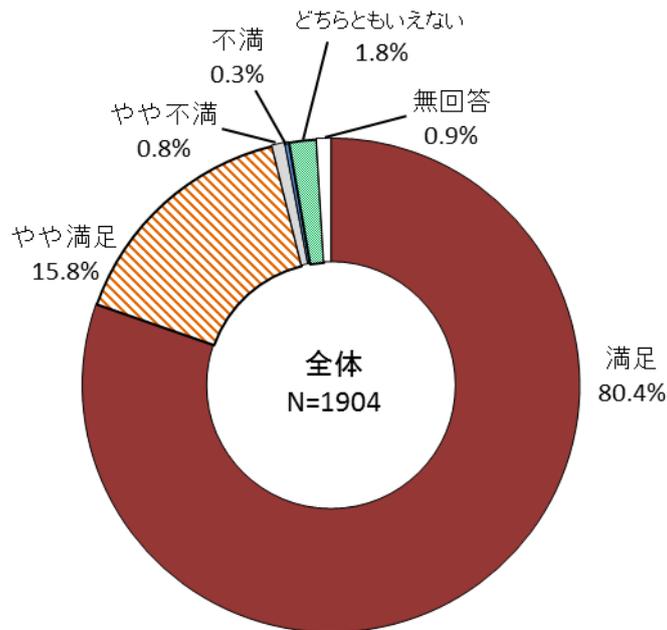
(6) 水道事業について

・ 水道事業に関する満足度

【問 22】 あなたは、札幌の水道に関する次の事柄についてどのくらい満足していますか。(1)から(3)までの各項目についてそれぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。

- (1) 止まることなく水道水を安定してお届けすること(事前にお知らせする水道管の工事などの場合を除く。)

止まることなく水道水を安定してお届けすることについては、「満足」(80.4%)と「やや満足」(15.8%)を合わせた“満足”(96.2%)が全体の9割以上を占めている。



【対象者全体】

止まることなく水道水を安定してお届けすることについては、「満足」(80.4%)が最も高く、次いで「やや満足」(15.8%)、「どちらともいえない」(1.8%)、「やや不満」(0.8%)、「不満」(0.3%)となっている。

【性別】

男女共に「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が最も高く、男女による違いは見られない。

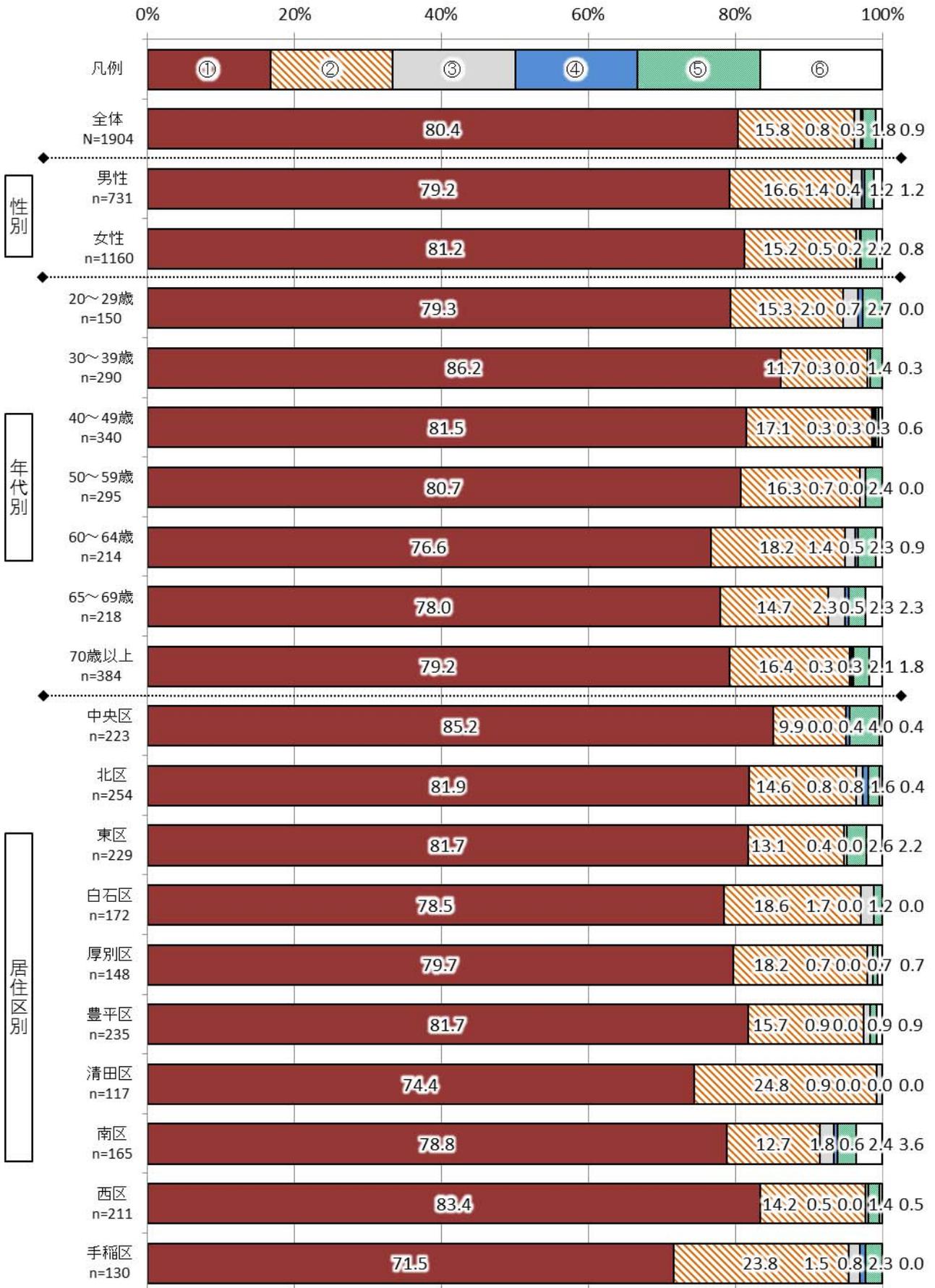
【年代別】

各年代共に「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が最も高くなっている。

【居住区別】

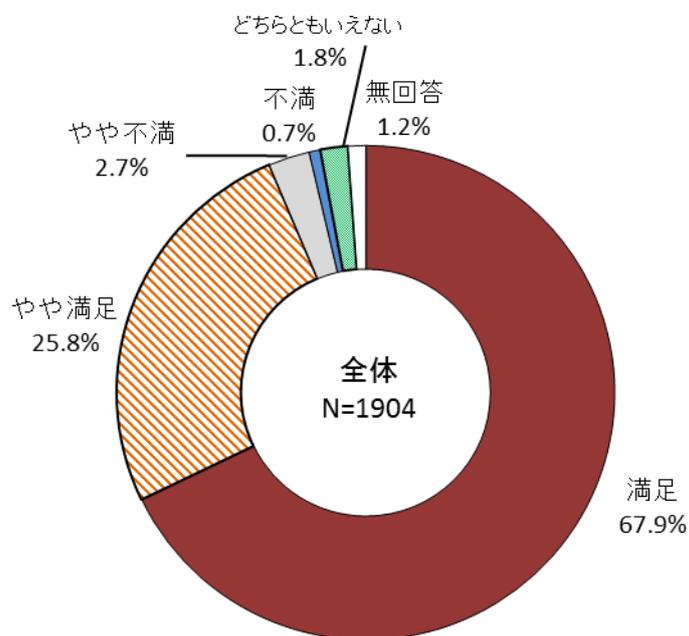
全ての居住区で、「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が最も高くなっている。

①満足 ②やや満足 ③やや不満 ④不満 ⑤どちらともいえない ⑥無回答



【問 22】 (2) 安全で良質な水道水をお届けすること

安全で良質な水道水をお届けすることについては、「満足」(67.9%)と「やや満足」(25.8%)を合わせた“満足”(93.7%)が全体の9割以上を占めている。



【対象者全体】

安全で良質な水道水をお届けすることについては、「満足」(67.9%)が最も高く、次いで「やや満足」(25.8%)、「やや不満」(2.7%)、「どちらともいえない」(1.8%)、「不満」(0.7%)となっている。

【性別】

男女共に「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が最も高く、男女による違いはほとんど見られない。

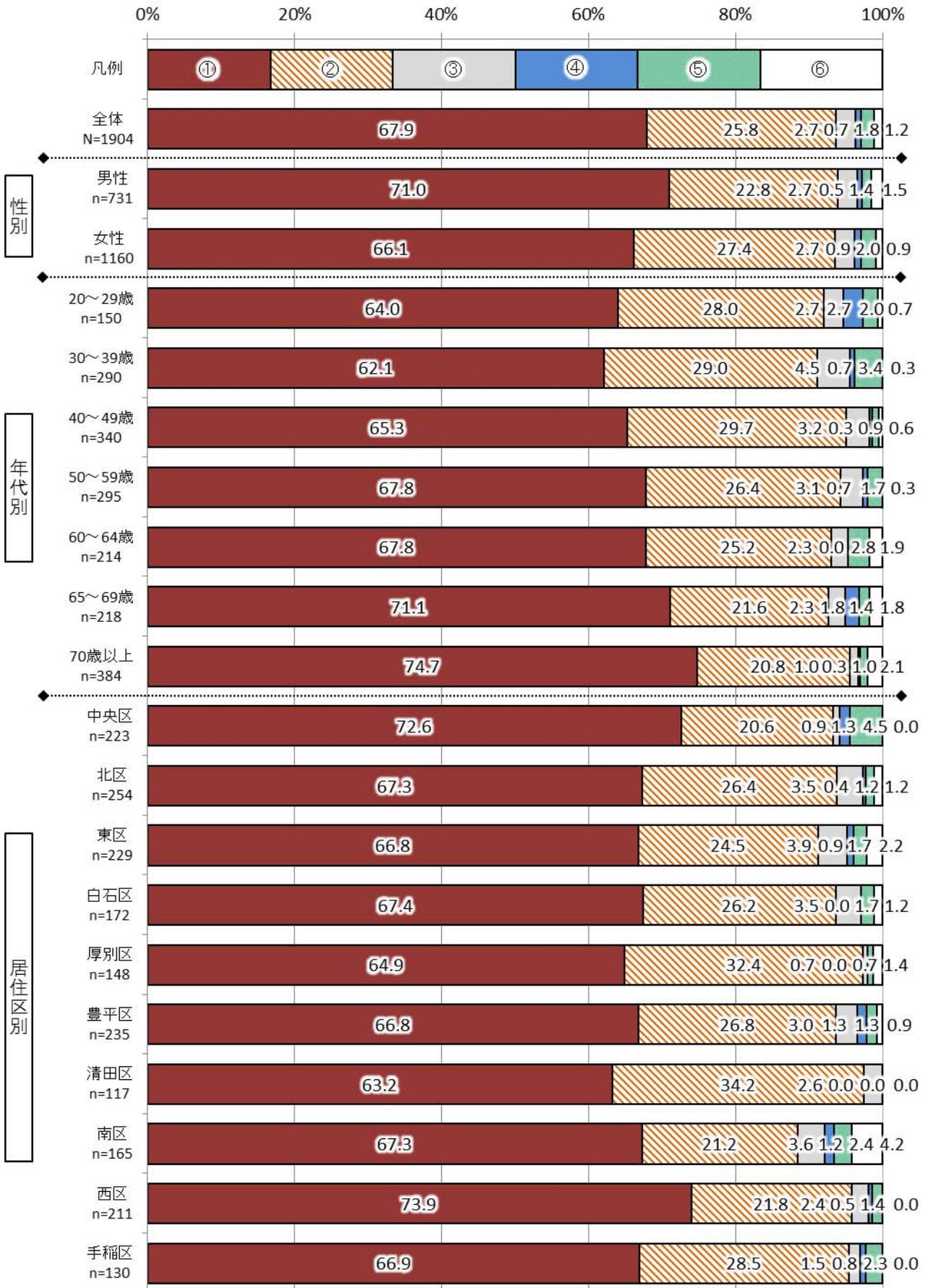
【年代別】

各年代共に「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が最も高いが、年代が上がるに従ってほぼ高くなっている。

【居住区別】

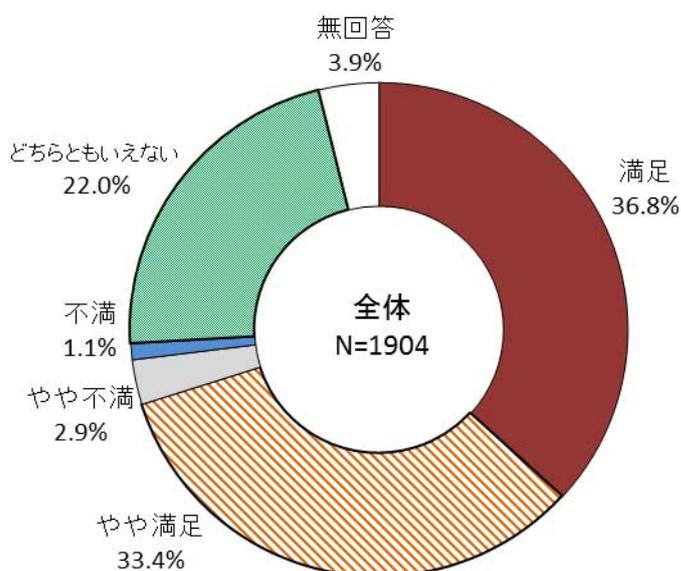
全ての居住区で、「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が最も高くなっている。

①満足 ②やや満足 ③やや不満 ④不満 ⑤どちらともいえない ⑥無回答



【問 22】 (3) お客さまサービス(問い合わせ対応・広報)

お客さまサービス(問い合わせ対応・広報)については、「満足」(36.8%)と「やや満足」(33.4%)を合わせた“満足”(70.2%)が全体の約7割を占めている。



【対象者全体】

お客さまサービス(問い合わせ対応・広報)については、「満足」(36.8%)が最も高く、次いで「やや満足」(33.4%)、「どちらともいえない」(22.0%)、「やや不満」(2.9%)、「不満」(1.1%)となっている。

【性別】

男女共に「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が最も高く、男女による違いはあまり見られない。

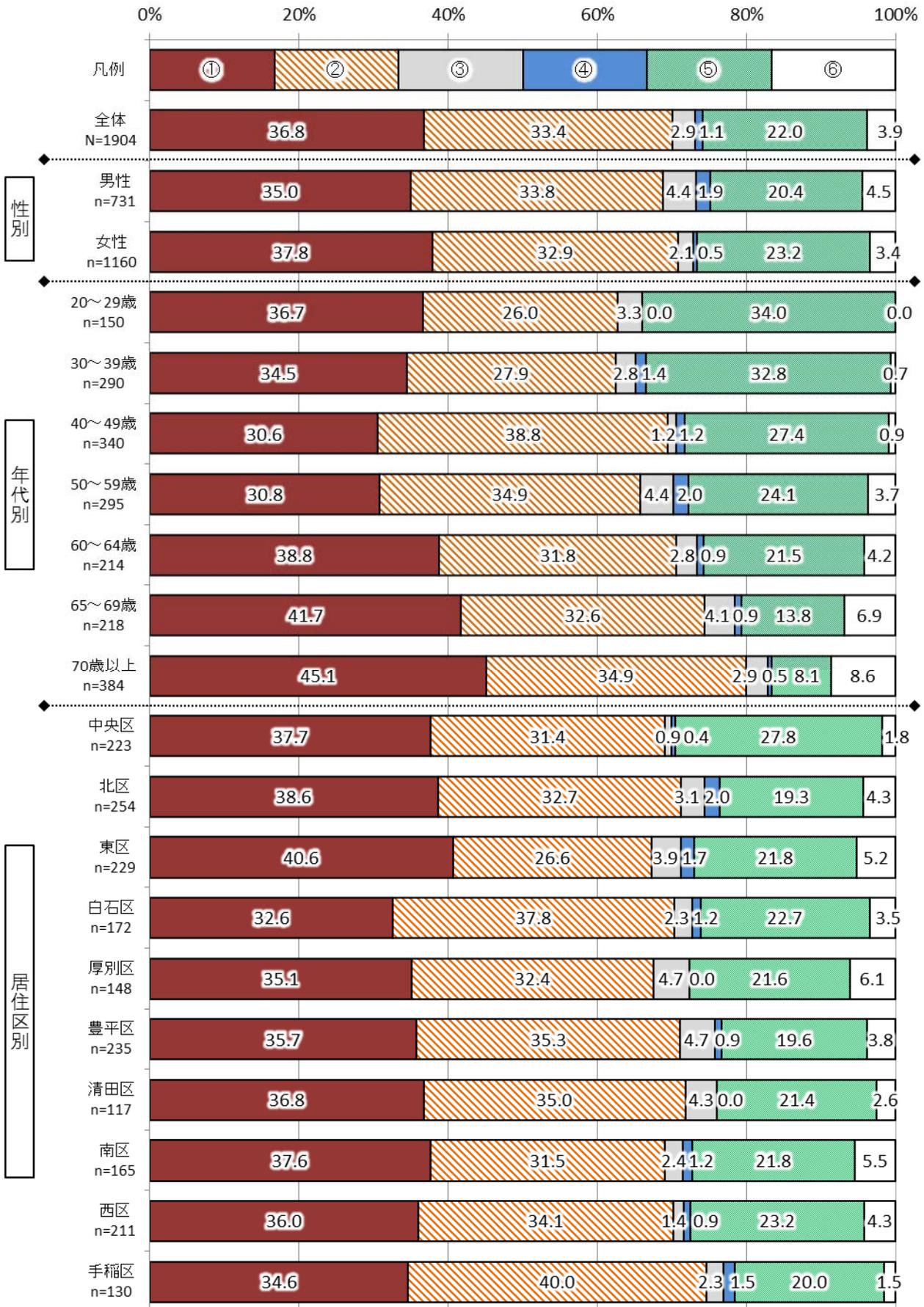
【年代別】

各年代共に「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が最も高いが、20歳代、30歳代、50歳代で約6割に対して、40歳代(69.4%)と60歳代以上では7割を超えている。

【居住区別】

全ての居住区で、「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が最も高くなっている。

①満足 ②やや満足 ③やや不満 ④不満 ⑤どちらともいえない ⑥無回答



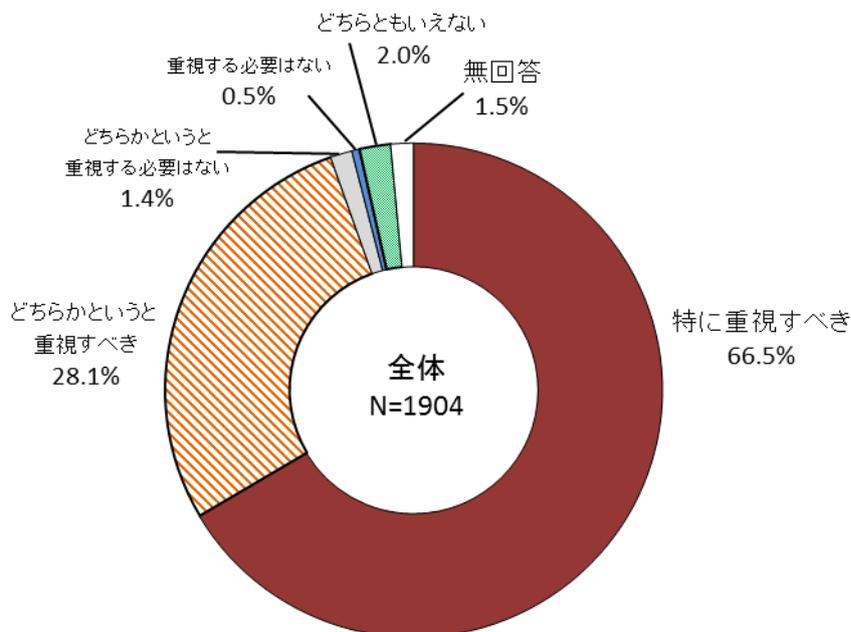
- ・ 水道事業で重視すべきこと

【問 23】 あなたは、札幌の水道に関する次の事柄について今後どのくらい重視すべきとお考えですか。

(1)から(3)までの各項目についてそれぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。

- (1) 止まることなく水道水を安定してお届けすること(事前にお知らせする水道管の工事などの場合を除く。)

止まることなく水道水を安定してお届けすることについては、「特に重視すべき」(66.5%)と「どちらかといえば重視すべき」(28.1%)を合わせた“重視すべき”(94.6%)が全体の9割以上を占めている。



【対象者全体】

止まることなく水道水を安定してお届けすることについては、「特に重視すべき」(66.5%)が最も高く、次いで「どちらかといえば重視すべき」(28.1%)、「どちらともいえない」(2.0%)、「どちらかという重視する必要はない」(1.4%)、「重視する必要はない」(0.5%)となっている。

【性別】

男女共に「特に重視すべき」と「どちらかといえば重視すべき」を合わせた“重視すべき”が最も高く、男女による違いは見られない。

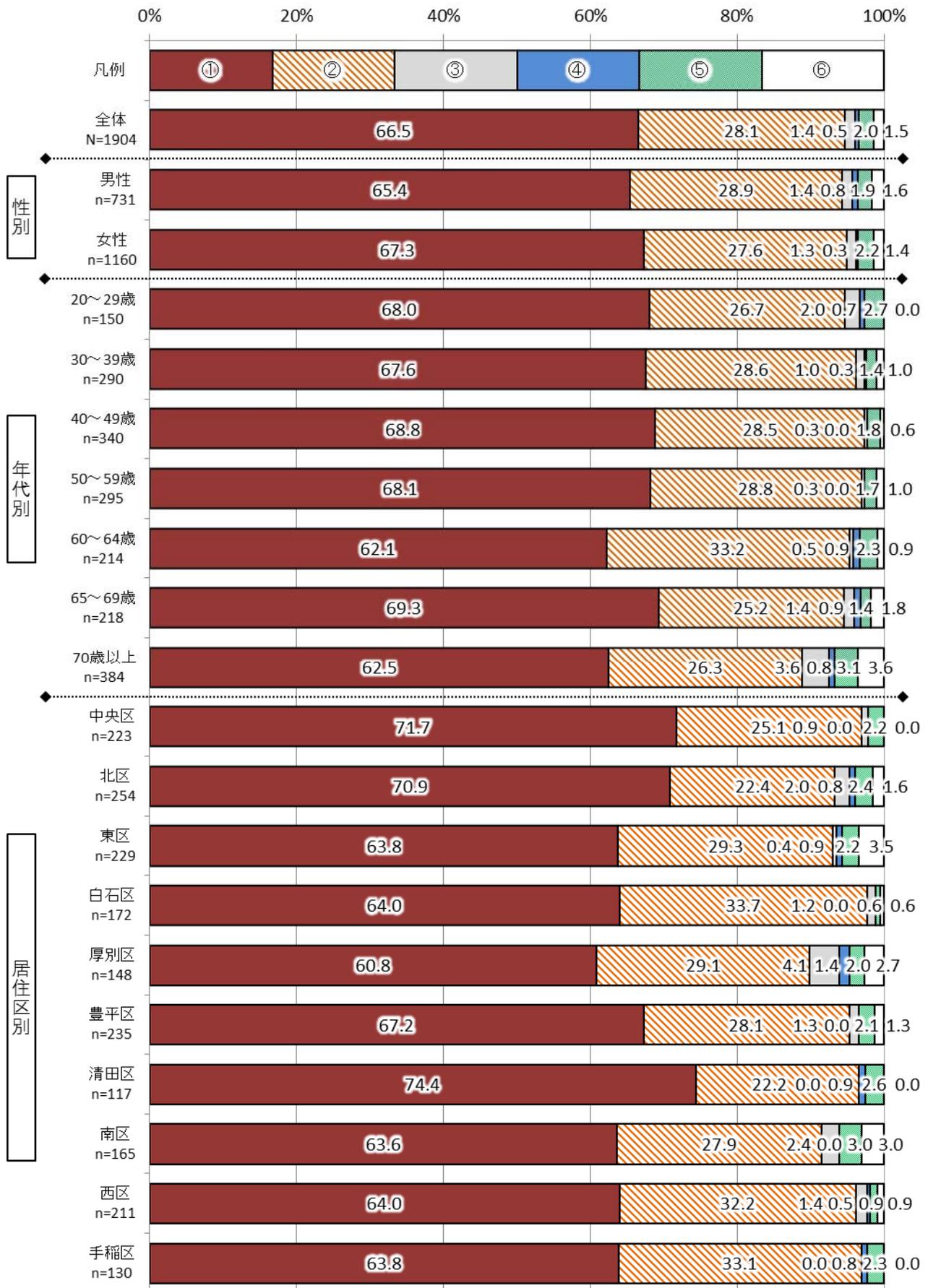
【年代別】

各年代共に「特に重視すべき」と「どちらかといえば重視すべき」を合わせた“重視すべき”が最も高いが、70歳以上(88.8%)は他の年代に比べてやや低くなっている。

【居住区別】

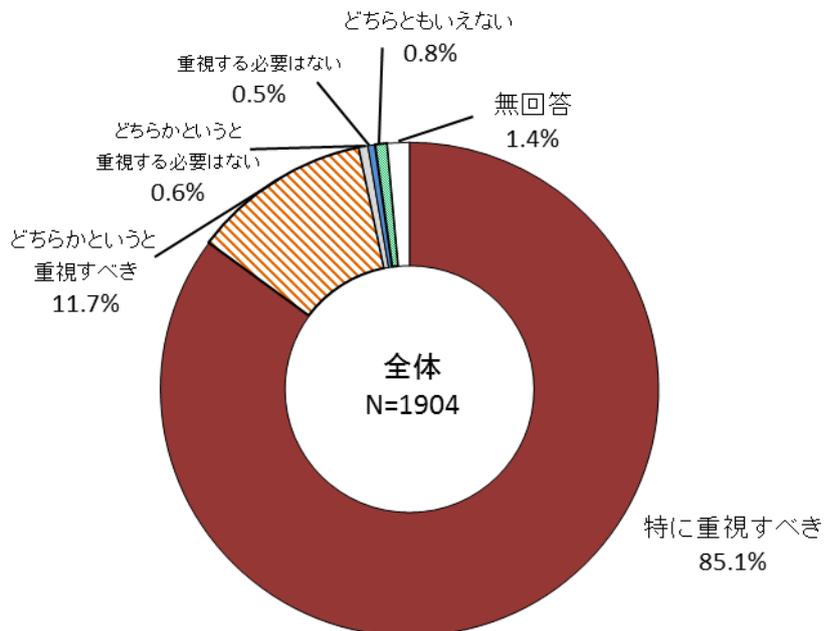
全ての居住区で、「特に重視すべき」と「どちらかといえば重視すべき」を合わせた“重視すべき”が最も高くなっている。

- ①特に重視すべき ②どちらかという重視すべき ③どちらかという重視する必要はない
 ④重視する必要はない ⑤どちらともいえない ⑥無回答



【問 23】 (2) 安全で良質な水道水をお届けすること

安全で良質な水道水をお届けすることについては、「特に重視すべき」(85.1%)と「どちらかといえば重視すべき」(11.7%)を合わせた“重視すべき”(96.8%)が全体の9割以上を占めている。



【対象者全体】

安全で良質な水道水をお届けすることについては、「特に重視すべき」(85.1%)が最も高く、次いで「どちらかといえば重視すべき」(11.7%)、「どちらともいえない」(0.8%)、「どちらかというと重視する必要はない」(0.6%)、「重視する必要はない」(0.5%)となっている。

【性別】

男女共に「特に重視すべき」と「どちらかといえば重視すべき」を合わせた“重視すべき”が最も高く、男女による違いはほとんど見られない。

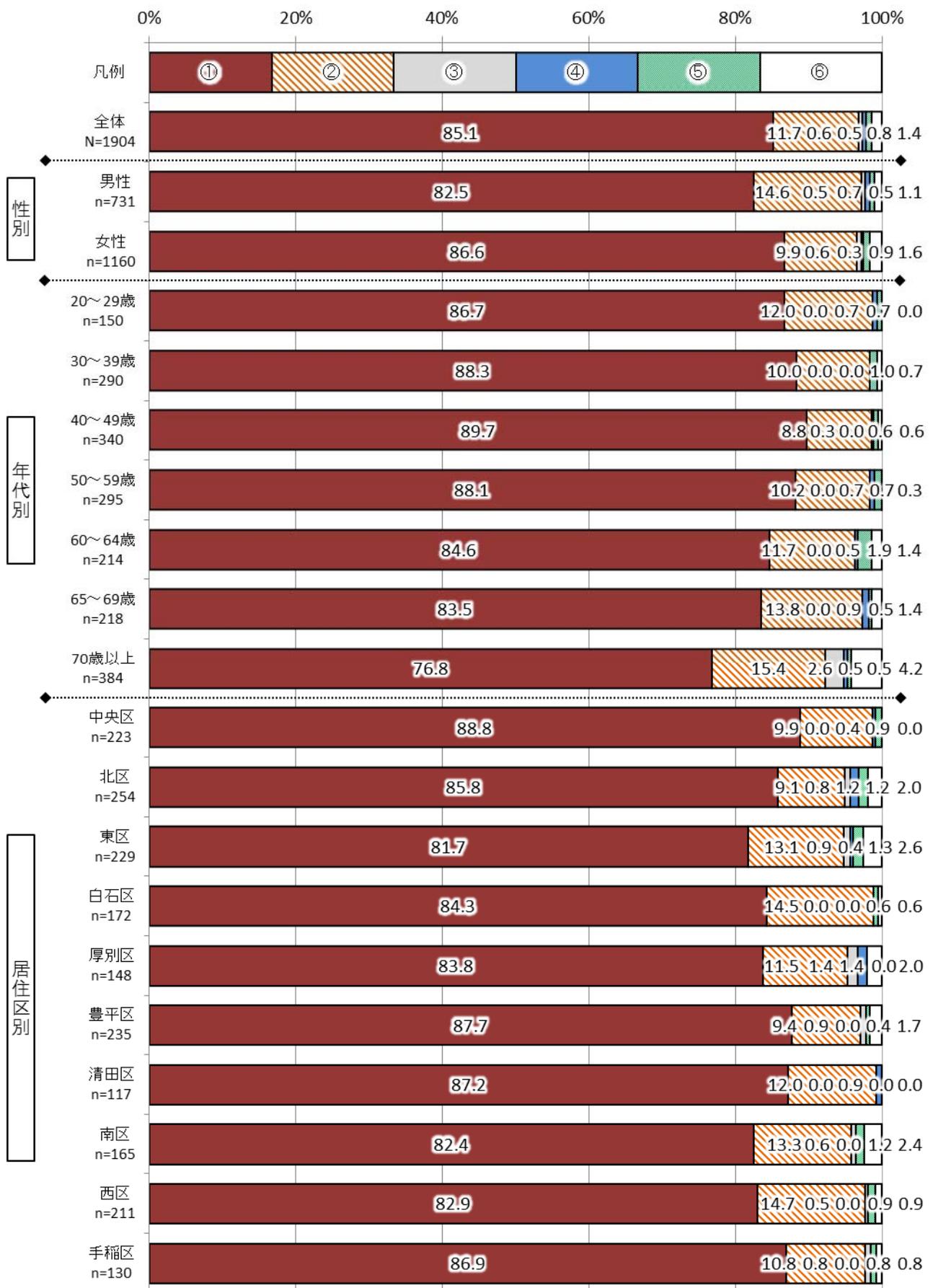
【年代別】

各年代共に「特に重視すべき」と「どちらかといえば重視すべき」を合わせた“重視すべき”が最も高いが、50歳代以下では他の年代よりもやや高く、70歳以上ではやや低くなっている。

【居住区別】

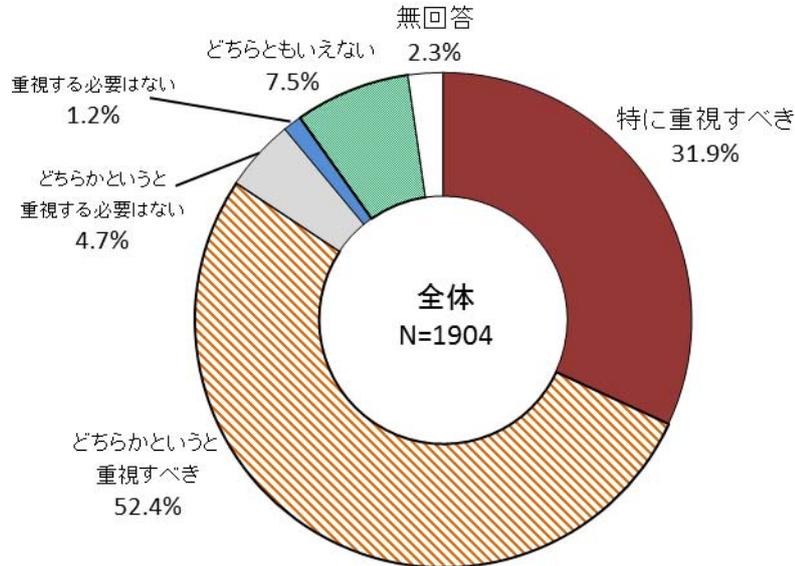
全ての居住区で、「特に重視すべき」と「どちらかといえば重視すべき」を合わせた“重視すべき”が最も高くなっている。

- ①特に重視すべき ②どちらかという重視すべき ③どちらかという重視する必要はない
 ④重視する必要はない ⑤どちらともいえない ⑥無回答



【問 23】 (3) お客さまサービス(問い合わせ対応・広報)

お客さまサービス(問い合わせ対応・広報)については、「特に重視すべき」(31.9%)と「どちらかといえ
ば重視すべき」(52.4%)を合わせた“重視すべき”(84.3%)が全体の約8割を占めている。



【対象者全体】

お客さまサービス(問い合わせ対応・広報)については、「どちらかといえ
ば重視すべき」(52.4%)が最も高く、次いで「特に重視すべき」(31.9%)、「
どちらともいえない」(7.5%)、「どちらかというと重視する必要がある」
(4.7%)、「重視する必要がある」(1.2%)となっている。

【性別】

男女共に「特に重視すべき」と「どちらかといえ
ば重視すべき」を合わせた“重視すべき”が最も高く、男女による違いはほとんど見られない。

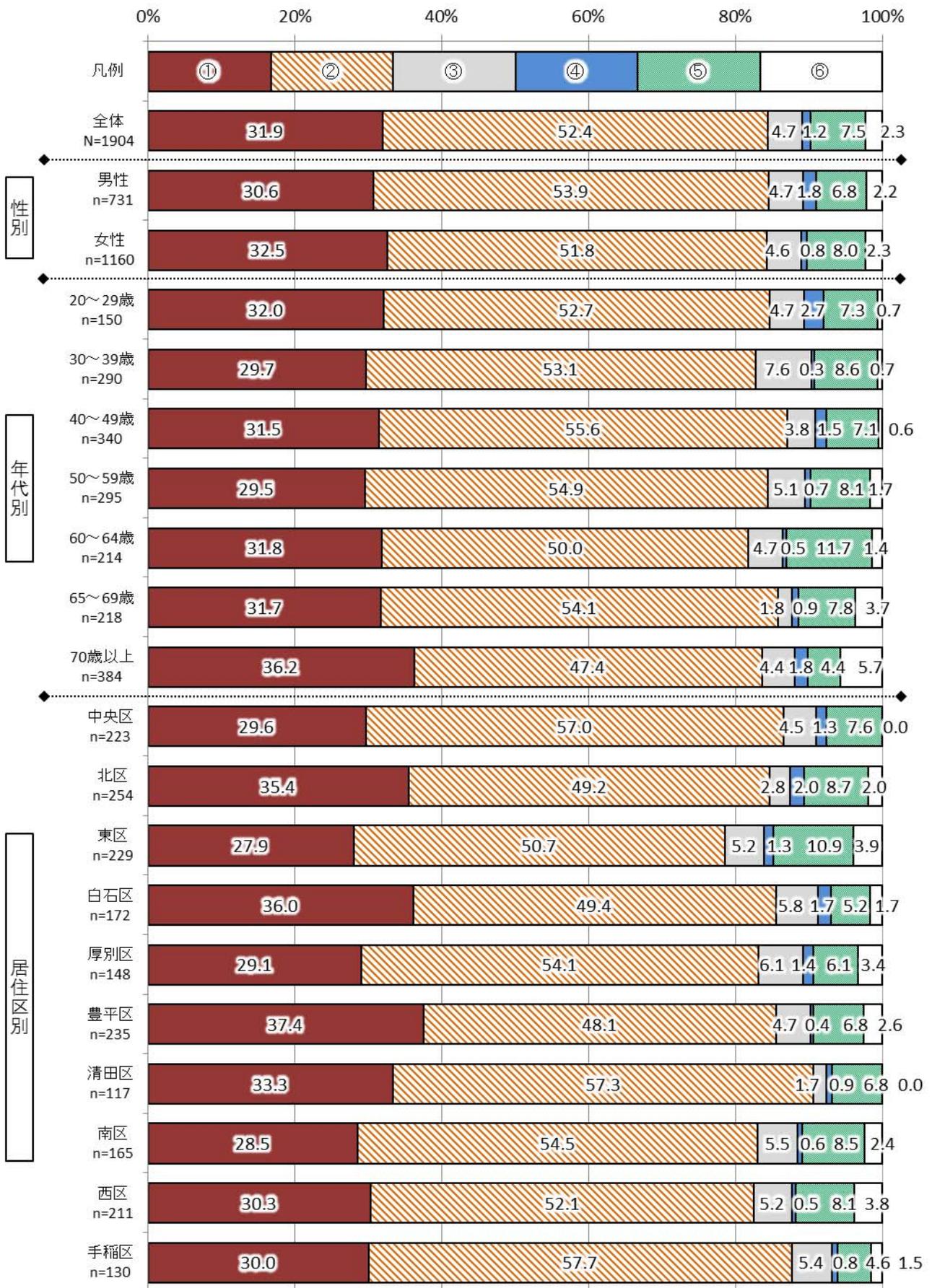
【年代別】

各年代共に「特に重視すべき」と「どちらかといえ
ば重視すべき」を合わせた“重視すべき”が最も高いが、40歳代で他の年代よりもやや高くなっている。

【居住区別】

全ての居住区で「特に重視すべき」と「どちらかといえ
ば重視すべき」を合わせた“重視すべき”が最も高いが、清田区、手稲区では他の区に比べてやや高くなっている。

- ①特に重視すべき ②どちらかという重視すべき ③どちらかという重視する必要はない
 ④重視する必要はない ⑤どちらともいえない ⑥無回答

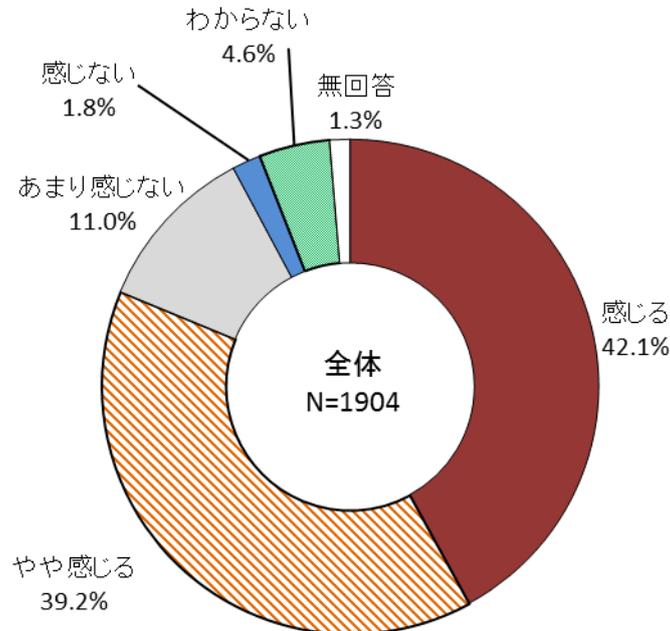


(7) 将来を見据えた魅力ある都市の整備

- ・ 都心部の「にぎわい」について

【問 24】 あなたは、札幌の都心(下図の点線で囲まれた部分参照)に「にぎわい」があると感じますか。
あてはまるもの一つに○をつけてください。

札幌の都心に「にぎわい」があると感じるかについては、「感じる」(42.1%)と「やや感じる」(39.2%)を合わせた“感じる”(81.3%)が全体の約8割を占めている。



【対象者全体】

札幌の都心に「にぎわい」があると感じるかについては「感じる」(42.1%)が最も高く、次いで「やや感じる」(39.2%)、「あまり感じない」(11.0%)、「わからない」(4.6%)、「感じない」(1.8%)となっている。

【性別】

男女共に「感じる」と「やや感じる」を合わせた“感じる”が最も高く、男女による違いはあまり見られない。

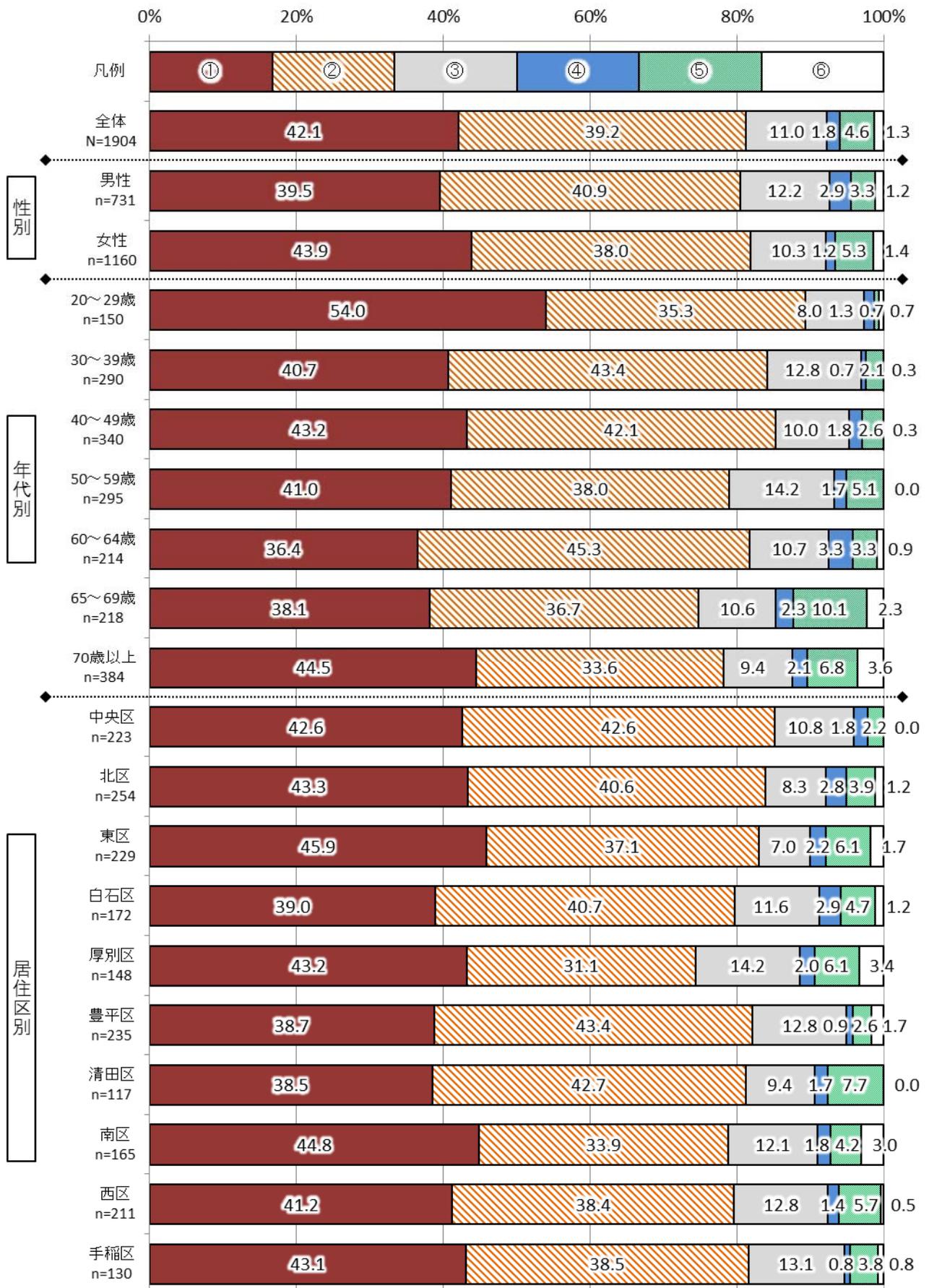
【年代別】

各年代共に「感じる」と「やや感じる」を合わせた“感じる”が最も高く、特に20歳代では約9割を占めている。

【居住区別】

全居住区で「感じる」と「やや感じる」を合わせた“感じる”が最も高く、中央区、北区、東区は他の区よりやや高くなっている。

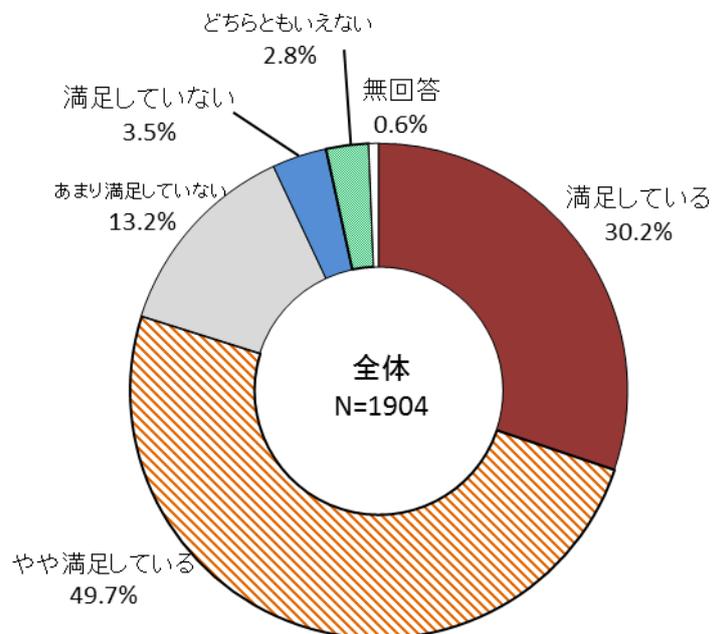
①感じる ②やや感じる ③あまり感じない ④感じない ⑤わからない ⑥無回答



・ 住環境の満足度

【問 25】 あなたは、住んでいる地域の住環境に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

住んでいる地域の住環境については、「満足している」(30.2%)と「やや満足している」(49.7%)を合わせた“満足している”(79.9%)が全体の約8割を占めている。



【対象者全体】

住んでいる地域の住環境については、「やや満足している」(49.7%)が最も高く、次いで「満足している」(30.2%)、「あまり満足していない」(13.2%)、「満足していない」(3.5%)、「どちらともいえない」(2.8%)となっている。

【性別】

男女共に「満足している」と「やや満足している」を合わせた“満足している”が最も高く、男女による違いはほとんど見られない。

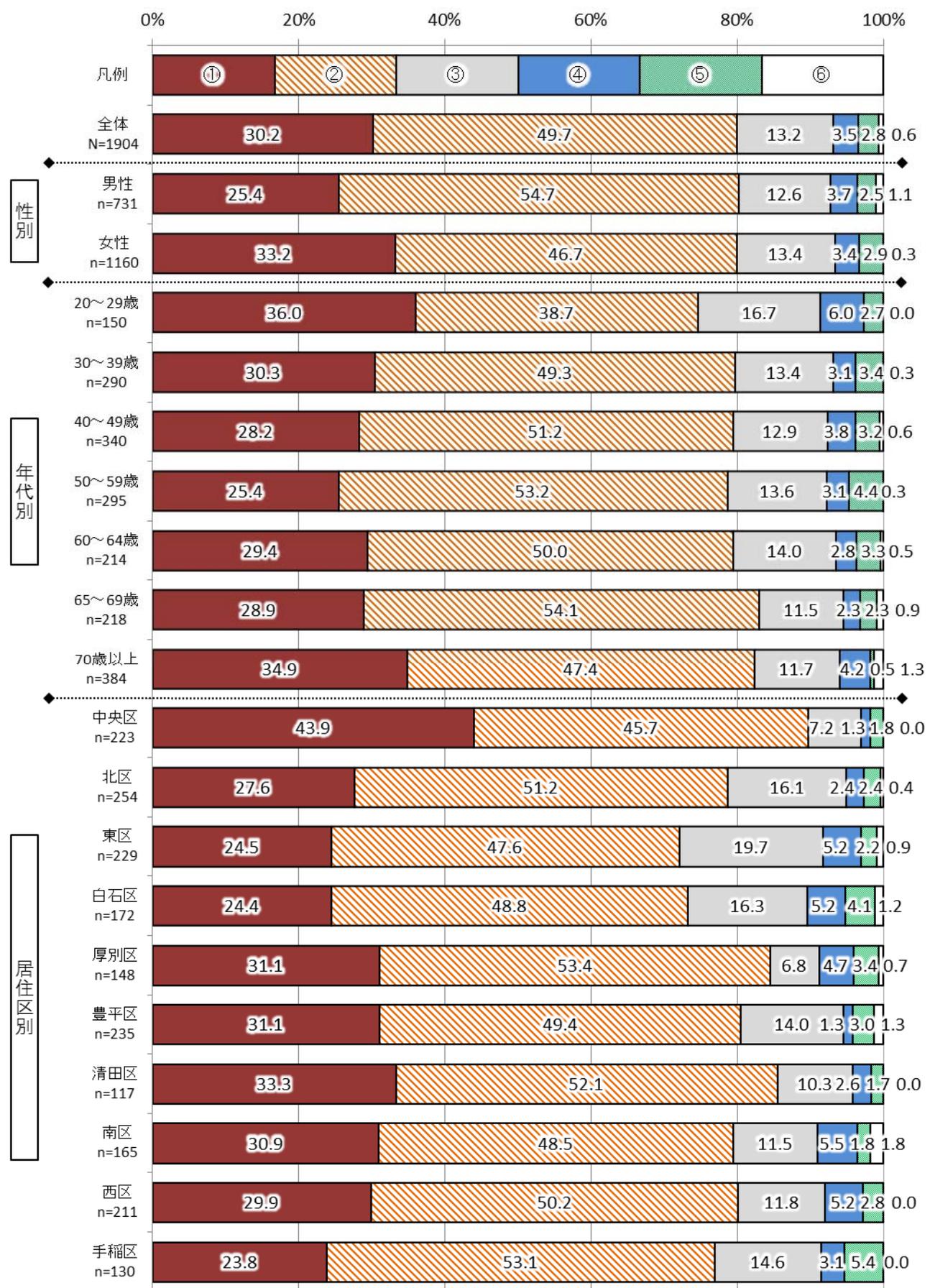
【年代別】

各年代共に「満足している」と「やや満足している」を合わせた“満足している”が最も高いが、20歳代では約7割と低く、65歳以上ではやや高くなっている。

【居住区別】

全居住区で「満足している」と「やや満足している」を合わせた“満足している”が最も高いが、スコアの低い東区(72.1%)、白石区(73.2%)に比べて、中央区(89.6%)、厚別区(84.5%)、清田区(85.4%)は約10ポイント以上高くなっている。

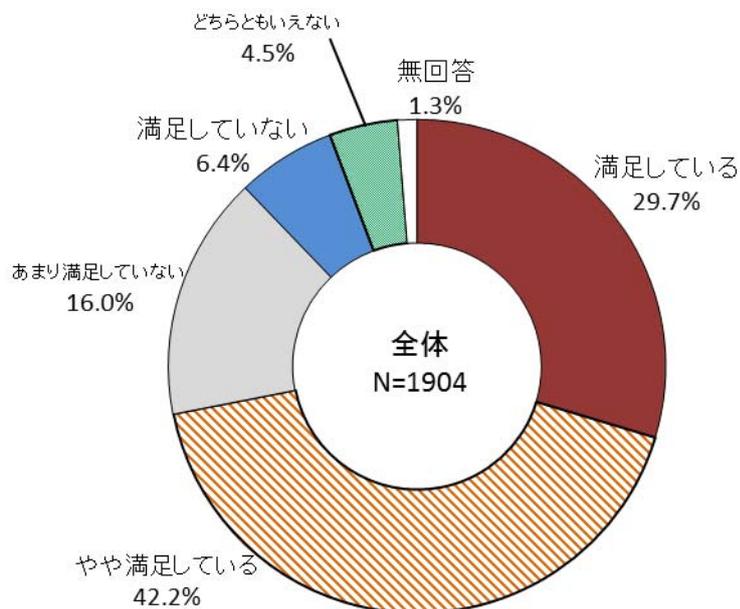
- ①満足している ②やや満足している ③あまり満足していない
 ④満足していない ⑤どちらともいえない ⑥無回答



・ 公共交通の満足度

【問 26】 あなたは、公共交通による日常の移動に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

公共交通による日常の移動については、「満足している」(29.7%)と「やや満足している」(42.2%)を合わせた“満足している”(71.9%)が全体の約7割を占めている。



【対象者全体】

公共交通による日常の移動については「やや満足している」(42.2%)が最も高く、次いで「満足している」(29.7%)、「あまり満足していない」(16.0%)、「満足していない」(6.4%)、「どちらともいえない」(4.5%)となっている。

【性別】

男女共に「満足している」と「やや満足している」を合わせた“満足している”が最も高く、男女による違いはほとんど見られない。

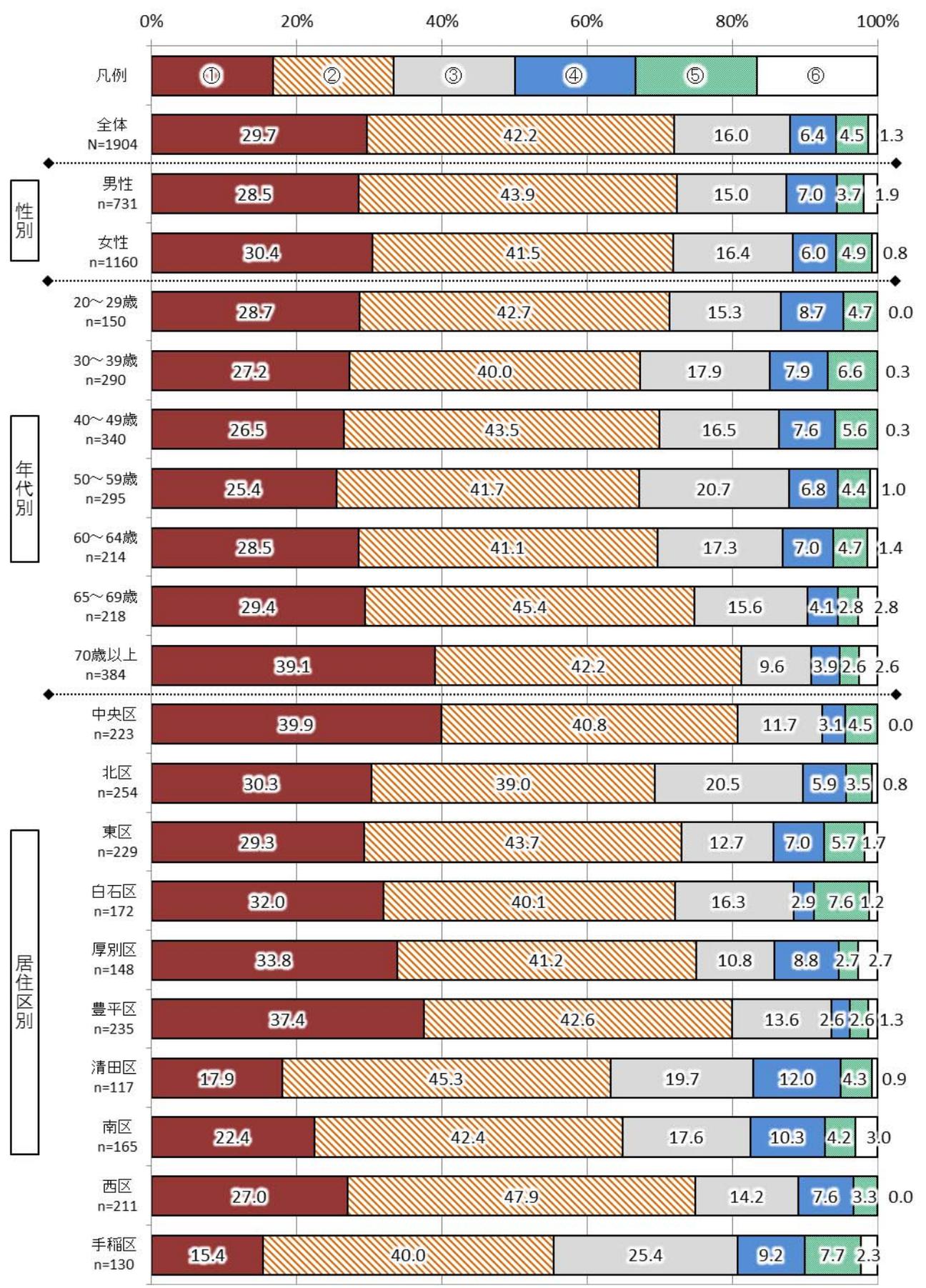
【年代別】

各年代共に「満足している」と「やや満足している」を合わせた“満足している”が最も高いが、スコアの低い30歳代(67.2%)、50歳代(67.1%)に比べて、70歳以上(81.3%)は10ポイント以上高くなっている。

【居住区別】

全居住区で「満足している」と「やや満足している」を合わせた“満足している”が最も高いが、スコアの低い手稲区(55.4%)に比べて、中央区(80.7%)は25ポイント以上高くなっている。

- ①満足している ②やや満足している ③あまり満足していない
 ④満足していない ⑤どちらともいえない ⑥無回答

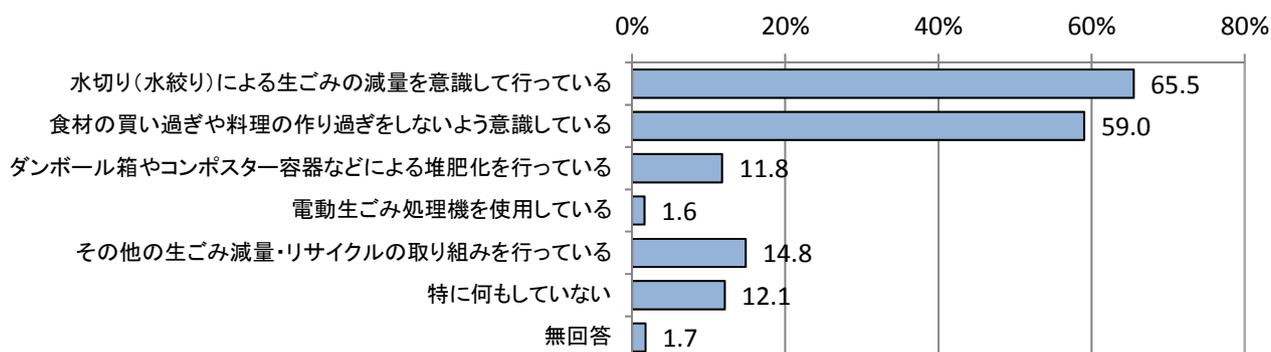


(8) 低炭素社会の推進と循環型社会の構築

- ・ 生ごみ減量・リサイクルの取り組みについて

【問 27】 生ごみ減量・リサイクルの取り組みとして、次の中にあなたのご家庭で行っているものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

生ごみ減量・リサイクルの取り組みについては、「水切り(水絞り)による生ごみの減量を意識して行っている」(65.5%)が全体の7割近くを占めている。



【対象者全体】

生ごみ減量・リサイクルの取り組みについては、「水切り(水絞り)による生ごみの減量を意識して行っている」(65.5%)が最も高く、次いで「食材の買い過ぎや料理の作り過ぎをしないよう意識している」(59.0%)、「その他の生ごみ減量・リサイクルの取り組みを行っている」(14.8%)、「特に何もしていない」(12.1%)、「ダンボール箱やコンポスター容器などによる堆肥化を行っている」(11.8%)、「電動生ごみ処理機を使用している」(1.6%)となっている。

【性別】

男女共に「水切り(水絞り)による生ごみの減量を意識して行っている」が最も高いが、女性(70.7%)は男性(56.9%)に比べて10ポイント以上高くなっている。

【年代別】

30歳代を除く各年代で「水切り(水絞り)による生ごみの減量を意識して行っている」が最も高くなっている。一方、30歳代(62.8%)では「食材の買い過ぎや料理の作り過ぎをしないよう意識している」が最も高くなっている。

【居住区別】

ほぼ全ての居住区で「水切り(水絞り)による生ごみの減量を意識して行っている」が最も高くなっている。中央区(71.3%)、清田区(70.1%)では、スコアの低い白石区(58.7%)と比べて10ポイント以上高くなっている。

(%)

	対象者数	水切り（水絞り）による生ごみの減量を意識して行っている	食材の買い過ぎや料理の作り過ぎをしないよう意識している	ダンボール箱やコンポスター容器などによる堆肥化を行っている	電動生ごみ処理機を使用している	その他の生ごみ減量・リサイクルの取り組みを行っている	特に何もしていない	無回答
対象者全体	1904	65.5	59.0	11.8	1.6	14.8	12.1	1.7
【性別】								
男性	731	56.9	51.7	12.2	1.1	14.1	17.9	2.5
女性	1160	70.7	63.7	11.6	2.0	15.1	8.4	1.2
【年代別】								
20～29歳	150	54.0	53.3	6.0	2.0	6.0	23.3	0.7
30～39歳	290	51.4	62.8	5.5	0.3	7.2	17.9	1.0
40～49歳	340	62.4	60.0	7.9	2.1	8.2	14.7	1.2
50～59歳	295	66.4	60.3	9.2	1.4	18.6	12.5	1.0
60～64歳	214	71.0	57.5	17.3	1.4	17.8	8.9	1.4
65～69歳	218	78.0	61.0	17.4	1.8	17.9	5.0	1.8
70歳以上	384	72.4	56.5	18.0	2.3	23.2	6.3	3.9
【居住区別】								
中央区	223	71.3	65.0	6.3	0.4	12.1	12.1	0.9
北区	254	66.5	55.9	14.6	1.2	18.9	9.8	3.1
東区	229	64.6	59.8	10.9	0.9	17.5	11.4	0.9
白石区	172	58.7	59.9	12.8	0.0	12.8	13.4	2.3
厚別区	148	66.2	56.1	11.5	8.1	15.5	10.8	2.7
豊平区	235	66.4	57.9	9.8	1.7	12.3	14.0	1.7
清田区	117	70.1	57.3	18.8	2.6	16.2	12.0	0.0
南区	165	60.0	60.0	19.4	1.2	13.3	12.1	3.0
西区	211	63.0	62.1	8.1	0.9	13.3	11.8	0.9
手稲区	130	69.2	55.4	10.8	1.5	14.6	13.1	0.8

対象者全体スコアと比較して10%以上高い

対象者全体スコアと比較して10%以上低い

・ 環境配慮活動について

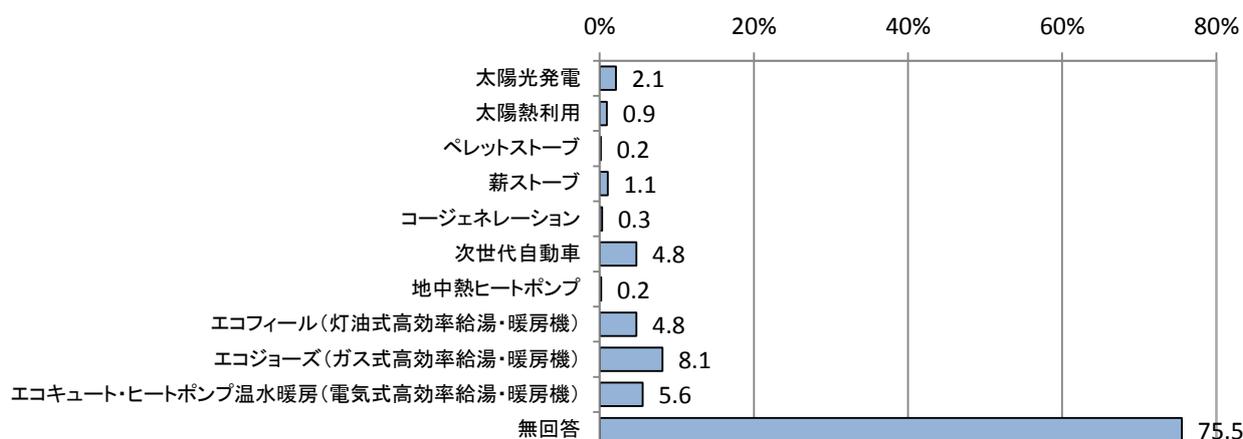
【問 28】 環境配慮活動に関してお聞きします。各項目にお答えください。

(1) 再生可能エネルギー機器などの導入状況についてお聞きします。次の中に、あなたが導入している再生可能エネルギー機器や省エネルギー機器などはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

※1 コージェネレーション:発電時の排熱を給湯・暖房に活用するシステム。具体的にはエネファームなどがあります。

※2 次世代自動車:具体的には、ハイブリット自動車、プラグインハイブリット自動車、電気自動車、クリーンディーゼル自動車、天然ガス自動車などがあります。

再生可能エネルギー機器や省エネルギー機器の導入については、エコジョーズ(ガス式高効率給湯・暖房機) (8.1%)が全体の1割弱を占めている。



【対象者全体】

再生可能エネルギー機器や省エネルギー機器の導入については、「エコジョーズ(ガス式高効率給湯・暖房機)」(8.1%)が最も高く、次いで「エコキュート・ヒートポンプ温水暖房(電気式高効率給湯・暖房機)」(5.6%)、「エコフィール(灯油式高効率給湯・暖房機)」(4.8%)、「次世代自動車」(4.8%)となっている。

【性別】

男女共に「エコジョーズ(ガス式高効率給湯・暖房機)」が最も高くなっているが、男性では「次世代自動車」(6.7%)も高くなっている。

【年代別】

20歳代を除く年代では「エコジョーズ(ガス式高効率給湯・暖房機)」が最も高く、30歳代(11.4%)では1割を超える。20歳代(5.3%)では「太陽光発電」が高く、50歳代(6.8%)、65~69歳(6.9%)では「次世代自動車」も高くなっている。

【居住区別】

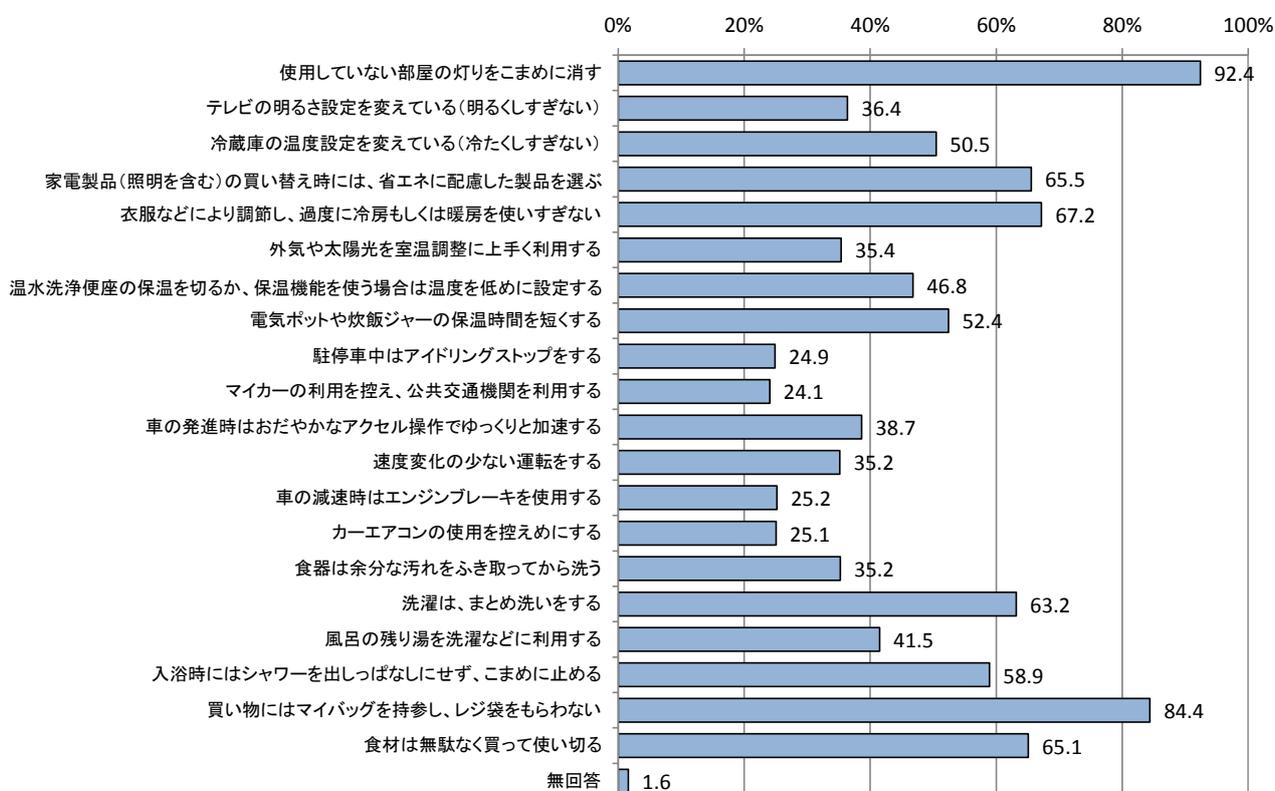
全ての居住区で「エコジョーズ(ガス式高効率給湯・暖房機)」が最も高く、中央区(13.9%)、厚別区(10.8%)では、スコアの低い東区(5.7%)、西区(5.7%)と比べて5~8ポイント高くなっている。

(%)

	対象者数	太陽光発電	太陽熱利用	ペレットストーブ	薪ストーブ	コージェネレーション	次世代自動車	地中熱ヒートポンプ	湯・暖房機 エコフィール (灯油式高効率給湯・暖房機)	湯・暖房機 エコジョーズ (ガス式高効率給湯・暖房機)	エコキュート・ヒートポンプ温水暖房 (電気式高効率給湯・暖房機)	無回答
対象者全体	1904	2.1	0.9	0.2	1.1	0.3	4.8	0.2	4.8	8.1	5.6	75.5
【性別】												
男性	731	1.9	1.2	0.1	1.4	0.3	6.7	0.1	4.1	6.7	6.0	74.3
女性	1160	2.2	0.8	0.2	0.9	0.3	3.6	0.3	5.1	9.1	5.3	76.3
【年代別】												
20～29歳	150	5.3	0.7	0.0	0.0	0.0	2.0	0.7	2.0	4.7	6.0	82.7
30～39歳	290	1.4	0.3	0.0	0.3	0.7	2.1	0.0	0.3	11.4	7.9	77.6
40～49歳	340	2.4	0.3	0.3	0.6	0.9	5.3	0.3	1.5	8.8	7.1	76.5
50～59歳	295	2.7	1.7	0.3	1.0	0.3	6.8	0.3	4.4	9.2	4.4	74.6
60～64歳	214	1.4	1.9	0.0	2.3	0.0	5.6	0.0	4.2	7.5	3.7	76.6
65～69歳	218	0.9	0.9	0.0	0.9	0.0	6.9	0.5	9.2	5.5	5.5	74.3
70歳以上	384	1.8	1.0	0.3	1.8	0.0	4.4	0.0	10.2	7.6	4.4	70.8
【居住区別】												
中央区	223	2.2	0.9	0.0	1.3	0.4	4.9	0.4	1.8	13.9	5.4	72.2
北区	254	2.0	0.4	0.0	1.2	0.0	3.9	0.0	6.7	7.9	6.3	75.2
東区	229	3.1	0.9	0.4	0.0	0.0	7.0	0.0	3.5	5.7	4.8	76.4
白石区	172	2.3	1.2	0.0	1.7	0.0	4.7	0.0	4.1	7.0	5.2	78.5
厚別区	148	2.7	0.7	0.0	0.0	1.4	4.7	0.7	4.1	10.8	7.4	72.3
豊平区	235	2.1	0.9	0.0	0.9	0.4	5.1	0.0	5.5	6.8	5.1	78.3
清田区	117	1.7	1.7	0.9	0.9	0.0	4.3	0.0	4.3	7.7	8.5	71.8
南区	165	1.2	0.6	0.0	3.0	0.0	4.2	0.6	7.9	8.5	4.2	72.1
西区	211	2.4	0.9	0.5	0.5	0.9	4.3	0.5	4.3	5.7	5.2	79.6
手稲区	130	0.8	2.3	0.0	1.5	0.0	3.8	0.0	6.2	8.5	5.4	74.6

【問 28】 (2) エコライフの取り組みの実践状況についてお聞きします。次の中に、あなたが常に実践しているエコライフの取り組みはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

エコライフの取り組みについては、「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」(92.4%)が全体の約9割を占めている。



【対象者全体】

エコライフの取り組みについては、「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」(92.4%)が最も高く、次いで「買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない」(84.4%)、「衣服などにより調節し、過度に冷房もしくは暖房を使すぎない」(67.2%)、「家電製品(照明を含む)の買い替え時には、省エネに配慮した製品を選ぶ」(65.5%)、「食材は無駄なく買って使い切る」(65.1%)、「洗濯は、まとめ洗いをする」(63.2%)、「入浴時にはシャワーを出しっぱなしにせず、こまめに止める」(58.9%)となっている。

【性別】

男女共に「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が最も高いが、女性(93.9%)は男性(90.0%)に比べてやや高くなっている。

【年代別】

各年代共に「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が最も高くなっている。「買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない」は、65～69歳(91.7%)で高く、スコアの低い20歳代(77.3%)と比べて10ポイント以上高くなっている。

【居住区別】

全ての居住区で「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が最も高くなっている。

表1

(%)

	対象者数	使用していない部屋の灯りをこまめに消す	テレビの明るさ設定を変えている(明るくしすぎない)	冷蔵庫の温度設定を変えている(冷たくしすぎない)	家電製品(照明を含む)の買い替え時には、省エネに配慮した製品を選ぶ	衣服などにより調節し、過度に冷房もしくは暖房を使いすぎない	外気や太陽光を室温調整に上手く利用する	温水洗浄便座の保温を切るか、保温機能を使う場合は温度を低めに設定する	電気ポットや炊飯ジャーの保温時間を短くする	駐停車中はアイドリングストップをする	マイカーの利用を控え、公共交通機関を利用する	車の発進時はおだやかなアクセル操作でゆっくりと加速する	速度変化の少ない運転をする
対象者全体	1904	92.4	36.4	50.5	65.5	67.2	35.4	46.8	52.4	24.9	24.1	38.7	35.2
【性別】													
男性	731	90.0	33.9	41.7	63.6	61.0	32.7	39.1	39.7	29.7	24.5	48.3	45.4
女性	1160	93.9	37.9	56.0	66.9	71.0	37.4	51.8	60.5	22.0	23.8	32.8	28.9
【年代別】													
20～29歳	150	88.7	30.0	32.7	46.7	64.7	26.0	33.3	42.7	14.0	22.7	33.3	31.3
30～39歳	290	92.8	34.5	47.2	57.9	64.8	34.1	45.5	57.6	26.9	21.0	42.1	37.2
40～49歳	340	94.7	45.6	53.5	69.7	66.8	36.5	52.6	60.6	24.1	22.1	41.8	41.5
50～59歳	295	91.9	39.7	49.8	70.2	68.5	39.7	43.1	48.8	27.5	23.4	43.7	40.0
60～64歳	214	93.5	30.8	49.1	72.0	72.0	34.1	43.5	50.0	26.2	24.8	41.1	36.9
65～69歳	218	91.7	33.0	62.8	72.5	70.2	35.8	51.4	58.7	29.4	27.5	38.5	35.3
70歳以上	384	91.7	34.6	51.6	64.3	65.1	36.7	50.5	46.1	23.2	27.1	30.5	25.3
【居住区別】													
中央区	223	94.2	39.0	55.2	68.6	68.6	44.4	46.2	57.8	21.1	25.6	26.9	26.5
北区	254	91.7	36.2	52.0	63.8	67.3	36.2	44.1	51.6	25.6	23.6	39.4	33.5
東区	229	91.3	38.4	50.2	63.3	67.7	31.9	48.9	55.5	25.8	24.0	38.0	34.1
白石区	172	89.0	40.1	54.7	60.5	70.9	35.5	43.0	54.1	23.8	25.0	43.0	37.8
厚別区	148	92.6	35.8	49.3	72.3	66.9	33.8	45.9	50.0	20.3	25.7	37.8	39.9
豊平区	235	94.9	33.6	46.8	57.0	66.4	35.7	46.8	48.9	23.8	26.8	36.2	34.5
清田区	117	91.5	36.8	48.7	70.1	65.8	35.9	47.0	53.0	32.5	22.2	47.9	45.3
南区	165	92.1	35.2	48.5	70.3	64.2	33.9	49.7	50.3	24.8	17.6	41.2	35.2
西区	211	92.9	36.0	50.2	70.1	67.3	35.5	55.9	54.5	27.0	28.9	41.7	36.0
手稲区	130	93.1	31.5	46.9	66.2	65.4	29.2	40.8	46.2	26.2	18.5	44.6	40.8

対象者全体スコアと比較して10%以上高い

対象者全体スコアと比較して10%以上低い

表2

(%)

	対象者数	車の減速時はエンジンブレーキを使用する	カーエアコンの使用を控えめにする	食器は余分な汚れをふき取ってから洗う	洗濯は、まとめ洗いをすす	風呂の残り湯を洗濯などに利用	入浴時にはシャワーを出しっぱなしにせず、こまめに止める	買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない	食材は無駄なく買って使い切る	無回答
対象者全体	1904	25.2	25.1	35.2	63.2	41.5	58.9	84.4	65.1	1.6
【性別】										
男性	731	33.4	28.9	28.5	56.9	40.9	55.0	75.1	57.7	2.6
女性	1160	20.2	22.7	39.7	67.2	42.2	61.4	90.3	69.5	0.9
【年代別】										
20～29歳	150	22.7	18.7	27.3	68.7	35.3	41.3	77.3	48.7	1.3
30～39歳	290	26.9	24.5	22.8	61.4	39.7	45.5	80.0	62.1	1.0
40～49歳	340	29.4	28.8	31.2	60.9	43.5	58.8	86.5	65.6	0.0
50～59歳	295	27.1	28.8	33.2	59.3	42.7	61.4	85.1	65.4	0.3
60～64歳	214	27.6	26.2	39.3	60.7	45.3	61.2	86.0	64.5	1.4
65～69歳	218	24.3	28.4	42.2	63.8	44.5	67.4	91.7	73.4	1.8
70歳以上	384	19.0	19.3	47.4	68.2	39.1	68.5	83.3	68.2	4.4
【居住区別】										
中央区	223	19.7	19.3	39.0	56.1	35.0	57.4	81.6	68.2	0.9
北区	254	26.4	26.8	39.4	65.0	44.5	64.2	81.1	65.0	1.6
東区	229	21.4	22.7	32.8	69.9	41.5	60.3	86.9	62.0	1.3
白石区	172	31.4	23.8	33.1	65.7	36.6	54.7	81.4	65.1	1.7
厚別区	148	27.7	21.6	36.5	58.1	45.3	55.4	84.5	65.5	1.4
豊平区	235	22.1	19.6	30.6	63.0	36.6	53.2	83.0	63.8	2.1
清田区	117	28.2	35.0	37.6	58.1	46.2	70.1	90.6	67.5	2.6
南区	165	25.5	31.5	32.7	61.2	45.5	63.6	89.1	60.0	2.4
西区	211	26.5	28.9	36.0	66.4	42.7	58.3	84.8	70.1	1.4
手稲区	130	30.0	29.2	36.2	66.9	47.7	56.9	86.2	62.3	0.8

対象者全体スコアと比較して10%以上高い

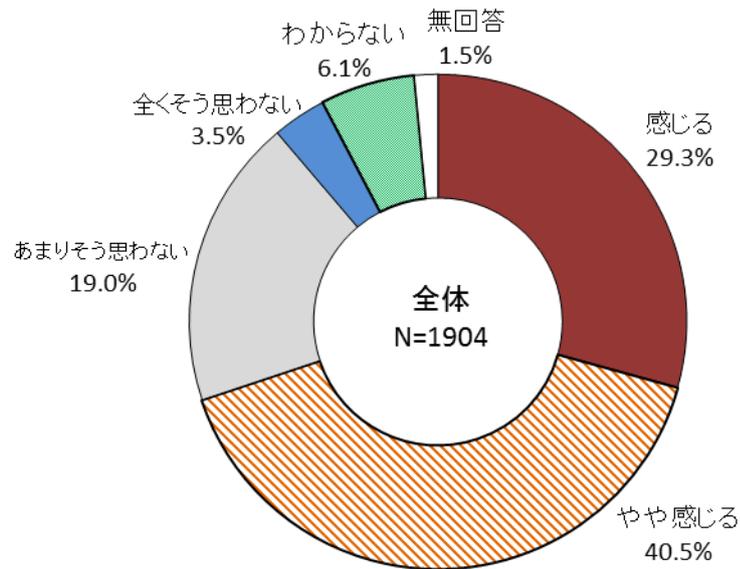
対象者全体スコアと比較して10%以上低い

(9) 多様で豊かな自然を守り、育てるまちづくり

・ 花やみどりの現状について

【問 29】 あなたは、自分が住んでいる地域(小学校や連合町内会くらいの範囲)の花やみどりの現状について、親しみを感じますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

自分が住んでいる地域(小学校や連合町内会くらいの範囲)の花やみどりへの親しみについては、「感じる」(29.3%)と「やや感じる」(40.5%)を合わせた“感じる” (69.8%)が全体の約7割を占めている。



【対象者全体】

自分が住んでいる地域(小学校や連合町内会くらいの範囲)の花やみどりへの親しみについては、「やや感じる」(40.5%)が最も高く、次いで「感じる」(29.3%)、「あまりそう思わない」(19.0%)、「わからない」(6.1%)、「全くそう思わない」(3.5%)となっている。

【性別】

男女共に“感じる”が最も高いが、女性(72.2%)が男性(66.2%)より高くなっている。

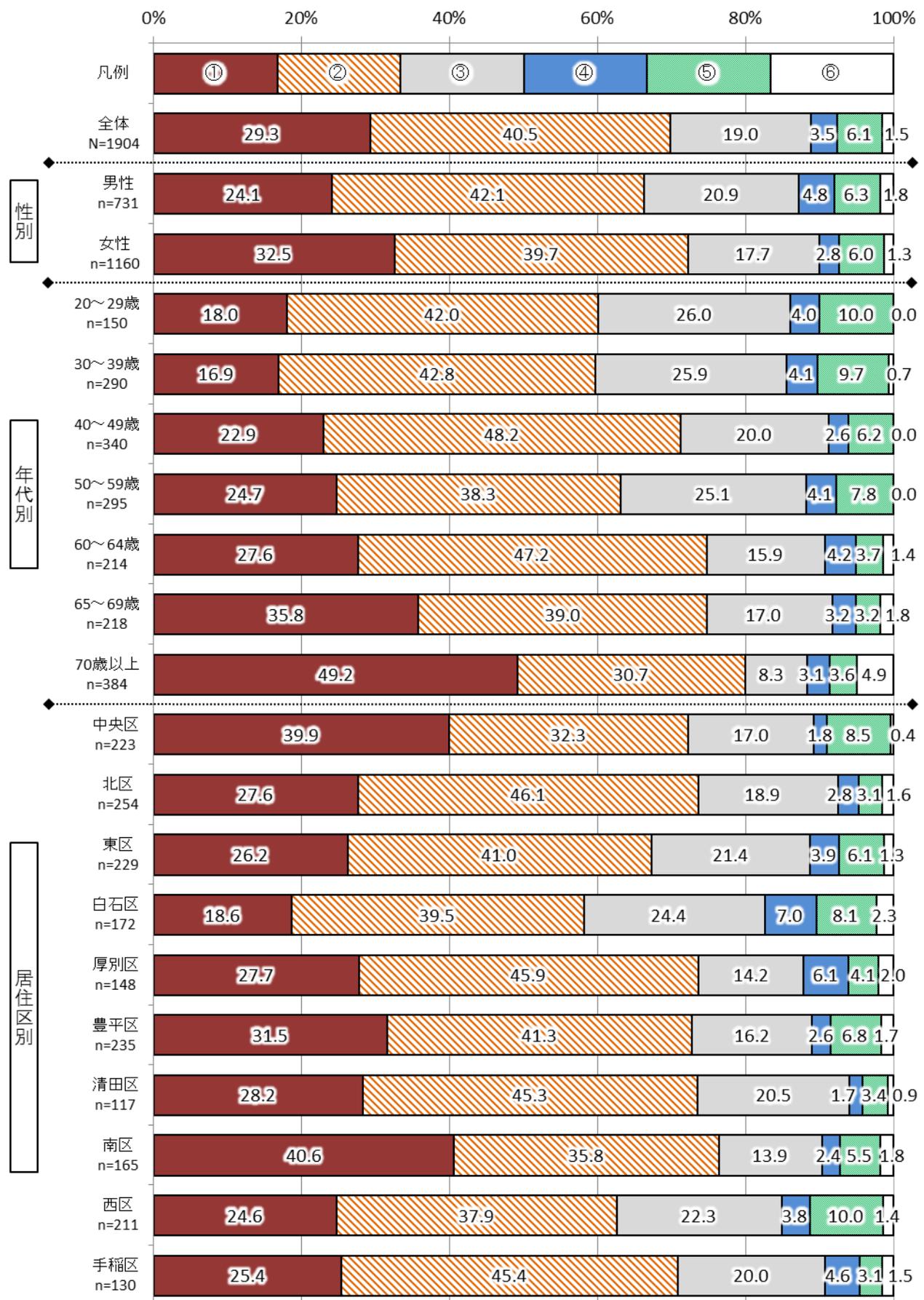
【年代別】

各年代共に“感じる”が最も高いが、70歳以上(79.9%)で約8割と、スコアの低い20歳代(60.0%)、30歳代(59.7%)と比べて約20ポイント高くなっている。

【居住区別】

全居住区で“感じる”が最も高いが、南区(76.4%)は、スコアの低い白石区(58.1%)、西区(62.5%)に比べて10ポイント以上高くなっている。

- ①感じる ②やや感じる ③あまりそう思わない
 ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答

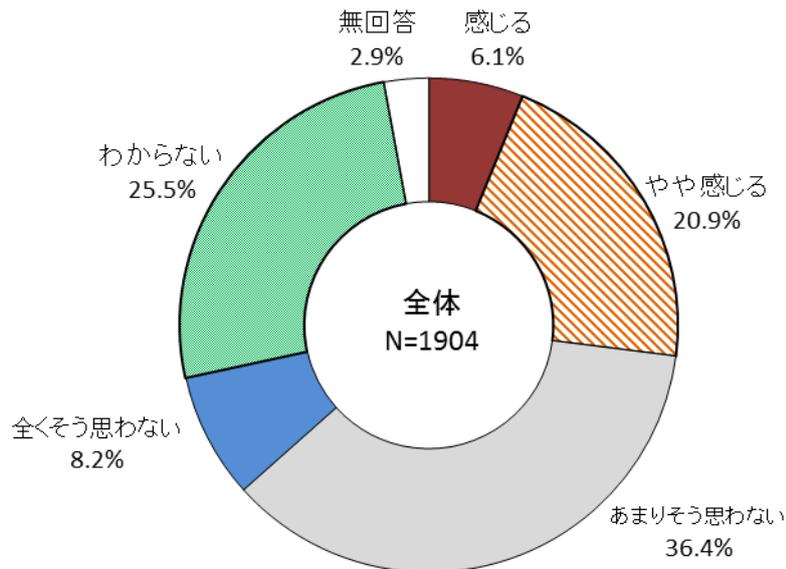


(10) 市民の主体的な地域づくりと多文化共生を推進するまちづくり

・ 市政参加の機会

【問 30】 札幌市では、市民の声を市政に反映するため、電話やEメールでの意見募集、さらにはアンケート調査やワークショップ、フォーラム、出前講座等さまざまな市政参加の機会を提供しておりますが、普段、あなたはこうした市政参加の機会が用意されていると感じますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

市政参加の機会が用意されているかについては、「あまりそう思わない」(36.4%)と「全くそう思わない」(8.2%)を合わせた“そう思わない”(44.6%)が全体の約4割を占めている。



【対象者全体】

市政参加の機会が用意されているかについては、「あまりそう思わない」(36.4%)が最も高く、次いで「わかからない」(25.5%)、「やや感じる」(20.9%)、「全くそう思わない」(8.2%)、「感じる」(6.1%)となっている。

【性別】

男女共に「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が最も高いが、男性(49.1%)は女性(41.9%)に比べて高くなっている。

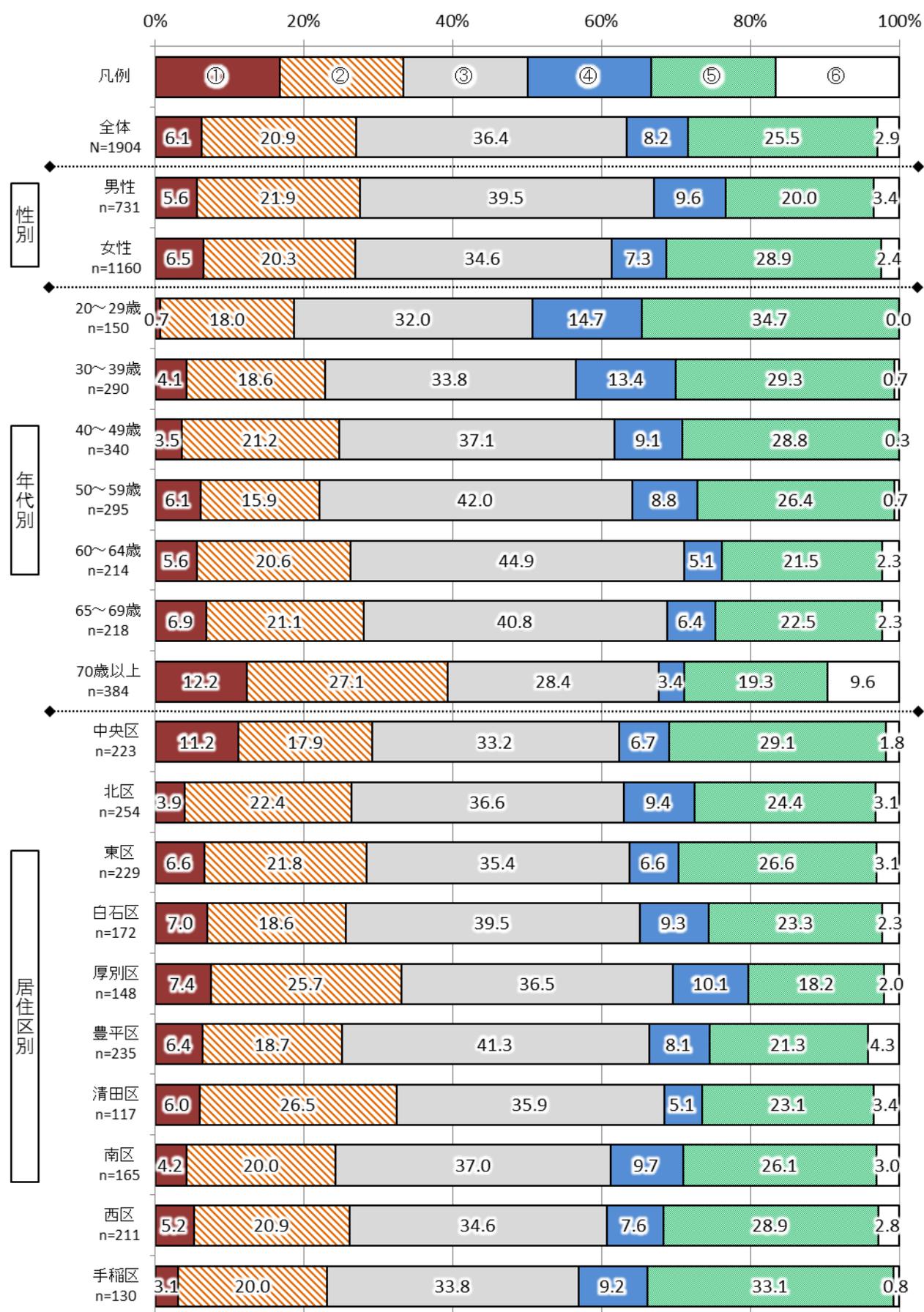
【年代別】

70歳以上を除く各年代で「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が最も高く、50歳代(50.8%)、60～64歳(50.0%)では約5割を占めている。一方、70歳以上では「感じる」と「やや感じる」を合わせた“感じる”(39.3%)が約4割を占めている。

【居住区別】

全ての居住区で「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が最も高いが、白石区(48.8%)、豊平区(49.4%)で高く、一方、厚別区(33.1%)、清田区(32.5%)では「感じる」と「やや感じる」を合わせた“感じる”が3割を超えている。

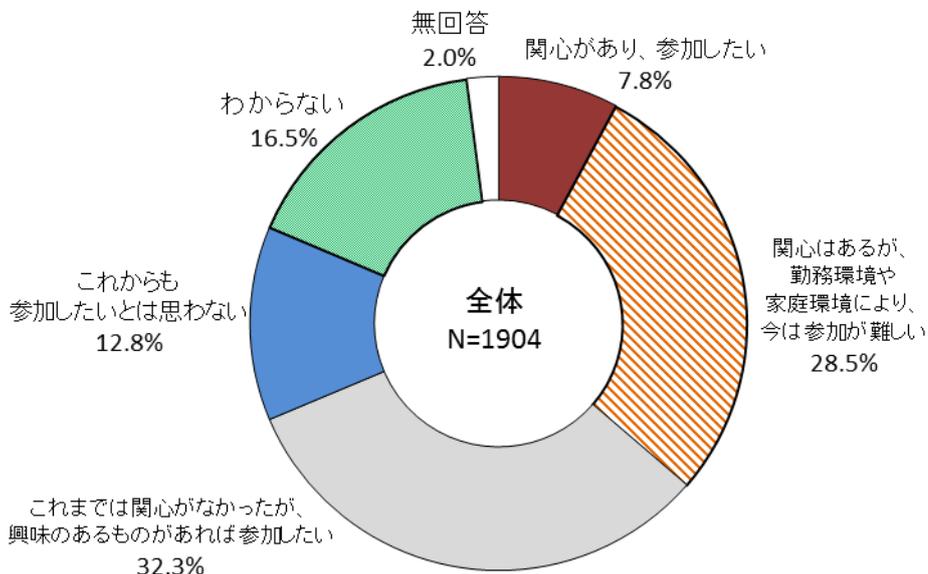
①感じる ②やや感じる ③あまりそう思わない
 ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



・ 市政参加の意志

【問 31】 あなたは、市政に参加したいと思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

市政への参加については、「関心があり、参加したい」(7.8%)と「これまで関心はなかったが、興味のあるものがあれば参加したい」(32.3%)を合わせた“参加したい”(40.1%)が、全体の約4割を占めている。



【対象者全体】

市政への参加については、「これまで関心はなかったが、興味のあるものがあれば参加したい」(32.3%)が最も高く、次いで「関心はあるが、勤務環境や家庭環境により、今は参加が難しい」(28.5%)、「わからない」(16.5%)、「これからは参加したいとは思わない」(12.8%)、「関心があり、参加したい」(7.8%)となっている。

【性別】

男女共に、「関心があり、参加したい」と「これまで関心はなかったが、興味のあるものがあれば参加したい」を合わせた“参加したい”が高いが、男性(43.9%)は女性(37.8%)に比べて高くなっている。

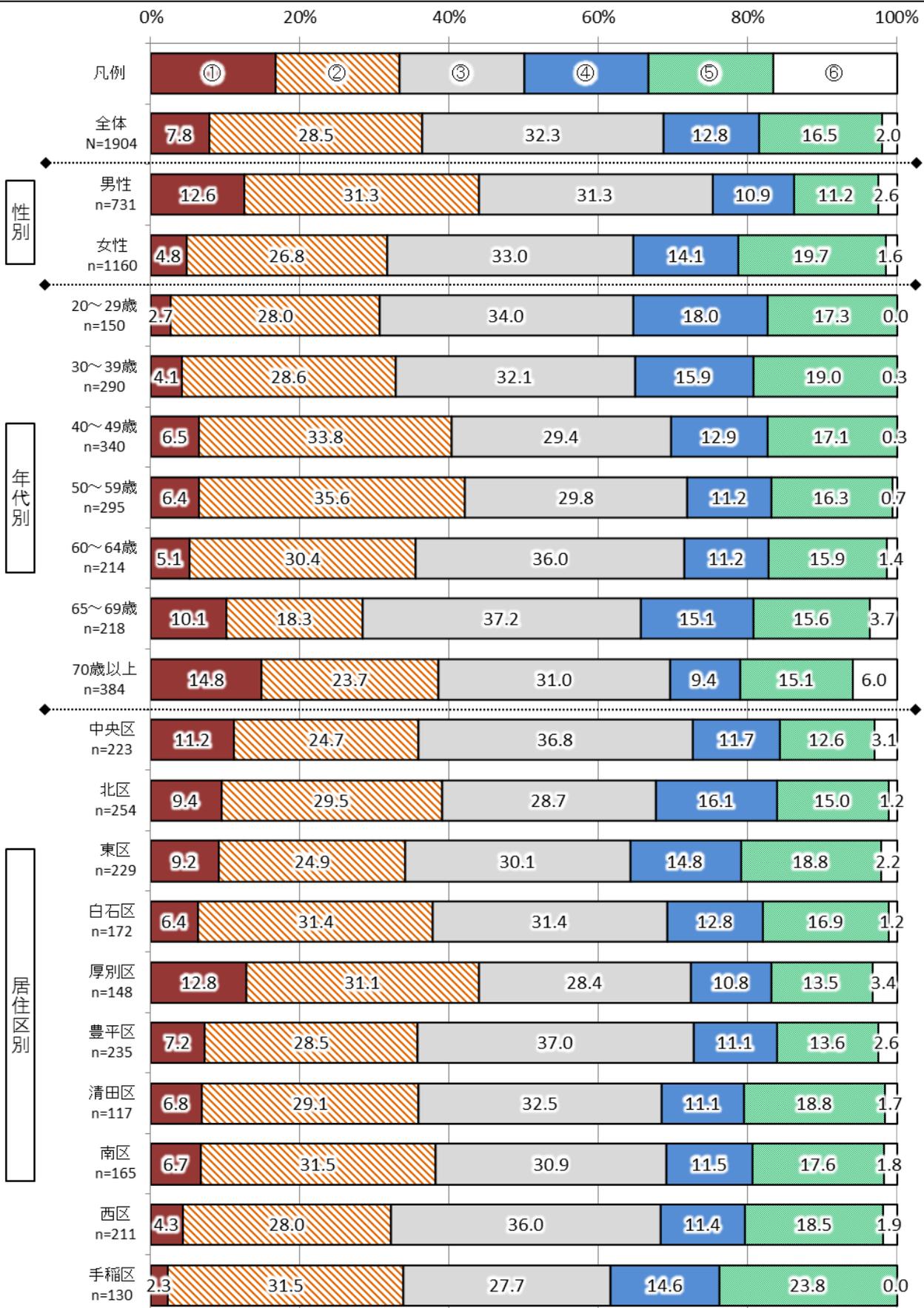
【年代別】

60歳代以上では、“参加したい”が4割を超えるが、20歳代、30歳代では4割弱、一方、40歳代、50歳代では、「関心はあるが、勤務環境や家庭環境により、今は参加が難しい」が高く約3割を超えている。20歳代では「これからは参加したいとは思わない」が2割近くある。

【居住区別】

中央区(48.0%)、豊平区(44.2%)では“参加したい”が4割を超えるが、北区(29.5%)、厚別区(31.1%)、南区(31.5%)、手稲区(31.5%)では「関心はあるが、勤務環境や家庭環境により、今は参加が難しい」が約3割となっている。

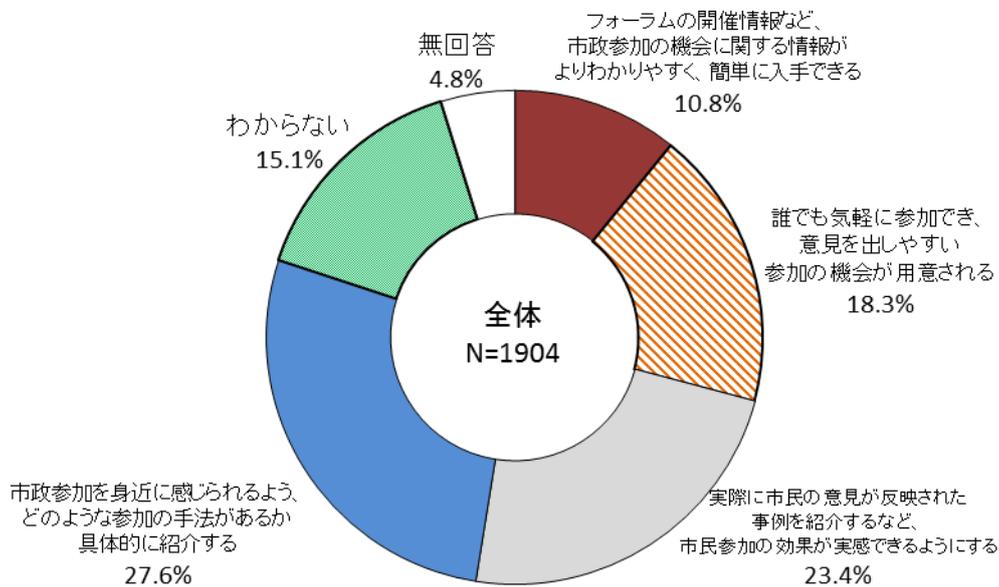
- ①関心があり、参加したい
- ②関心はあるが、勤務環境や家庭環境により、今は参加が難しい
- ③これまでは関心がなかったが、興味のあるものがあれば参加したい
- ④これからも参加したいとは思わない
- ⑤わからない
- ⑥無回答



- ・ 参加しやすくなるために必要なこと

【問32】 今後、より多くの市民が市政に参加しやすくなるためには、どのようなことが必要であると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

市民が市政に参加しやすくなるために必要なことについては、「市政参加を身近に感じられるよう、どのような参加の手法があるのか具体的に紹介する」(27.6%)が全体の約3割を占める。



【対象者全体】

市民が市政に参加しやすくなるために必要なことについては、「市政参加を身近に感じられるよう、どのような参加の手法があるのか具体的に紹介する」(27.6%)が最も高く、次いで「実際に市民の意見が反映された事例を紹介するなど、市民参加の効果が実感できるようにする」(23.4%)、「誰でも気軽に参加でき、意見を出しやすい参加の機会が用意される」(18.3%)、「わからない」(15.1%)、「フォーラムの開催情報など、市政参加の機会に関する情報がよりわかりやすく簡単に入手できる」(10.8%)となっている。

【性別】

上位2項目共に男女による違いはほとんど見られないが、男性では「誰でも気軽に参加でき、意見を出しやすい参加の機会が用意される」もやや高く、女性では「フォーラムの開催情報など、市政参加の機会に関する情報がよりわかりやすく簡単に入手できる」がやや高くなっている。

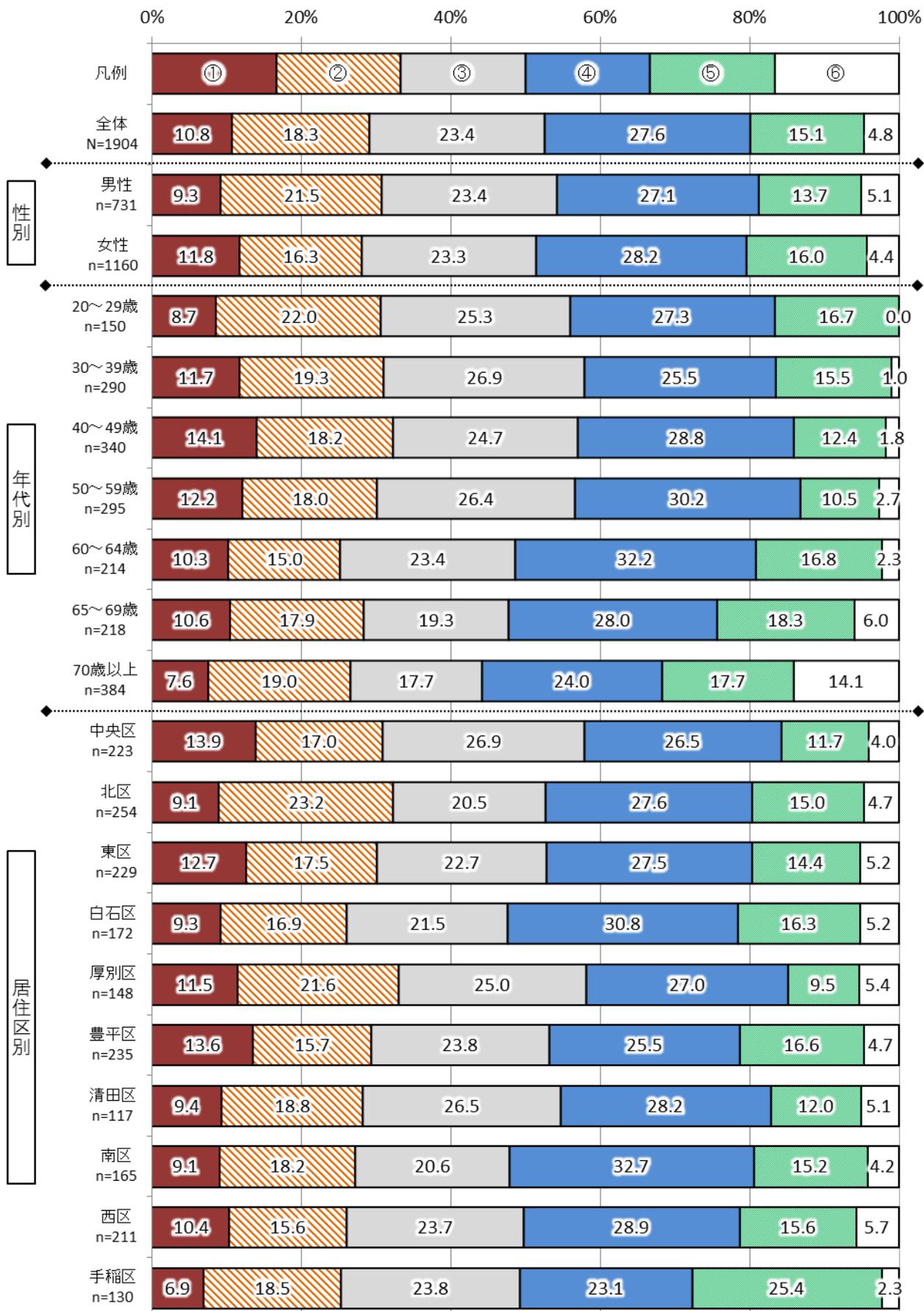
【年代別】

30歳代を除く全ての年代で、「市政参加を身近に感じられるよう、どのような参加の手法があるのか具体的に紹介する」が最も高くなっている。30歳代では、「実際に市民の意見が反映された事例を紹介するなど、市民参加の効果が実感できるようにする」が最も高くなっている。

【居住区別】

全ての居住区で「市政参加を身近に感じられるよう、どのような参加の手法があるのか具体的に紹介する」が最も高く、白石区、南区では3割を超えている。

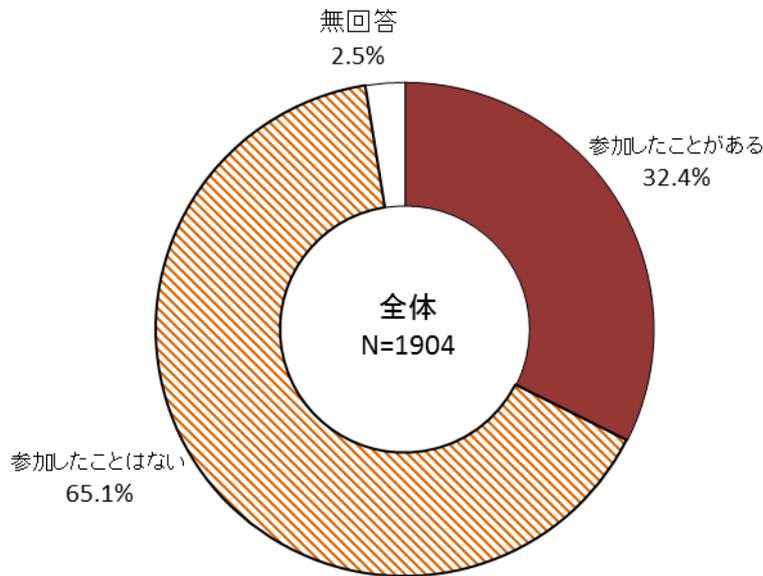
- ①フォーラムの開催情報など、市政参加の機会に関する情報がよりわかりやすく、簡単に入手できる
- ②誰でも気軽に参加でき、意見を出しやすい参加の機会が用意される
- ③実際に市民の意見が反映された事例を紹介するなど、市民参加の効果が実感できるようにする
- ④市政参加を身近に感じられるよう、どのような参加の手法があるか具体的に紹介する
- ⑤わからない
- ⑥無回答



・ まちづくり活動について

【問33】 あなたは、札幌をより快適に過ごせるまちにするため、「まちづくり活動」(問34に挙げる活動や行動)に参加した(取り組んだ)ことがありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。
なお、参加した活動の種類や規模、期間などは問いません。

「まちづくり活動」への参加については、「参加したことはない」(65.1%)が全体の約6割を占めている。



【対象者全体】

「まちづくり活動」への参加については、「参加したことはない」(65.1%)が最も高く、「参加したことがある」(32.4%)は約3割となっている。

【性別】

男女共に「参加したことはない」が最も高く、男女による違いはほとんど見られない。

【年代別】

全ての年代で「参加したことはない」が高く、また年代が下がるに従ってその割合は高く、20歳代では約8割を占める。65歳以上では「参加したことがある」が約4割近くとなっている。

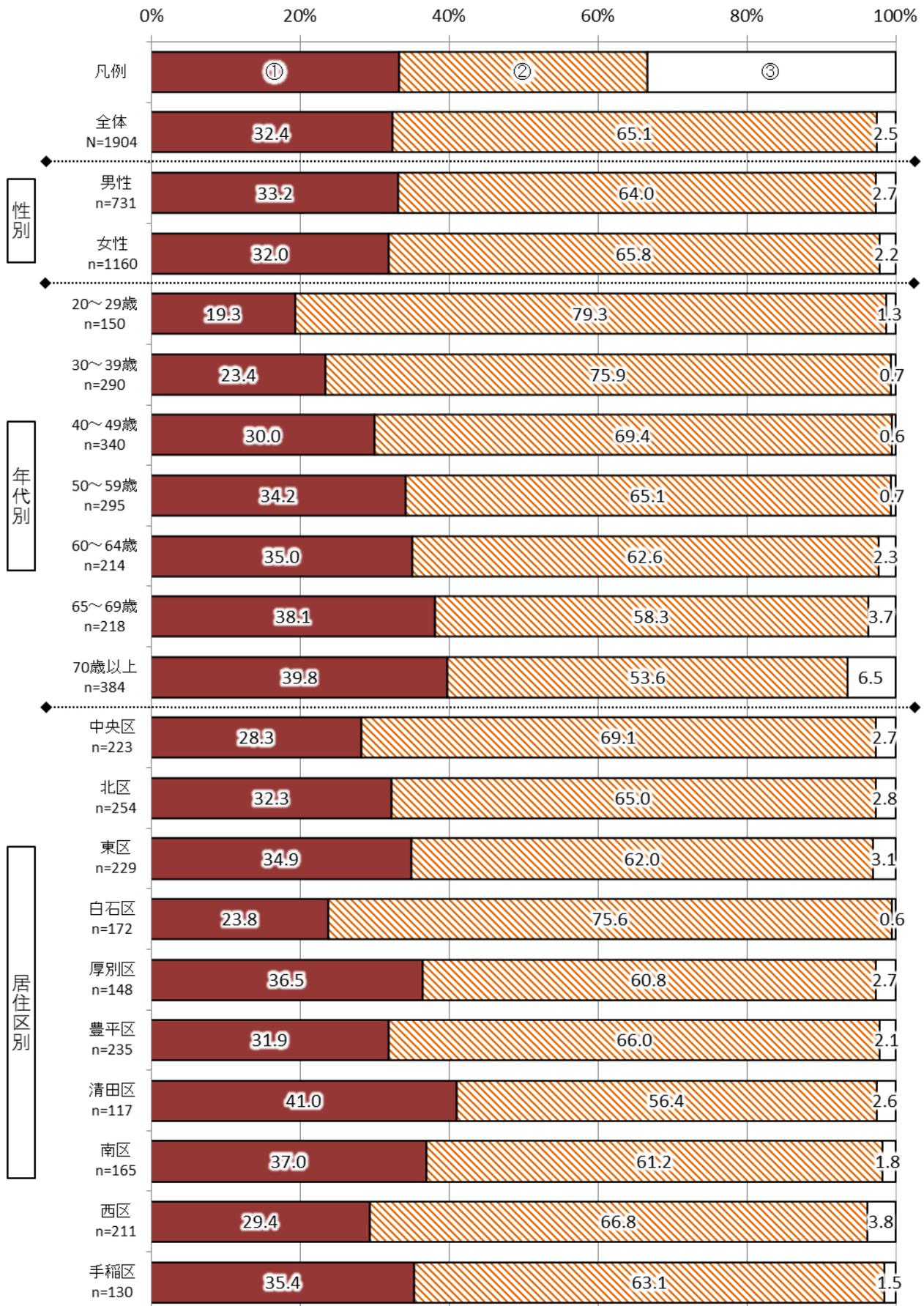
【居住区別】

全ての居住区で「参加したことはない」が高く、白石区(75.6%)では7割を超えている。一方、清田区、南区では「参加したことがある」が約4割となっている。

①参加したことがある

②参加したことはない

③無回答

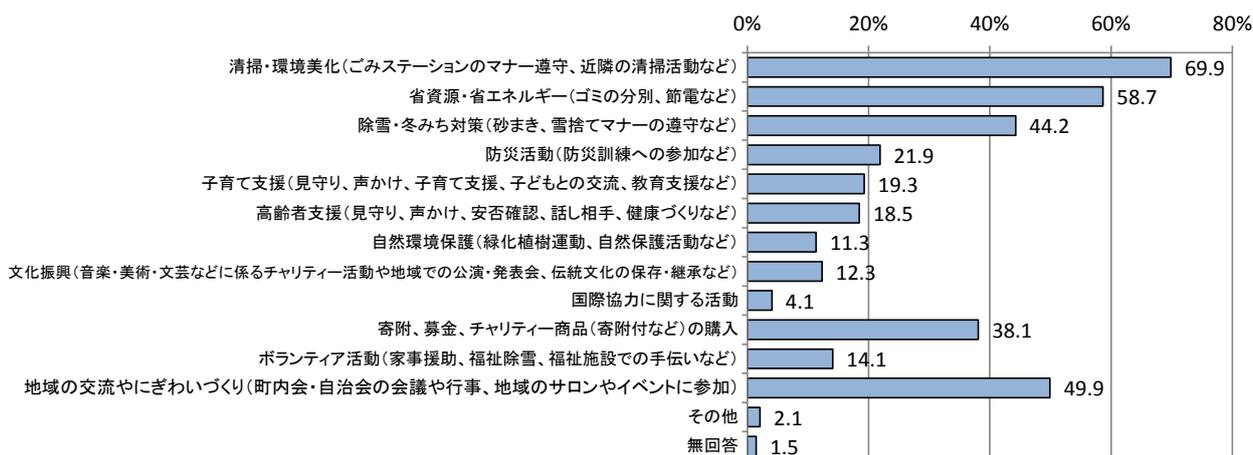


《問 33 で「1. 参加したことがある」と答えた方のみ》

【問 34】 次にあげるまちづくり活動*のうち、あなたが継続的に行っていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

※ まちづくり活動－快適な生活環境の確保、地域社会における安全及び安心の推進など、暮らしやすいまちを実現するための活動・行動。町内会やボランティア団体、NPO、商店街、PTA、地域のサークルなどの団体のほか、家族や個人で行うものも含まれます。

継続的に行っているまちづくり活動については、「清掃・環境美化(ごみステーションのマナー遵守、近隣の清掃活動など)」(69.9%)が全体の約7割を占めている。



【対象者全体】

継続的に行っているまちづくり活動については、「清掃・環境美化(ごみステーションのマナー遵守、近隣の清掃活動など)」(69.9%)が最も高く、次いで「省資源・省エネルギー(ゴミの分別、節電など)」(58.7%)、「地域の交流やにぎわいづくり(町内会・自治会の会議や行事、地域サロンやイベントに参加)」(49.9%)、「除雪・冬みち対策(砂まき、雪捨てマナーの遵守など)」(44.2%)、「寄附、募金、チャリティー商品(寄附付など)の購入」(38.1%)となっている。

【性別】

男女共に「清掃・環境美化」が最も高いが、男性(74.1%)は女性(67.1%)に比べて高く、女性(60.9%)では「省資源・省エネルギー」が男性(55.1%)に比べて高くなっている。

【年代別】

30歳代を除く各年代で「清掃・環境美化」が最も高いが、年代が上がるにつれて高く、スコアの低い20歳代(37.9%)に比べて50歳以上では7割を超え、その差は30ポイント以上となっている。

【居住区別】

中央区、白石区を除く全ての居住区で、「清掃・環境美化」が最も高く、清田区(83.3%)、南区(83.6%)では8割を超えている。一方、中央区では「省資源・省エネルギー」(69.8%)が最も高く、白石区では「地域の交流やにぎわいづくり」(61.0%)、「防災活動」(39.0%)が他区に比べて高くなっている。

表1

(%)

対象者数	清掃・環境美化（ゴミステーションのマナー遵守、近隣の清掃活動など）	省資源・省エネルギー（ゴミの分別、節電など）	除雪・冬みち対策（砂まき、雪捨てマナーの遵守など）	防災活動（防災訓練への参加など）	子育て支援（見守り、声かけ、子育て支援、子どもとの交流、教育支援など）	高齢者支援（見守り、声かけ、安否確認、話し相手、健康づくりなど）	自然環境保護（緑化植樹運動、自然保護活動など）	文化振興（音楽・美術・文芸などに係るチャリティ活動や地域での公演・発表会、伝統文化の保存・継承など）	国際協力に関する活動	寄附、募金、チャリティ商品（寄附付など）の購入	ボランティア活動（家事援助、福祉除雪、福祉施設での手伝いなど）	地域の交流やにぎわいづくり（町内会・自治会の会議や行事、地域のサロンやイベントに参加）	
対象者全体	617	69.9	58.7	44.2	21.9	19.3	18.5	11.3	12.3	4.1	38.1	14.1	49.9
【性別】													
男性	243	74.1	55.1	48.6	26.3	12.3	21.8	16.9	7.8	3.7	34.6	18.5	52.3
女性	371	67.1	60.9	41.2	18.9	24.0	16.4	7.5	15.1	4.0	39.9	11.1	48.5
【年代別】													
20～29歳	29	37.9	31.0	31.0	3.4	13.8	6.9	3.4	13.8	0.0	24.1	20.7	27.6
30～39歳	68	54.4	67.6	36.8	4.4	27.9	14.7	7.4	14.7	4.4	35.3	11.8	33.8
40～49歳	102	57.8	57.8	38.2	14.7	30.4	8.8	8.8	10.8	4.9	42.2	6.9	38.2
50～59歳	101	72.3	68.3	44.6	14.9	11.9	18.8	5.0	8.9	6.9	33.7	14.9	47.5
60～64歳	75	76.0	54.7	46.7	18.7	10.7	10.7	10.7	10.7	2.7	45.3	9.3	57.3
65～69歳	83	75.9	60.2	53.0	31.3	24.1	21.7	16.9	15.7	4.8	38.6	13.3	53.0
70歳以上	153	83.7	55.6	48.4	39.2	15.7	31.4	17.6	13.1	2.0	37.3	20.9	65.4
【居住区別】													
中央区	63	58.7	69.8	39.7	19.0	20.6	19.0	6.3	19.0	9.5	47.6	11.1	36.5
北区	82	73.2	63.4	48.8	24.4	19.5	17.1	18.3	13.4	4.9	45.1	9.8	42.7
東区	80	63.8	60.0	35.0	21.3	20.0	16.3	8.8	7.5	2.5	32.5	16.3	51.3
白石区	41	56.1	36.6	41.5	39.0	26.8	14.6	2.4	14.6	4.9	39.0	19.5	61.0
厚別区	54	68.5	59.3	48.1	13.0	16.7	14.8	11.1	16.7	5.6	38.9	18.5	44.4
豊平区	75	70.7	54.7	40.0	26.7	28.0	17.3	18.7	13.3	2.7	26.7	12.0	52.0
清田区	48	83.3	62.5	56.3	22.9	10.4	18.8	14.6	6.3	0.0	33.3	10.4	58.3
南区	61	83.6	54.1	55.7	24.6	21.3	23.0	8.2	8.2	1.6	41.0	11.5	59.0
西区	62	64.5	53.2	35.5	14.5	12.9	17.7	8.1	9.7	1.6	38.7	16.1	46.8
手稲区	46	78.3	67.4	47.8	15.2	13.0	30.4	10.9	15.2	6.5	34.8	19.6	56.5

対象者全体スコアと比較して10%以上高い

対象者全体スコアと比較して10%以上低い

表2

(%)

対象者数	その他	無回答	
対象者全体	617	2.1	1.5
【性別】			
男性	243	1.2	0.4
女性	371	2.7	2.2
【年代別】			
20～29歳	29	0.0	6.9
30～39歳	68	1.5	2.9
40～49歳	102	3.9	2.0
50～59歳	101	2.0	0.0
60～64歳	75	2.7	0.0
65～69歳	83	3.6	0.0
70歳以上	153	0.7	2.0
【居住区別】			
中央区	63	3.2	1.6
北区	82	2.4	0.0
東区	80	1.3	1.3
白石区	41	2.4	4.9
厚別区	54	1.9	1.9
豊平区	75	5.3	2.7
清田区	48	0.0	2.1
南区	61	1.6	0.0
西区	62	1.6	0.0
手稲区	46	0.0	2.2

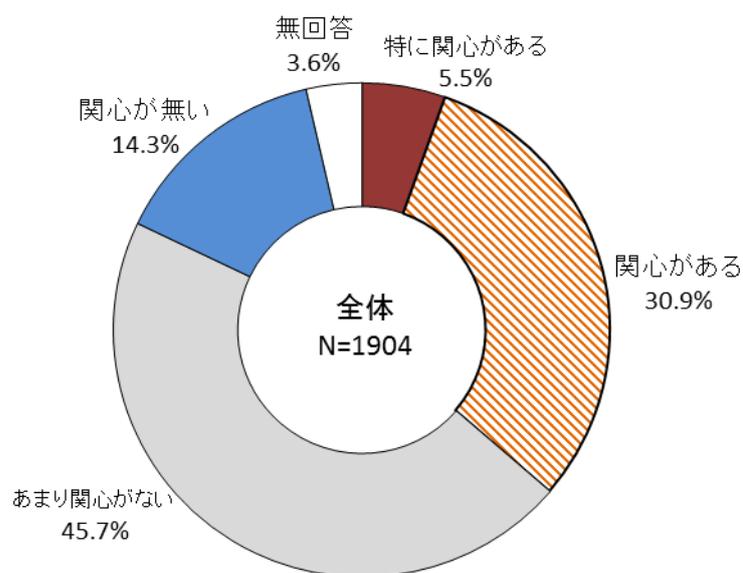
・海外諸都市や外国人との交流について

【問 35】 あなたは、姉妹・友好都市※¹をはじめとした海外諸都市との交流や外国人の方との交流※²に関心がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※1 札幌市の「姉妹・友好都市」は、ポートランド(アメリカ)、ミュンヘン(ドイツ)、瀋陽(中国)、ノボシビルスク(ロシア)、大田(韓国)の5都市です。

※2 「海外諸都市との交流や外国人の方との交流」とは、芸術文化(芸術作品の創作・鑑賞、各国を知るセミナー等)、スポーツ(青少年スポーツ交流等)、観光(外国人観光客のおもてなし、海外での見聞を広める等)、教育(語学、留学等)、経済(企業の進出・誘致、流通の拡大等)など様々な分野における交流を指します。

姉妹・友好都市をはじめとした海外諸都市との交流や外国人との交流については、「あまり関心がない」(45.7%)と「関心がない」(14.3%)を合わせた“関心がない”(60.0%)が全体の6割を占めている。



【対象者全体】

姉妹・友好都市をはじめとした海外諸都市との交流や外国人との交流については、「あまり関心がない」(45.7%)が最も高く、次いで「関心がある」(30.9%)、「関心がない」(14.3%)、「特に関心がある」(5.5%)となっている。

【性別】

男女共に「あまり関心がない」と「関心がない」を合わせた“関心がない”が最も高く、男女による違いはほとんど見られない。

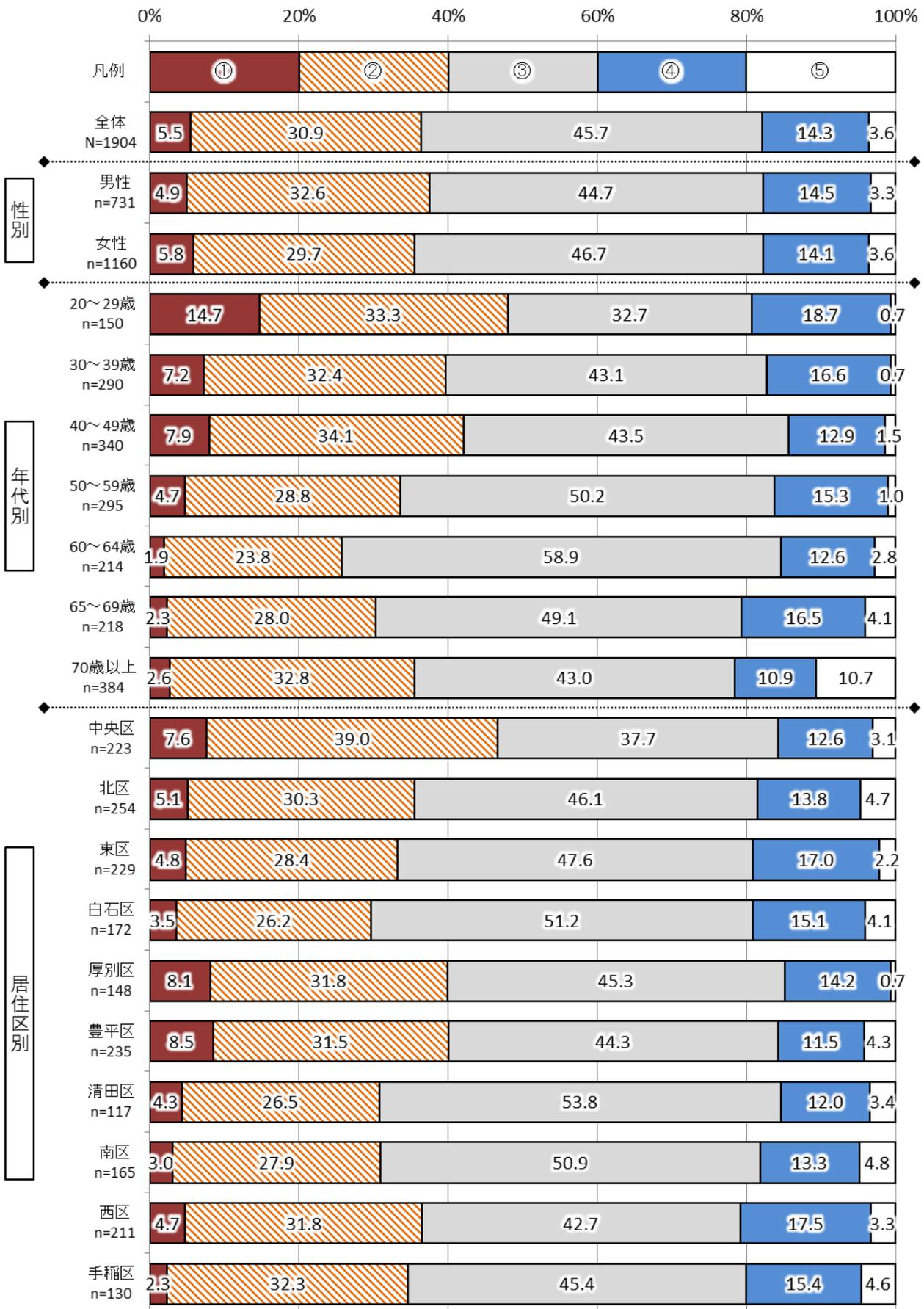
【年代別】

全ての年代で「あまり関心がない」と「関心がない」を合わせた“関心がない”が最も高く、60～64歳では約7割と他の年代に比べて高くなっている。一方、20歳代では「特に関心がある」と「関心がある」を合わせた“関心がある”(48.0%)が他の年代に比べて高くなっている。

【居住区別】

全ての居住区で「あまり関心がない」と「関心がない」を合わせた“関心がない”が最も高いが、白石区(66.3%)清田区(65.8%)では高く、一方、中央区では「特に関心がある」と「関心がある」を合わせた“関心がある”(46.6%)が他の区に比べて高くなっている。

①特に興味がある ②興味がある ③あまり興味がない ④興味がない ⑤無回答

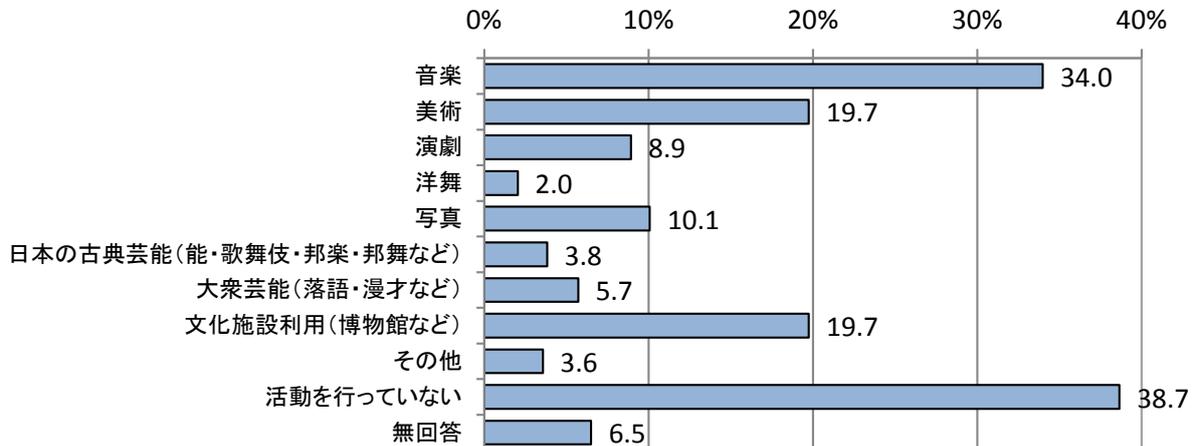


(11) 多彩な文化芸術の創造とスポーツを楽しむ健康づくりを推進するまちづくり

・文化芸術活動について

【問 36】あなたが、この1年間に、趣味などで行った文化芸術活動(実践及び鑑賞)は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

趣味などで行った文化芸術活動(実践及び鑑賞)については、「音楽」(34.0%)が全体の約3割を占めている。



【対象者全体】

趣味などで行った文化芸術活動(実践及び鑑賞)については、「音楽」(34.0%)が最も高く、次いで「美術」(19.7%)、「文化施設利用(博物館など)」(19.7%)、「写真」(10.1%)、「演劇」(8.9%)となっている。一方、「活動を行っていない」(38.7%)は約4割を占めている。

【性別】

男女共に「音楽」が最も高いが、女性は男性に比べて 10 ポイント以上高くなっている。女性では「美術」が、男性では「写真」も高くなっている。一方、「活動を行っていない」は男性(42.8%)が女性(36.3%)に比べて高くなっている。

【年代別】

全ての年代で「音楽」が最も高く、20 歳代(44.0%)では約4割を超えているが、年代が上がるにつれてほぼ低くなっている。一方、30 歳代、50 歳代、60 歳代では「活動を行っていない」が約4割を占めている。

【居住区別】

全ての居住区で「音楽」が最も高いが、スコアの低い手稲区(23.8%)に比べて、中央区(44.8%)は約 20 ポイント高くなっている。中央区(28.7%)、豊平区(24.3%)では「美術」も高く、厚別区(29.1%)では「文化施設利用」が高くなっている。一方、東区、白石区、西区、手稲区では「活動を行っていない」が4割を超えている。

(%)

	対象者数	音楽	美術	演劇	洋舞	写真	日本の古典芸能 (能・歌舞伎・邦楽・邦舞など)	大衆芸能 (落語・漫才など)	文化施設利用 (博物館など)	その他	活動を行っていない	無回答
対象者全体	1904	34.0	19.7	8.9	2.0	10.1	3.8	5.7	19.7	3.6	38.7	6.5
【性別】												
男性	731	25.7	15.5	4.5	1.4	11.9	2.9	6.0	19.7	3.3	42.8	7.0
女性	1160	39.1	22.2	11.7	2.5	9.1	4.4	5.6	19.7	3.8	36.3	5.9
【年代別】												
20～29歳	150	44.0	23.3	7.3	0.7	17.3	4.7	1.3	16.0	0.7	36.7	3.3
30～39歳	290	36.9	18.3	13.1	1.7	16.2	2.4	4.5	16.2	2.8	42.1	2.1
40～49歳	340	35.0	20.0	11.8	3.2	7.1	3.2	5.3	25.3	1.5	38.2	3.5
50～59歳	295	36.3	23.7	9.5	1.7	7.8	2.7	6.1	23.1	2.4	40.0	3.7
60～64歳	214	30.4	18.7	7.9	1.4	7.5	3.7	6.1	17.8	3.3	41.1	6.1
65～69歳	218	29.8	21.6	8.7	4.6	8.3	5.5	5.5	19.7	4.6	40.8	9.6
70歳以上	384	29.7	15.6	4.4	1.0	9.6	5.2	8.6	17.4	7.8	33.9	13.8
【居住区別】												
中央区	223	44.8	28.7	10.8	4.0	9.0	5.8	8.5	26.5	4.5	26.5	6.3
北区	254	34.3	20.5	8.7	1.6	11.8	3.9	7.9	16.1	3.5	39.0	5.9
東区	229	28.8	12.2	8.7	0.9	7.0	2.2	3.9	15.7	4.4	48.5	5.2
白石区	172	30.8	16.3	8.1	1.7	5.8	4.1	4.1	14.5	2.9	43.6	7.0
厚別区	148	42.6	18.2	9.5	2.7	14.2	4.1	4.7	29.1	3.4	33.8	6.8
豊平区	235	37.9	24.3	9.8	2.6	13.2	5.5	6.0	23.0	1.3	35.3	8.1
清田区	117	27.4	21.4	7.7	1.7	11.1	0.9	3.4	14.5	5.1	39.3	3.4
南区	165	36.4	20.6	9.7	2.4	10.9	3.0	6.1	23.0	4.2	35.2	5.5
西区	211	28.0	17.1	7.6	1.9	9.5	2.8	4.7	20.4	3.3	43.6	7.6
手稲区	130	23.8	14.6	7.7	0.8	8.5	3.8	6.9	13.8	4.6	42.3	7.7

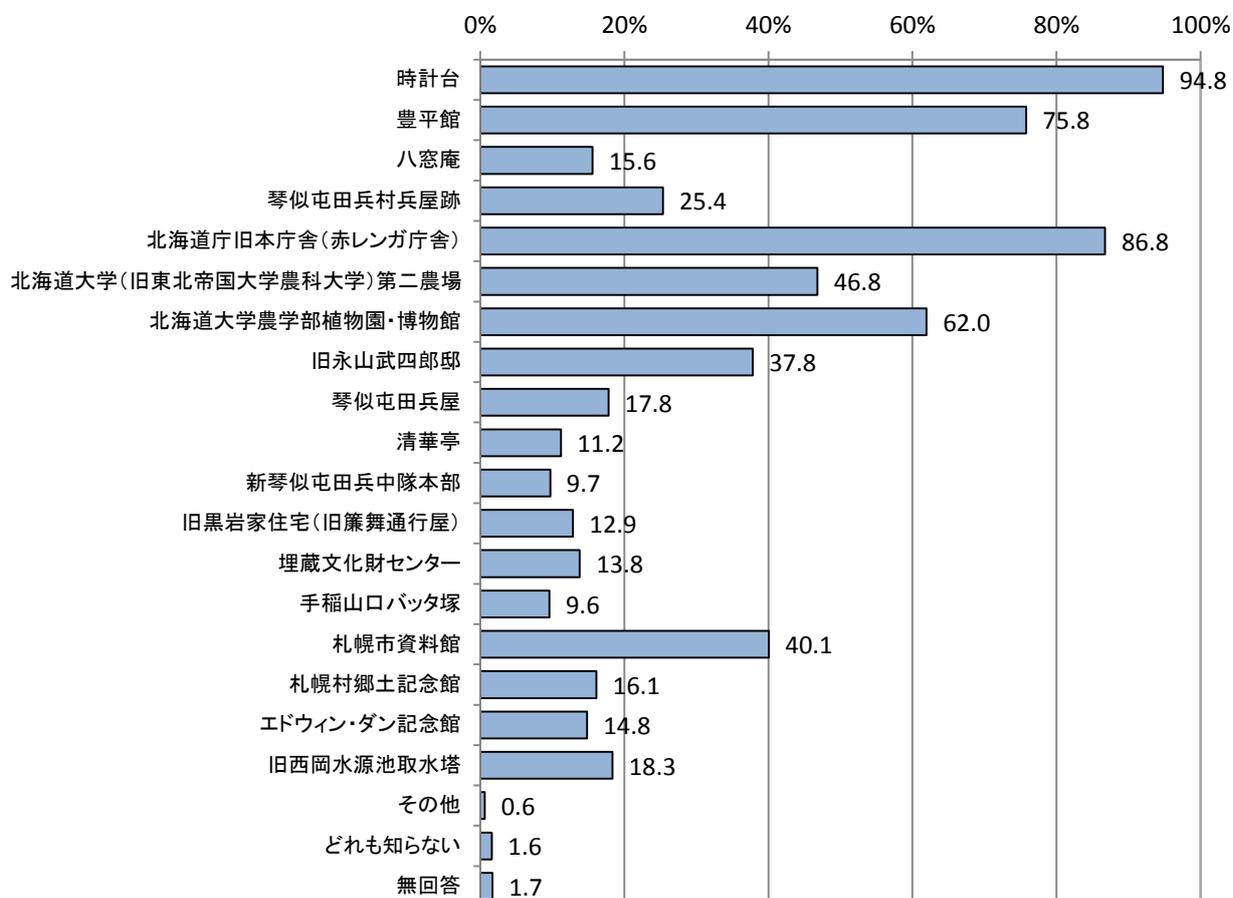
対象者全体スコアと比較して10%以上高い

対象者全体スコアと比較して10%以上低い

・文化財施設の認知状況

【問 37】 札幌市の文化財及び関係施設のうち、あなたが文化財施設として知っているものはありますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

文化財施設として知っているものについては、「時計台」(94.8%)が全体の約9割を占めている。



【対象者全体】

文化財施設として知っているものについては、「時計台」(94.8%)が最も高く、次いで「北海道庁旧本庁舎(赤レンガ庁舎)」(86.8%)、「豊平館」(75.8%)、「北海道大学農学部植物園・博物館」(62.0%)となっている。

【性別】

男女共に「時計台」が最も高く、男女による違いはほとんど見られない。

【年代別】

各年代共に「時計台」が最も高く、次いで「北海道庁旧本庁舎(赤レンガ庁舎)」となっている。20歳代、30歳代で「豊平館」、「八窓庵」は他の年代に比べて低くなっている。

【居住区別】

全ての居住区で「時計台」が最も高く、次いで「北海道庁旧本庁舎(赤レンガ庁舎)」となっている。北区では「新琴似屯田兵中隊本部」が約3割、東区では「札幌村郷土記念館」が約3割、南区では「エドウィン・ダン記念館」が約6割、西区では「琴似屯田兵村屋跡」、「琴似屯田平屋」が約5割、南区では「旧黒岩家住宅」が約4割、「旧西岡水源池取水塔」が約3割、手稲区では「手稲山口バツタ塚」が約4割となっている。

表1

(%)

	対象者数	時計台	豊平館	八窓庵	琴似屯田兵村兵屋跡	北海道庁旧本庁舎（赤レンガ庁舎）	北海道大学（旧東北帝国大学農科大学）第二農場	北海道大学農学部植物園・博物館	旧永山武四郎邸	琴似屯田兵屋	清華亭	新琴似屯田兵中隊本部	旧黒岩家住宅（旧簾舞通行屋）
対象者全体	1904	94.8	75.8	15.6	25.4	86.8	46.8	62.0	37.8	17.8	11.2	9.7	12.9
【性別】													
男性	731	94.8	77.2	14.5	27.9	87.0	52.8	63.1	41.2	21.5	12.4	12.9	15.2
女性	1160	95.0	75.0	16.3	23.6	86.8	43.3	61.6	35.8	15.3	10.4	7.8	11.5
【年代別】													
20～29歳	150	94.0	28.7	3.3	13.3	81.3	37.3	48.7	18.0	7.3	4.7	2.7	2.0
30～39歳	290	94.1	59.0	4.1	16.6	79.7	31.7	48.3	23.4	10.0	5.2	5.9	6.9
40～49歳	340	94.7	76.2	10.0	18.5	88.8	44.1	55.9	36.5	12.4	9.7	5.9	7.1
50～59歳	295	96.3	87.1	15.9	26.1	90.8	46.1	66.1	47.1	16.6	12.5	9.5	14.6
60～64歳	214	97.2	88.3	20.1	31.8	93.9	43.9	65.0	43.9	23.4	14.5	13.6	18.7
65～69歳	218	96.3	88.5	26.1	33.9	89.0	61.5	72.0	48.2	28.9	17.0	12.4	19.3
70歳以上	384	92.7	83.3	24.7	32.6	84.4	58.3	72.7	40.9	22.9	13.0	15.6	18.2
【居住区別】													
中央区	223	96.0	81.2	25.6	19.7	84.8	52.0	69.1	43.5	16.6	16.6	3.6	13.0
北区	254	94.5	71.7	12.6	29.9	90.2	50.4	63.4	32.3	20.5	13.8	30.3	5.9
東区	229	93.0	71.6	14.0	18.8	87.3	43.7	57.6	50.7	11.8	14.8	10.5	9.2
白石区	172	95.9	70.9	14.0	13.4	83.7	39.5	58.7	40.7	10.5	7.6	7.0	8.7
厚別区	148	97.3	74.3	12.2	19.6	94.6	50.0	66.9	35.8	13.5	4.1	8.1	7.4
豊平区	235	92.3	79.6	20.0	12.8	82.6	44.3	57.4	34.0	6.4	8.1	3.0	13.6
清田区	117	95.7	70.1	8.5	17.9	84.6	41.9	50.4	34.2	8.5	6.0	4.3	6.0
南区	165	95.2	81.2	18.2	16.4	84.2	46.7	67.3	40.6	10.3	9.7	4.2	43.0
西区	211	95.3	79.6	15.6	67.8	90.5	54.0	70.1	34.1	53.6	14.2	8.1	14.2
手稲区	130	95.4	76.2	7.7	30.0	86.2	43.1	54.6	28.5	19.2	10.0	12.3	9.2

対象者全体スコアと比較して10%以上高い

対象者全体スコアと比較して10%以上低い

表2

	対象者数	埋蔵文化財センター	手稲山口バツタ塚	札幌市資料館	札幌村郷土記念館	エドウィン・ダン記念館	旧西岡水源池取水塔	その他	どれも知らない	無回答
対象者全体	1904	13.8	9.6	40.1	16.1	14.8	18.3	0.6	1.6	1.7
【性別】										
男性	731	13.4	13.5	37.6	14.2	14.9	19.6	0.7	1.1	1.4
女性	1160	14.1	7.2	41.7	17.2	14.7	17.7	0.6	1.8	1.7
【年代別】										
20～29歳	150	10.0	6.0	24.7	14.0	8.0	6.0	0.0	0.7	2.0
30～39歳	290	9.0	8.3	26.9	13.4	11.0	13.8	0.3	2.8	1.0
40～49歳	340	17.9	9.7	37.4	14.4	14.7	12.4	0.9	1.8	2.1
50～59歳	295	18.6	12.2	46.1	16.6	13.6	20.0	0.3	1.4	0.3
60～64歳	214	12.6	11.2	46.3	20.6	17.8	19.2	0.5	0.5	0.5
65～69歳	218	15.1	9.2	45.0	17.9	21.1	23.4	1.8	0.9	1.8
70歳以上	384	12.0	9.6	47.4	16.4	16.1	26.8	0.5	2.1	3.1
【居住区別】										
中央区	223	24.2	4.5	58.3	15.2	14.8	13.0	0.4	0.4	1.8
北区	254	11.0	11.4	35.0	12.6	6.7	9.8	0.4	2.0	1.2
東区	229	9.6	9.2	40.6	33.2	7.0	14.0	0.0	1.7	2.2
白石区	172	8.7	2.9	36.6	12.2	7.0	14.5	1.2	2.3	1.2
厚別区	148	15.5	4.1	37.2	14.2	8.8	20.9	0.7	1.4	0.7
豊平区	235	12.8	3.0	39.1	11.9	20.0	31.9	0.4	2.6	1.7
清田区	117	9.4	5.1	27.4	16.2	5.1	22.2	0.9	0.9	1.7
南区	165	21.2	3.0	42.4	15.8	61.2	35.8	1.2	1.2	1.8
西区	211	14.7	17.5	45.5	14.7	12.3	14.2	0.9	0.0	2.4
手稲区	130	9.2	43.1	28.5	10.0	6.9	11.5	0.8	3.1	1.5

対象者全体スコアと比較して10%以上高い

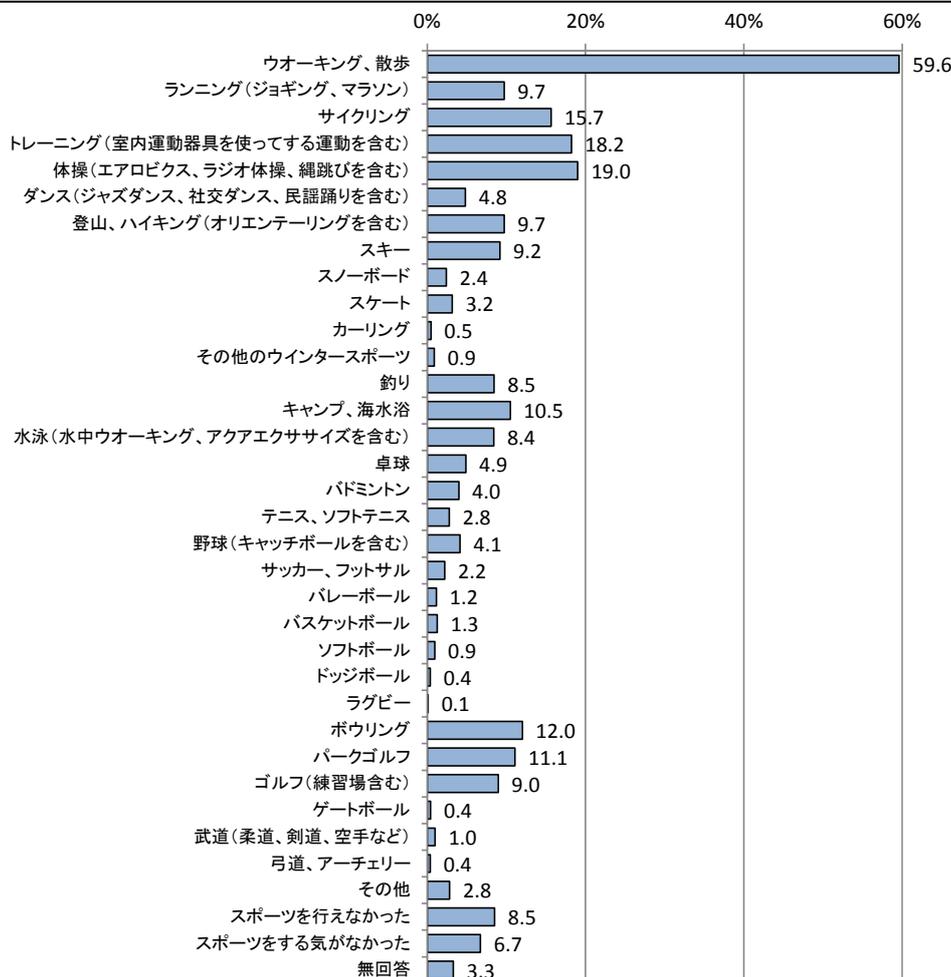
対象者全体スコアと比較して10%以上低い

・ 1年間に行ったスポーツの種類

【問 38】 あなたは、この1年間にスポーツ(運動)を行いましたか。行った場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。

なお、スポーツ(運動)には、健康のための散歩やジョギングなど、軽い運動も含まれます。また、職業として行ったものや、学校の体育の授業は除きます(部活動は含みます)。スポーツを行わなかった場合は、「33」または「34」のいずれかに○をつけてください。

1年間に行ったスポーツ(運動)については、「ウォーキング、散歩」(59.6%)が全体の約6割を占めている。



【対象者全体】

1年間に行ったスポーツ(運動)については、「ウォーキング、散歩」(59.6%)が最も高く、次いで「体操(エアロビクス、ラジオ体操、縄跳びを含む)」(19.0%)、「トレーニング(室内運動器具を使ってする運動を含む)」(18.2%)、「サイクリング」(15.7%)、「ボウリング」(12.0%)、「パークゴルフ」(11.1%)となっている。

【性別】

男女共に「ウォーキング、散歩」が最も高く、男女による違いはほとんど見られない。女性では「体操」(24.2%)が高く、男性では「トレーニング」(20.9%)が高くなっている。

【年代別】

各年代共に「ウォーキング、散歩」が最も高く、65～69歳では7割を超えている。20歳代では「ランニング」、「トレーニング」、「ダンス」、「スノーボード」も高く、30歳代、40歳代では「スキー」や「キャンプ」も高く、70歳以上では「パークゴルフ」も高くなっている。

【居住区別】

全ての居住区で「ウォーキング、散歩」が最も高く、中央区、北区、豊平区、南区では6割を超えている。この他中央区では「サイクリング」、厚別区では「水泳」、「ゴルフ」もやや高くなっている。

表1

(%)

	対象者数	ウォーキング、散歩	ランニング（ジョギング、マラソン）	サイクリング	トレーニング（室内運動器具を使ってする運動を含む）	体操、縄跳びを含む	ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、民謡踊りを含む）	登山、ハイキング（オリエンテーリングを含む）	スキー	スノーボード	スケート	カーリング	その他のウィンタースポーツ
対象者全体	1904	59.6	9.7	15.7	18.2	19.0	4.8	9.7	9.2	2.4	3.2	0.5	0.9
【性別】													
男性	731	59.8	14.1	18.9	20.9	10.8	3.4	11.9	12.4	2.7	2.5	0.4	0.8
女性	1160	59.6	6.9	13.7	16.6	24.2	5.8	8.4	7.2	2.2	3.5	0.5	0.9
【年代別】													
20～29歳	150	52.0	24.7	18.7	24.0	16.7	10.0	8.0	10.7	15.3	4.0	0.7	0.7
30～39歳	290	51.0	15.5	18.3	19.0	18.3	5.2	9.7	16.6	4.8	6.6	0.7	2.4
40～49歳	340	54.4	10.6	19.7	17.1	18.2	1.8	10.6	17.9	2.4	7.4	0.0	0.6
50～59歳	295	62.7	10.2	16.6	19.7	16.9	4.4	7.5	5.4	0.0	1.4	1.0	1.0
60～64歳	214	60.3	2.8	12.6	16.4	21.5	3.3	9.3	3.7	0.0	0.5	0.0	0.0
65～69歳	218	72.9	5.0	16.1	16.1	25.7	6.0	12.8	4.6	0.5	0.9	0.9	0.9
70歳以上	384	63.3	4.4	9.6	17.2	18.0	6.0	10.2	4.2	0.0	0.8	0.3	0.5
【居住区別】													
中央区	223	66.4	11.2	22.0	20.6	20.2	5.4	12.1	11.7	2.2	5.4	0.4	1.8
北区	254	62.2	10.6	17.7	19.7	20.9	7.5	7.5	9.1	3.9	3.9	0.0	0.0
東区	229	55.9	9.6	13.1	15.3	16.6	2.6	7.9	7.4	2.6	2.6	0.0	1.3
白石区	172	55.2	12.2	17.4	15.1	22.7	5.2	6.4	11.0	1.2	4.1	0.6	0.6
厚別区	148	59.5	10.8	19.6	18.9	25.0	6.1	8.1	10.1	0.7	2.0	0.7	1.4
豊平区	235	60.0	7.7	14.0	20.9	13.6	3.4	11.9	6.0	3.0	3.0	0.9	0.4
清田区	117	50.4	6.0	12.0	22.2	17.1	6.0	7.7	10.3	3.4	3.4	0.0	0.9
南区	165	66.1	7.9	12.1	17.0	17.6	3.6	13.3	11.5	3.0	3.0	0.6	1.8
西区	211	59.7	9.5	12.3	15.2	17.5	4.3	10.9	9.0	1.9	0.5	1.4	0.5
手稲区	130	56.2	9.2	15.4	17.7	22.3	5.4	12.3	7.7	0.8	3.8	0.0	0.8

対象者全体スコアと比較して10%以上高い

表2

(%)

	対象者数	釣り	キャンプ、海水浴	水泳（水中ウォーキング、エクササイズを含む）	卓球	バドミントン	テニス、ソフトテニス	野球（キャッチボールを含む）	サッカー、フットサル	バレーボール	バスケットボール	ソフトボール	ドッジボール
対象者全体	1904	8.5	10.5	8.4	4.9	4.0	2.8	4.1	2.2	1.2	1.3	0.9	0.4
【性別】													
男性	731	16.3	12.7	7.3	5.6	4.0	2.9	8.3	4.1	1.1	2.2	1.9	0.5
女性	1160	3.6	9.2	9.2	4.5	4.1	2.8	1.6	1.0	1.2	0.7	0.3	0.3
【年代別】													
20～29歳	150	5.3	16.7	8.0	10.7	10.0	6.7	12.0	7.3	4.7	7.3	3.3	2.0
30～39歳	290	11.0	22.1	12.8	6.9	7.9	3.1	6.9	4.8	1.7	1.4	1.0	0.7
40～49歳	340	10.0	17.9	10.0	4.4	5.9	5.0	5.3	2.6	0.9	1.5	1.5	0.6
50～59歳	295	7.1	4.4	3.7	2.4	2.7	2.7	3.7	2.4	1.7	0.7	0.7	0.0
60～64歳	214	9.8	4.7	9.8	2.8	0.9	2.3	1.9	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0
65～69歳	218	7.8	6.9	8.7	5.5	2.3	0.9	2.3	0.0	0.5	0.9	0.5	0.0
70歳以上	384	7.3	3.1	6.3	4.4	0.8	0.5	0.5	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0
【居住区別】													
中央区	223	4.0	9.9	8.5	4.5	4.9	5.8	3.1	2.7	1.3	1.8	0.4	0.4
北区	254	8.7	9.8	6.3	4.7	3.9	1.6	4.7	1.6	0.4	1.2	2.0	0.4
東区	229	6.6	8.7	7.9	5.2	3.5	0.9	3.1	1.7	1.3	0.4	0.4	0.4
白石区	172	11.0	11.0	9.9	5.2	4.1	2.3	5.2	4.1	1.2	2.9	1.2	1.2
厚別区	148	6.8	10.8	14.9	6.8	5.4	3.4	6.1	3.4	1.4	1.4	1.4	0.7
豊平区	235	7.2	10.6	8.1	3.4	3.4	3.8	3.4	2.1	1.3	0.9	1.7	0.0
清田区	117	8.5	11.1	6.8	2.6	2.6	1.7	6.8	0.9	0.9	1.7	0.0	0.0
南区	165	12.1	14.5	6.1	4.2	7.3	3.0	3.0	2.4	2.4	0.6	1.2	0.0
西区	211	9.5	10.9	10.0	7.1	1.4	3.8	4.3	1.4	1.4	1.4	0.5	0.5
手稲区	130	13.8	10.0	7.7	5.4	4.6	0.8	3.8	2.3	0.0	0.8	0.0	0.0

対象者全体スコアと比較して10%以上高い

表3

(%)

	対象者数	ラグビー	ボウリング	パークゴルフ	ゴルフ（練習場合含む）	ゲートボール	武道（柔道、剣道、空手など）	弓道、アーチェリー	その他	スポーツを行えなかった	スポーツをする気がなかった	無回答
対象者全体	1904	0.1	12.0	11.1	9.0	0.4	1.0	0.4	2.8	8.5	6.7	3.3
【性別】												
男性	731	0.3	16.3	16.0	17.5	1.0	1.5	0.5	1.8	7.4	3.8	3.0
女性	1160	0.0	9.4	8.0	3.7	0.1	0.6	0.3	3.5	9.2	8.6	3.3
【年代別】												
20～29歳	150	0.0	28.7	4.0	5.3	0.0	2.7	0.7	4.0	10.0	5.3	0.0
30～39歳	290	0.0	15.9	2.4	7.2	0.0	1.0	0.3	3.1	10.0	8.3	0.3
40～49歳	340	0.0	14.7	4.4	6.5	0.0	1.8	0.6	2.9	7.6	8.8	2.6
50～59歳	295	0.0	14.2	7.1	10.2	0.0	1.0	0.3	2.7	7.5	7.8	1.7
60～64歳	214	0.5	6.1	19.6	16.4	0.5	0.5	0.5	1.9	11.7	7.9	2.8
65～69歳	218	0.5	7.3	17.0	9.2	0.0	0.0	0.5	2.8	5.5	4.6	4.1
70歳以上	384	0.0	4.9	21.6	9.1	1.8	0.3	0.0	2.9	8.3	4.2	7.8
【居住区別】												
中央区	223	0.0	10.3	5.4	9.9	0.0	1.8	0.4	2.7	5.8	6.3	3.1
北区	254	0.4	12.2	11.8	5.9	0.8	1.6	0.4	3.5	5.5	5.1	3.9
東区	229	0.0	9.2	12.7	7.4	0.9	0.9	0.0	3.5	10.5	6.1	3.5
白石区	172	0.0	14.5	16.9	8.7	0.0	1.7	0.6	1.7	7.6	7.6	2.9
厚別区	148	0.0	18.9	10.1	14.9	0.7	0.0	0.0	2.0	6.8	5.4	2.0
豊平区	235	0.4	16.2	10.2	7.7	0.4	1.3	0.4	3.4	8.5	8.1	2.1
清田区	117	0.0	9.4	12.0	9.4	0.0	0.0	0.9	3.4	13.7	7.7	1.7
南区	165	0.0	10.9	10.3	10.3	1.2	0.6	0.6	3.6	7.3	4.2	3.6
西区	211	0.0	10.4	12.8	8.1	0.0	0.0	0.5	2.4	10.0	10.0	4.3
手稲区	130	0.0	9.2	10.8	12.3	0.0	0.8	0.0	1.5	13.1	6.2	4.6

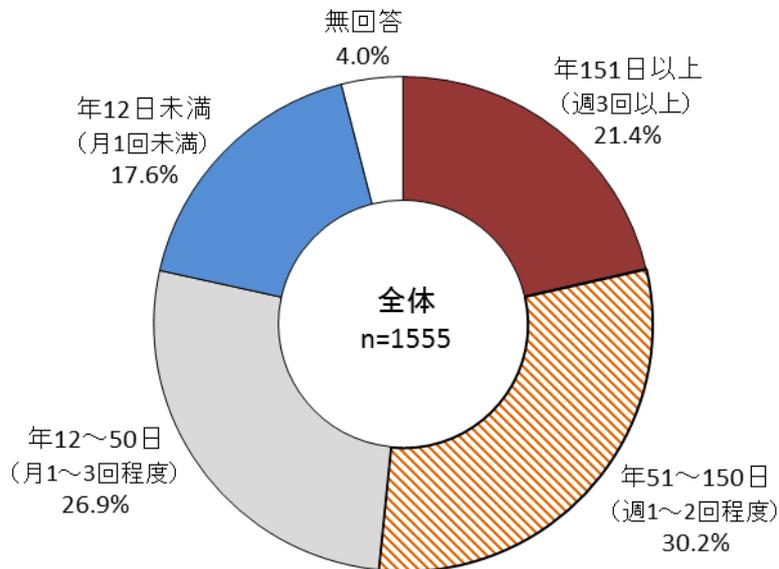
対象者全体スコアと比較して10%以上高い

・ スポーツの頻度

<問 38 で「1」から「32」までのいずれかに○をつけた方のみ>

【問 39】 あなたが、問 38 で答えたスポーツを行った日数を全部合わせると、1年間で何日くらいになりますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1年間でスポーツを行った日数については、「年 51～150 日(週 1～2 回程度)」(30.2%)が全体の約3割を占めている。



【対象者全体】

1年間でスポーツを行った日数については、「年 51～150 日(週1～2回程度)」(30.2%)が最も高く、次いで「年 12～50 日(月1～3回程度)」(26.9%)、「年 151 日以上(週3回以上)」(21.4%)、「年 12 日未満(月1回未満)」(17.6%)となっている。

【性別】

男性は「年 12～50 日(月1～3回程度)」(30.5%)が最も高く、女性は「年 51～150 日(週1～2回程度)」(30.8%)が最も高くなっている。

【年代別】

20 歳代、30 歳代、40 歳代では「年 12～50 日(月1～3回程度)」が最も高くなっている。一方、60～64 歳、70 歳以上では「年 51～150 日(週1～2回程度)」が最も高く、65～69 歳では「年 151 日以上(週3回以上)」が最も高くなっている。50 歳代では「年 12～50 日(月1～3回程度)」、「年 51～150 日(週1～2回程度)」が同程度となっている。

【居住区別】

白石区を除く全ての居住区で、「年 51～150 日(週1～2回程度)」が最も高くなっている。白石区では「年 12～50 日(月1～3回程度)」が最も高く、手稲区では「年 12～50 日(月1～3回程度)」が「年 51～150 日(週1～2回程度)」と同程度となっている。

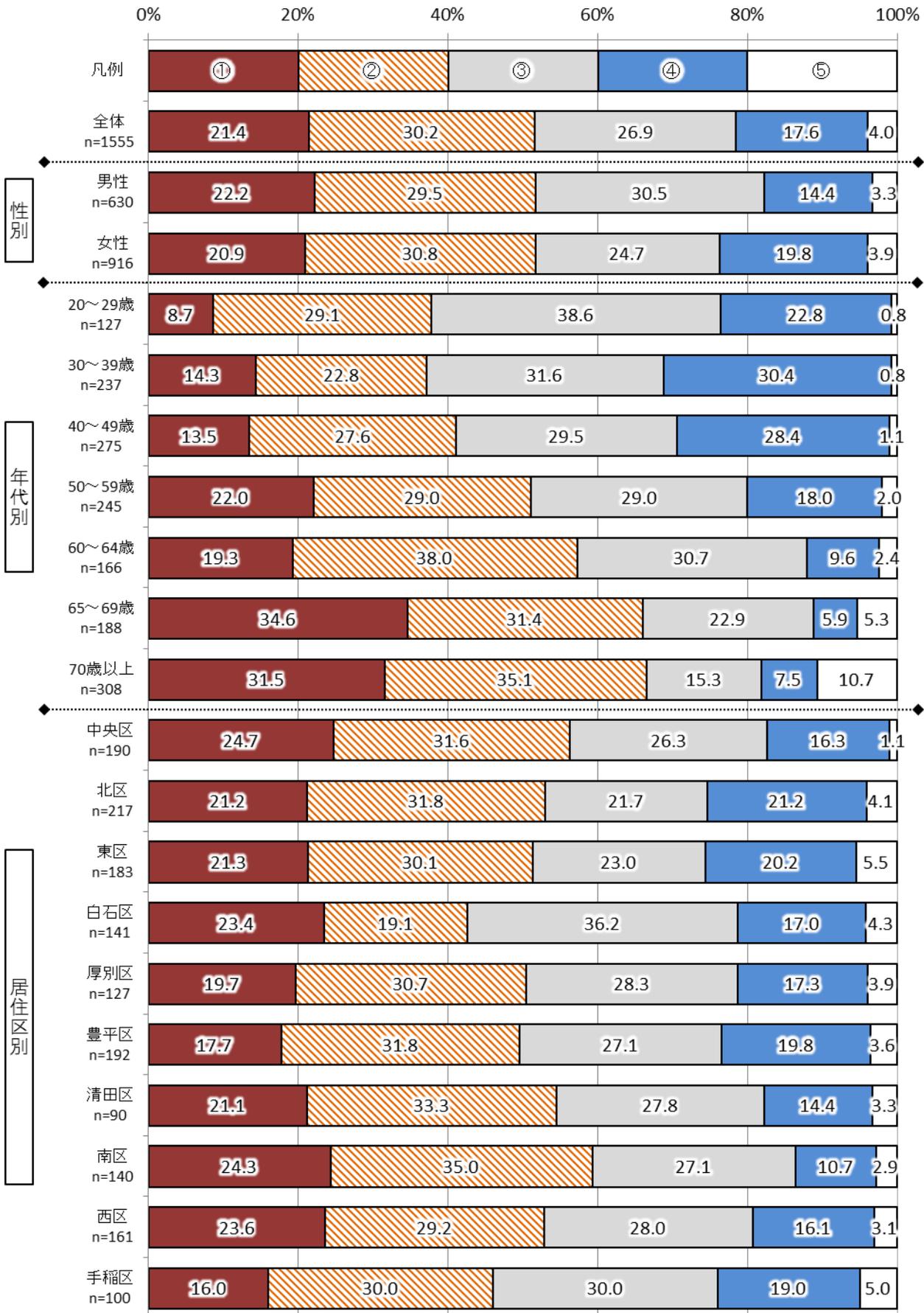
①年151日以上(週3回以上)

②年51~150日(週1~2回程度)

③年12~50日(月1~3回程度)

④年12日未滿(月1回未滿)

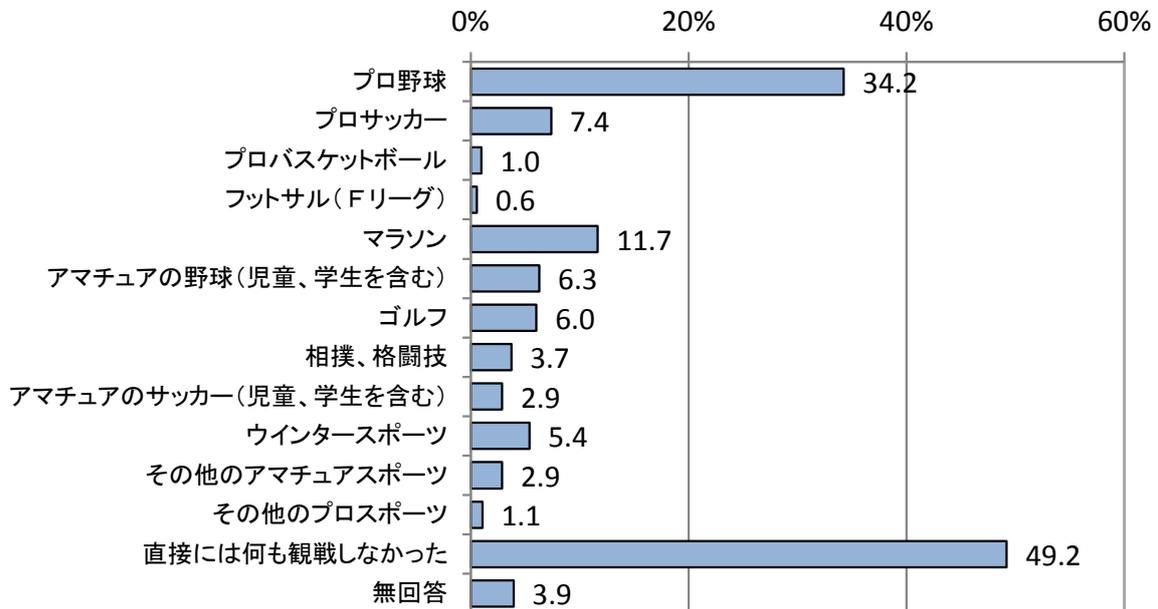
⑤無回答



・ スポーツ観戦について

【問 40】 あなたは、この1年間に(テレビなどではなく)直接スポーツを観戦しましたか。観戦した場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。なお直接には何も観戦しなかった方は「13」だけに○をつけてください。

直接スポーツを観戦したかについては、「プロ野球」(34.2%)が全体の約3割を占めている。



【対象者全体】

直接スポーツを観戦したかについては、「プロ野球」(34.2%)が最も高く、次いで「マラソン」(11.7%)、「プロサッカー」(7.4%)となっている。一方、「直接には何も観戦しなかった」(49.2%)が約5割を占めている。

【性別】

男女共に「プロ野球」が最も高いが、男性(39.4%)は女性(31.3%)に比べて高く、他の項目でも女性よりも高くなっている。

【年代別】

各年代共に「プロ野球」が最も高く、年代が上がるにつれて高くなっていく。65～69歳では「マラソン」(22.5%)、20歳代では「プロサッカー」(10.7%)が他の年代に比べると高くなっている。一方、20歳代、30歳代では「直接何も観戦しなかった」が約6割を占め他の年代に比べて高くなっている。

【居住区別】

全ての居住区で「プロ野球」が最も高いが、スコアの低い手稲区(29.2%)、中央区(30.9%)に比べると豊平区(44.3%)、清田区(43.6%)は10ポイント以上高くなっている。一方、中央区(53.4%)、西区(55.0%)では「直接何も観戦しなかった」が他の区に比べてやや高くなっている。

表1

(%)

	対象者数	プロ野球	プロサッカー	プロバスケットボール	フットサル（フリーグ）	マラソン	アマチュアの野球（児童、学生を含む）	ゴルフ	相撲、格闘技	アマチュアのサッカー（児童、学生を含む）	ウィンタースポーツ	その他のアマチュアスポーツ	その他のプロスポーツ
対象者全体	1904	34.2	7.4	1.0	0.6	11.7	6.3	6.0	3.7	2.9	5.4	2.9	1.1
【性別】													
男性	731	39.4	9.0	1.1	0.7	14.5	10.5	10.5	4.9	3.7	6.2	2.5	1.0
女性	1160	31.3	6.5	0.9	0.5	9.9	3.7	3.3	3.0	2.4	5.0	3.1	1.2
【年代別】													
20～29歳	150	25.3	10.7	1.3	0.7	8.0	2.7	0.7	2.7	2.7	7.3	1.3	0.7
30～39歳	290	29.7	5.5	1.0	0.3	3.8	4.5	2.1	1.0	3.8	3.1	2.8	1.4
40～49歳	340	32.9	8.5	1.5	1.5	8.2	7.4	3.2	2.6	4.4	5.3	5.3	1.2
50～59歳	295	38.3	8.8	1.7	0.7	9.2	6.1	4.7	1.0	3.4	5.1	4.1	1.7
60～64歳	214	37.4	7.9	0.5	0.5	13.6	4.7	11.2	4.2	2.3	7.0	1.9	0.5
65～69歳	218	37.6	6.4	0.0	0.0	22.5	6.9	9.2	6.4	0.9	6.0	1.4	1.8
70歳以上	384	36.5	6.0	0.8	0.3	16.9	8.9	10.2	7.6	2.1	5.7	2.1	0.5
【居住区別】													
中央区	223	30.9	7.6	1.3	0.4	10.8	4.9	7.2	4.0	0.9	4.9	1.3	1.3
北区	254	31.9	6.7	0.8	0.8	14.6	5.9	5.5	4.7	3.1	5.5	3.1	0.8
東区	229	32.8	6.1	0.4	0.4	9.6	9.6	3.9	2.2	3.5	4.8	2.2	0.4
白石区	172	31.4	7.6	0.0	0.0	14.0	5.8	7.6	4.1	1.2	5.2	3.5	1.7
厚別区	148	35.8	6.8	2.0	0.7	6.8	4.7	4.7	2.0	4.7	4.1	3.4	0.0
豊平区	235	44.3	9.4	1.3	0.9	13.6	4.7	6.0	2.6	2.6	5.5	3.8	2.1
清田区	117	43.6	7.7	1.7	0.0	7.7	6.8	7.7	5.1	5.1	4.3	0.9	0.9
南区	165	35.2	9.1	0.6	0.6	12.7	9.7	7.9	4.2	3.0	8.5	6.7	1.2
西区	211	31.3	6.6	1.4	0.9	10.9	6.6	4.7	4.7	3.3	4.7	3.3	1.4
手稲区	130	29.2	6.9	0.8	0.8	13.8	4.6	6.9	3.8	1.5	6.9	0.0	0.8

対象者全体スコアと比較して10%以上高い

表2

(%)

	対象者数	直接には何も観戦しなかった	無回答
対象者全体	1904	49.2	3.9
【性別】			
男性	731	44.5	2.6
女性	1160	52.7	4.1
【年代別】			
20～29歳	150	62.7	1.3
30～39歳	290	59.0	0.7
40～49歳	340	47.9	1.2
50～59歳	295	46.8	1.4
60～64歳	214	50.0	5.6
65～69歳	218	40.8	5.5
70歳以上	384	44.3	8.6
【居住区別】			
中央区	223	53.4	0.9
北区	254	49.2	4.3
東区	229	52.0	3.1
白石区	172	50.0	2.9
厚別区	148	49.3	5.4
豊平区	235	40.9	3.8
清田区	117	44.4	5.1
南区	165	46.7	2.4
西区	211	55.0	3.3
手稲区	130	51.5	6.9

対象者全体スコアと比較して10%以上高い

調 査 票

平成 25 年度 札幌市 事業の効果に関する市民意識調査 ～アンケート調査へのご協力をお願いします～

日ごろから、札幌市政にご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

札幌市では、様々な事業を実施しておりますが、より良い事業推進のためには、その取り組みの効果や成果を的確に把握し、今後の改善や見直しにつなげていく必要があります。

効果や成果の把握としては、例えばイベントにおける入場者数など、札幌市が直接把握できるもののほか、事業を通じて提供されるサービスの利用者満足度など、市民の皆様にお聞きしなければ把握できないものもあることから、このたび、アンケートにより市民の皆様にお伺いさせていただくものです。

突然のお願いで恐縮ではありますが、趣旨をご理解いただき、可能な限りご回答くださいますようお願いいたします（なお、ご事情により回答できない場合には、ご回答いただかなくて構いません）。

調査の項目は札幌市の計画（第3次札幌新まちづくり計画^{※1}の「さっぽろ“えがお”指標」^{※2}）に関する設問が中心となっており、本調査の結果は当該計画の進捗管理に使用させていただきます。

※1 第3次札幌新まちづくり計画

札幌をもっと暮らしやすく魅力的な街にするために、平成 23～26 年度の 4 年間に、優先的・重点的に取り組むことを定めた札幌市の仕事の計画。

※2 「さっぽろ“えがお”指標」

まちづくりを担う市民・企業・行政などの各主体共通の目標を具体的かつ分かりやすく示すために設けた成果指標。

●市民の皆様にご協力いただきたいこと

本調査票にご記入のうえ、同封の返信用封筒に入れて返信してください。

●今回のアンケートの対象者の選び方

市民の皆様の中から 5,000 人を、くじびきのような方法（無作為抽出）で選ばせていただきました。

●今回お送りしたもの

事業の効果に関する市民意識調査（この冊子）、返信用封筒

●プライバシーの保護には十分配慮します

この調査は、皆様から無記名でご回答いただくものであり、その結果は統計的に処理し、「こういうご意見が何%」というように数値や表としてまとめますので、個人のお名前を公表することはありません。また、調査をお願いした方の名簿を公表することはありません。

◆◆◆ご回答にあたって◆◆◆

ご使用いただく筆記用具は、どのようなものでもかまいません。

ご回答は、あてはまる所（番号）に○印をつけるか、あるいは具体的な内容をご記入ください。記入が終わった調査票は、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに平成 26 年 2 月 26 日（水）までに、郵便ポストへ投函してください。

本調査についてのご不明な点などがございましたら

札幌市市長政策室 改革推進部推進課 担当：細川・横尾 Tel011-211-2061 まで

平成 25 年度 札幌市
事業の効果に関する市民意識調査 調査票

札幌市が取り組みを行っている各事業についてお聞きします。

子どもを生き育てやすい環境づくり

問1 札幌市は、子どもを生き育てやすい環境にあると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

問2 札幌市は、子どもと子育て家庭が暮らしやすいまちとして、住んでいる地域の住環境や公共施設が子どもや子育て家庭に配慮されていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

問3 あなたは、「仕事」と「家事（育児）、プライベートなどの生活」の調和がとれていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

問4 札幌市は、安心して妊娠・出産できる環境が整っていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

問5 この設問は **18歳以下のお子さん**がいる方にお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) あなたは、子育てに関して不安や負担を感じますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. いつも感じる 2. どちらかといえば感じることは多い
3. どちらかといえば感じることは少ない 4. 感じることはない
5. どちらとも言えない

(2) この設問は (1) で「1. いつも感じる」、「2. どちらかといえば感じることは多い」と答えた方にお聞きします。どのようなことに不安や負担を感じますか（三つまで○）。

1. 子どもの心身の発育・発達に関すること
2. 子どもの友達つきあいに関すること（いじめなど）
3. 子どもの外遊びや登校など目の届かない時の安全に関すること
4. 経済動向や環境・エネルギー問題などの社会情勢を背景とした将来への不安
5. 肉体的・精神的な疲れなどに伴う自分自身の健康のこと
6. 子どものしつけや教育に関すること
7. 子育てに関する話し相手や相談相手がいないこと
8. 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと
9. 子育てに関して協力者がいないこと
10. 子育てに伴う経済的な不安、負担
11. 特に理由のない漠然とした不安
12. その他（)

問6 この設問は**18歳以下のお子さん**がいる方にのみお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) あなたは、子育てについての相談が必要な時、札幌市の相談体制は整っていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

(2) この設問は(1)で「3. あまりそう思わない」、「4. 全くそう思わない」と答えた方にお聞きします。札幌市の子育てについての相談体制として、積極的に取り組んでほしいことは何ですか(三つまで○)。

1. 相談窓口の場所や特徴をわかりやすく情報提供する
2. 子育てについて幅広く相談できる身近な相談窓口を増やす
3. 専門的な相談に応じてくれる窓口を増やす
4. 夜間・休日にも相談できる体制を充実させる
5. 相談員の質(丁寧な対応、知識、専門性)を向上させる
6. 問題が解決するまで適切に対応する体制を整える
7. 積極的に取り組んでほしいことはない
8. その他()

問7 この設問は**就学前のお子さん**がいる方にのみお聞きします。あなたは、この1年間に、希望した時期に、希望した保育サービス※を利用することができましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ ここでいう「保育サービス」とは、認可保育所への入所のほか、延長保育、病児・病後児保育などあらゆる保育サービスを含みます。

1. 利用できた 2. 利用できなかった 3. 利用する必要がなかった

問8 この設問は**保護者が共働きなどで小学生のお子さんが放課後に家に1人でいられないご家庭の方**にのみお聞きします。札幌市は、子どもが、安全に放課後を過ごす場所が確保されていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実

問9 あなたは、現在の札幌市が、子どもにとって、自然・社会・文化などの体験をしやすい環境であると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

問10 札幌市は、特別な配慮が必要な子ども※の支援体制が整っていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ 「特別な配慮が必要な子ども」とは、この場合、「虐待など不適切な養育環境で育った子どもや障がいのある子ども、ひとり親家庭の子ども」などのことを指しています。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

問 11 あなたは、今の札幌市では、子どもの権利※が守られていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ 「子どもの権利」とは、子どもがのびのびと過ごし、健やかに成長・発達していくために守らなければならない子どもにとっての基本的な権利であり、札幌市では「安心して生きる権利」「自分らしく生きる権利」「豊かに育つ権利」「参加する権利」の4つとしています。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

市民とともに災害に備えるまちづくり

問 12 あなたのご家庭では、地震などの災害に備えてどのような対策をとっていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 家具などを固定する 2. 家屋・塀などを補強する
3. 家族の役割を話し合う 4. 非常持ち出し品を用意する
5. 災害時の心得や地震などの自然災害の知識を深める
6. 避難方法・最寄の避難場所を確認する
7. その他 () 8. 特に何もしていない

地域で支え合う、健やかでぬくもりあふれる生活への支援

問 13 この設問は **65歳以上の方**にのみお聞きします。各項目についてお答えください。

あなたは、年間を通してどのくらいの頻度で外出をしていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. ほぼ毎日 2. 週に4～5日 3. 週に2～3日 4. 週に1日
5. 2週に1日 6. 月に1日 7. ほとんど外出しない

問 14 障がいのある方にとっての地域での暮らしやすさについてお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) あなた、または同居のご家族で障がいのある方はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 本人 2. 配偶者 3. 子または子の配偶者 4. 親または配偶者の親 5. いない

(2) 札幌市は、障がいのある方にとって地域で暮らしやすいまちであると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

安心のある暮らしの確保に向けた環境の充実

問 15 札幌市は、「犯罪のない安全に安心して暮らせるまち」だと思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

<この設問は、問 15 で「3. あまりそう思わない」、「4. 全くそう思わない」と答えた方にお聞きします。>

問 16 札幌市内の刑法犯認知件数※は平成 13 年の 41,290 件から毎年減少し、平成 24 年は 21,283 件と平成 13 年の約半数になっていますが、札幌市が「犯罪のない安全に安心して暮らせるまち」ではないと思っ
た理由は何ですか。あてはまるものに○を付けてください。(二つまで選択可)

※ 刑法犯認知件数：警察において、被害の届出・告訴・告発を受理するなど、刑法犯の発生を確認した件数

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 札幌市内の犯罪が増えていると思っていたから |
| 2. 自分がまきこまれるかもしれない身近な犯罪が増えていると感じるから |
| 3. 自分や自分の身近で犯罪被害があったから |
| 4. ニュース等で札幌市内で発生した犯罪を頻繁に見るから |
| 5. 地域のつながりが希薄で周りに無関心となっており、安心できないから |
| 6. 特に明確な理由はないが、犯罪に遭う不安を感じているから |
| 7. その他 () |

問 17 あなたは、毎日食べている食品の安全性に関心を持ち、注意を払っていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 特に関心があり、よく注意を払っている | 2. 関心があり、ある程度注意を払っている |
| 3. 関心はあるが、注意を払っていない | 4. 関心がない |

問 18 あなたは、地域などの自主的な防犯活動※に参加していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ 「自主的な防犯活動」とは、この場合、パトロール、登下校時の子どもの見守り、子ども 110 番の家への加入、環境美化活動などのことを指しています。

- | | | |
|---------------|---------------|--------------|
| 1. 積極的に参加している | 2. ときどき参加している | 3. 参加したことがない |
|---------------|---------------|--------------|

問 19 あなたは、地域の雪は地域で処理する取り組みに関して、地域の雪置き場として公園などの利用や、その後の雪割りや清掃などで町内会等に協力したことがありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 協力したことがある | 2. 協力したことはない |
|--------------|--------------|

問 20 札幌市は、「自転車のルールやマナー※が守られている安全なまち」だと思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ 「ルールやマナー」とは、「自転車は車道が原則」「歩道を走行する場合は、歩行者を優先し車道寄りに徐行」「二人乗り禁止」「夜間はライト点灯」「混んでいる歩道では自転車を押して歩く」などのことを指しています。

- | | | | | |
|---------|-----------|--------------|-------------|----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. あまりそう思わない | 4. 全くそう思わない | 5. わからない |
|---------|-----------|--------------|-------------|----------|

<この設問は問 20 で「3. あまりそう思わない」「4. 全くそう思わない」と答えた方にお聞きします。>

問 21 あなたは、自転車のルールやマナーについての意識がこの 1 年で高まりましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- | | | | | |
|---------|-----------|--------------|-------------|----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. あまりそう思わない | 4. 全くそう思わない | 5. わからない |
|---------|-----------|--------------|-------------|----------|

将来を見据えた魅力ある都市の整備

問24 あなたは、札幌の都心（下図の点線で囲まれた部分参照）に「にぎわい」があると感じますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 感じる
2. やや感じる
3. あまり感じない
4. 感じない
5. わからない



問25 あなたは、住んでいる地域の住環境に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- | | | |
|------------|--------------|---------------|
| 1. 満足している | 2. やや満足している | 3. あまり満足していない |
| 4. 満足していない | 5. どちらともいえない | |

問26 あなたは、公共交通による日常の移動に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- | | | |
|------------|--------------|---------------|
| 1. 満足している | 2. やや満足している | 3. あまり満足していない |
| 4. 満足していない | 5. どちらともいえない | |

低炭素社会の推進と循環型社会の構築

問27 生ごみ減量・リサイクルの取り組みとして、次の中にあなたのご家庭で行っているものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 水切り（水絞り）による生ごみの減量を意識して行っている
2. 食材の買い過ぎや料理の作り過ぎをしないよう意識している
3. ダンボール箱やコンポスター容器などによる堆肥化を行っている
4. 電動生ごみ処理機を使用している
5. その他の生ごみ減量・リサイクルの取り組みを行っている
(具体的に：)
6. 特に何もしていない

問 28 環境配慮活動に関してお聞きします。各項目にお答えください。

(1) 再生可能エネルギー機器などの導入状況についてお聞きします。次の中に、あなたが導入している再生可能エネルギー機器や省エネルギー機器などがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|---|
| 1. 太陽光発電 | 2. 太陽熱利用 |
| 3. ペレットストーブ | 4. 薪ストーブ |
| 5. コージェネレーション※ ¹ | 6. 次世代自動車※ ² |
| 7. 地中熱ヒートポンプ | 8. エコフィール (灯油式高効率給湯・暖房機) |
| 9. エコジョーズ
(ガス式高効率給湯・暖房機) | 10. エコキュート・ヒートポンプ温水暖房
(電気式高効率給湯・暖房機) |

※1 コージェネレーション：発電時の排熱を給湯・暖房に活用するシステム。具体的にはエネファームなどがあります。

※2 次世代自動車：具体的には、ハイブリット自動車、プラグインハイブリット自動車、電気自動車、クリーンディーゼル自動車、天然ガス自動車などがあります。

(2) エコライフの取り組みの実践状況についてお聞きします。次の中に、あなたが常に実践しているエコライフの取り組みはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 使用していない部屋の灯りをこまめに消す
2. テレビの明るさ設定を変えている (明るくしすぎない)
3. 冷蔵庫の温度設定を変えている (冷たくしすぎない)
4. 家電製品 (照明を含む) の買い替え時には、省エネに配慮した製品を選ぶ
5. 衣服などにより調節し、過度に冷房もしくは暖房を使いすぎない
6. 外気や太陽光を室温調整に上手く利用する
7. 温水洗浄便座の保温を切るか、保温機能を使う場合は温度を低めに設定する
8. 電気ポットや炊飯ジャーの保温時間を短くする
9. 駐停車中はアイドリングストップをする
10. マイカーの利用を控え、公共交通機関を利用する
11. 車の発進時はおだやかなアクセル操作でゆっくりと加速する
12. 速度変化の少ない運転をする
13. 車の減速時はエンジembreキを使用する
14. カーエアコンの使用を控えめにする
15. 食器は余分な汚れをふき取ってから洗う
16. 洗濯は、まとめ洗いをする
17. 風呂の残り湯を洗濯などに利用する
18. 入浴時にはシャワーを出しっぱなしにせず、こまめに止める
19. 買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない
20. 食材は無駄なく買って使い切る

多様で豊かな自然を守り、育てるまちづくり

問 29 あなたは、自分が住んでいる地域(小学校や連合町内会くらいの範囲)の花やみどりの現状について、親しみを感じますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 感じる
2. やや感じる
3. あまりそう思わない
4. 全くそう思わない
5. わからない

市民の主体的な地域づくりと多文化共生を推進するまちづくり

問 30 札幌市では、市民の声を市政に反映するため、電話やEメールでの意見募集、さらにはアンケート調査やワークショップ、フォーラム、出前講座等さまざまな市政参加の機会を提供しておりますが、普段、あなたはこうした市政参加の機会が用意されていると感じますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 感じる
2. やや感じる
3. あまりそう思わない
4. 全くそう思わない
5. わからない

問 31 あなたは、市政に参加したいと思いませんか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 関心があり、参加したい
2. 関心はあるが、勤務環境や家庭環境により、今は参加が難しい
3. これまでは関心がなかったが、興味のあるものがあれば参加したい
4. これからも参加したいとは思わない
5. わからない

問 32 今後、より多くの市民が市政に参加しやすくなるためには、どのようなことが必要であると思いませんか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. フォーラムの開催情報など、市政参加の機会に関する情報がよりわかりやすく、簡単に入手できる
2. 誰でも気軽に参加でき、意見を出しやすい参加の機会が用意される
3. 実際に市民の意見が反映された事例を紹介するなど、市民参加の効果が実感できるようにする
4. 市政参加を身近に感じられるよう、どのような参加の手法があるか具体的に紹介する
5. わからない

問 33 あなたは、札幌をより快適に過ごせるまちにするため、「まちづくり活動」(問 34 に挙げる活動や行動)に参加した(取り組んだ)ことがありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。
なお、参加した活動の種類や規模、期間などは問いません。

1. 参加したことがある
2. 参加したことはない

＜この設問は問33で「1. 参加したことがある」と答えた方にお聞きします。＞

問34 次にあげるまちづくり活動*のうち、あなたが継続的に行っていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

※ まちづくり活動—快適な生活環境の確保、地域社会における安全及び安心の推進など、暮らしやすいまちを実現するための活動・行動。町内会やボランティア団体、NPO、商店街、PTA、地域のサークルなどの団体のほか、家族や個人で行うものも含まれます。

1. 清掃・環境美化（ごみステーションのマナー遵守、近隣の清掃活動など）
2. 省資源・省エネルギー（ゴミの分別、節電など）
3. 除雪・冬みち対策（砂まき、雪捨てマナーの遵守など）
4. 防災活動（防災訓練への参加など）
5. 子育て支援（見守り、声かけ、子育て支援、子どもとの交流、教育支援など）
6. 高齢者支援（見守り、声かけ、安否確認、話し相手、健康づくりなど）
7. 自然環境保護（緑化植樹運動、自然保護活動など）
8. 文化振興（音楽・美術・文芸などに係るチャリティー活動や地域での公演・発表会、伝統文化の保存・継承など）
9. 国際協力に関する活動
10. 寄附、募金、チャリティー商品（寄附付など）の購入
11. ボランティア活動（家事援助、福祉除雪、福祉施設での手伝いなど）
12. 地域の交流やにぎわいづくり（町内会・自治会の会議や行事、地域のサロンやイベントに参加）
13. その他（具体的に： _____)

問35 あなたは、姉妹・友好都市*¹をはじめとした海外諸都市との交流や外国人の方との交流*²に関心がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※1 札幌市の「姉妹・友好都市」は、ポートランド（アメリカ）、ミュンヘン（ドイツ）、瀋陽（中国）、ノボシビルスク（ロシア）、大田（韓国）の5都市です。

※2 「海外諸都市との交流や外国人の方との交流」とは、芸術文化（芸術作品の創作・鑑賞、各国を知るセミナー等）、スポーツ（青少年スポーツ交流等）、観光（外国人観光客のおもてなし、海外での見聞を広める等）、教育（語学、留学等）、経済（企業の進出・誘致、流通の拡大等）など様々な分野における交流を指します。

- | | | | |
|------------|----------|-------------|----------|
| 1. 特に関心がある | 2. 関心がある | 3. あまり関心がない | 4. 関心が無い |
|------------|----------|-------------|----------|

多彩な文化芸術の創造とスポーツを楽しむ健康づくりを推進するまちづくり

問36 あなたが、この1年間に、趣味などで行った文化芸術活動（実践及び鑑賞）は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-------------------------------|
| 1. 音楽 | 2. 美術 |
| 3. 演劇 | 4. 洋舞 |
| 5. 写真 | 6. 日本の古典芸能
(能・歌舞伎・邦楽・邦舞など) |
| 7. 大衆芸能（落語・漫才など） | 8. 文化施設利用（博物館など） |
| 9. その他（具体的に： _____) | 10. 活動を行っていない |

問37 札幌市の文化財及び関係施設のうち、あなたが文化財施設として知っているものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 時計台	2. 豊平館	3. 八窓庵
4. 琴似屯田兵村兵屋跡	5. 北海道庁旧本庁舎 (赤レンガ庁舎)	6. 北海道大学(旧東北帝国大学農科大学)第二農場
7. 北海道大学農学部植物園・博物館	8. 旧永山武四郎邸	9. 琴似屯田兵屋
10. 清華亭	11. 新琴似屯田兵中隊本部	12. 旧黒岩家住宅 (旧簾舞通行屋)
13. 埋蔵文化財センター	14. 手稲山口バツタ塚	15. 札幌市資料館
16. 札幌村郷土記念館	17. エドウィン・ダン記念館	18. 旧西岡水源池取水塔
19. その他 (具体的に: _____)		20. どれも知らない

問38 あなたは、この1年間にスポーツ(運動)を行いましたか。行った場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。

なお、スポーツ(運動)には、健康のための散歩やジョギングなど、軽い運動も含まれます。また、職業として行ったものや、学校の体育の授業は除きます(部活動は含まれます)。スポーツを行わなかった場合は、「33」または「34」のいずれかに○をつけてください。

1. ウォーキング、散歩	2. ランニング(ジョギング、マラソン)	3. サイクリング
4. トレーニング(室内運動器具を使ってする運動を含む)	5. 体操(エアロビクス、ラジオ体操、縄跳びを含む)	6. ダンス(ジャズダンス、社交ダンス、民謡踊りを含む)
7. 登山、ハイキング(オリエンテーリングを含む)	8. スキー	9. スノーボード
10. スケート	11. カーリング	12. その他のウィンタースポーツ (具体的に: _____)
13. 釣り	14. キャンプ、海水浴	15. 水泳(水中ウォーキング、アクアエクササイズを含む)
16. 卓球	17. バドミントン	18. テニス、ソフトテニス
19. 野球(キャッチボールを含む)	20. サッカー、フットサル	21. バレーボール
22. バスケットボール	23. ソフトボール	24. ドッジボール
25. ラグビー	26. ボウリング	27. パークゴルフ
28. ゴルフ(練習場含む)	29. ゲートボール	30. 武道(柔道、剣道、空手など)
31. 弓道、アーチェリー	32. その他(具体的に: _____)	
33. スポーツを行えなかった	34. スポーツをする気がなかった	

<この設問は、問38で「1」から「32」までのいずれかに○をつけた方にお聞きします。>

問39 あなたが、問38で答えたスポーツを行った日数を全部合わせると、1年間で何日くらいになりますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 年151日以上(週3回以上) | 2. 年51~150日(週1~2回程度) |
| 3. 年12~50日(月1~3回程度) | 4. 年12日未満(月1回未満) |

問40 あなたは、この1年間に(テレビなどではなく)直接スポーツを観戦しましたか。観戦した場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。なお直接には何も観戦しなかった方は「13」だけに○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|-------------------------------|-----------------------------|
| 1. プロ野球 | 2. プロサッカー | 3. プロバスケットボール |
| 4. フットサル(Fリーグ) | 5. マラソン | 6. アマチュアの野球
(児童、学生を含む) |
| 7. ゴルフ | 8. 相撲、格闘技 | 9. アマチュアのサッカー
(児童、学生を含む) |
| 10. ウィンタースポーツ | 11. その他のアマチュアスポーツ
(具体的に:) | 12. その他のプロスポーツ
(具体的に:) |
| 13. 直接には何も観戦しなかった | | |

最後にあなたご自身のことについておたずねします。あてはまるものに○をつけてください。

F1 あなたの性別は

1. 男性 2. 女性

F2 あなたの年齢は(平成26年2月1日現在)

1. 20~29歳 2. 30~39歳 3. 40~49歳
4. 50~59歳 5. 60~64歳 6. 65~69歳 7. 70歳以上

F3 あなたは現在何区にお住まいですか

1. 中央区 2. 北区 3. 東区 4. 白石区 5. 厚別区
6. 豊平区 7. 清田区 8. 南区 9. 西区 10. 手稲区

ご協力ありがとうございました。

同封の封筒に入れて、2月26日(水)までに投函してください。

【市政広告】 ※この内容は、アンケート調査とは直接関係ありません。

市民参加メールマガジンのご案内

札幌市では、市民委員の公募やまちづくりに関するイベントなど、市政やまちづくりに気軽に参加できる情報をメールでお知らせしています。市のホームページから“市民参加メルマガ”で検索、登録してください。

担当:市民まちづくり局市民自治推進室市民自治推進課 (電話011-211-2253)

平成 25 年度
指標達成度調査
報告書

平成 26 年 3 月
札幌市 市長政策室
改革推進部推進課

〒060-8611 札幌市中央区北 1 条西 2 丁目
TEL(011-211-2061) FAX(011-218-5194)
